

島田博校閱
柳澤嘉德編纂

新潟縣各學校入學試驗問題答案集全

附 新潟縣小學校教員檢定試驗問題答案並規則

長岡市 目黒書店發行

251
743

新潟縣立各學校ノ學試驗問題答案集



例言

一、本書ハ新潟縣立男女師範學校、中學校、實業學校、高等女學校講習科、入學試驗ニ應セント欲スルモノ、準備上參考ノ一助ニ爲ルモノナリ

一、問題ハ新潟縣立各種學校最近ノ入學試驗問題ヲ集メ之ニ加

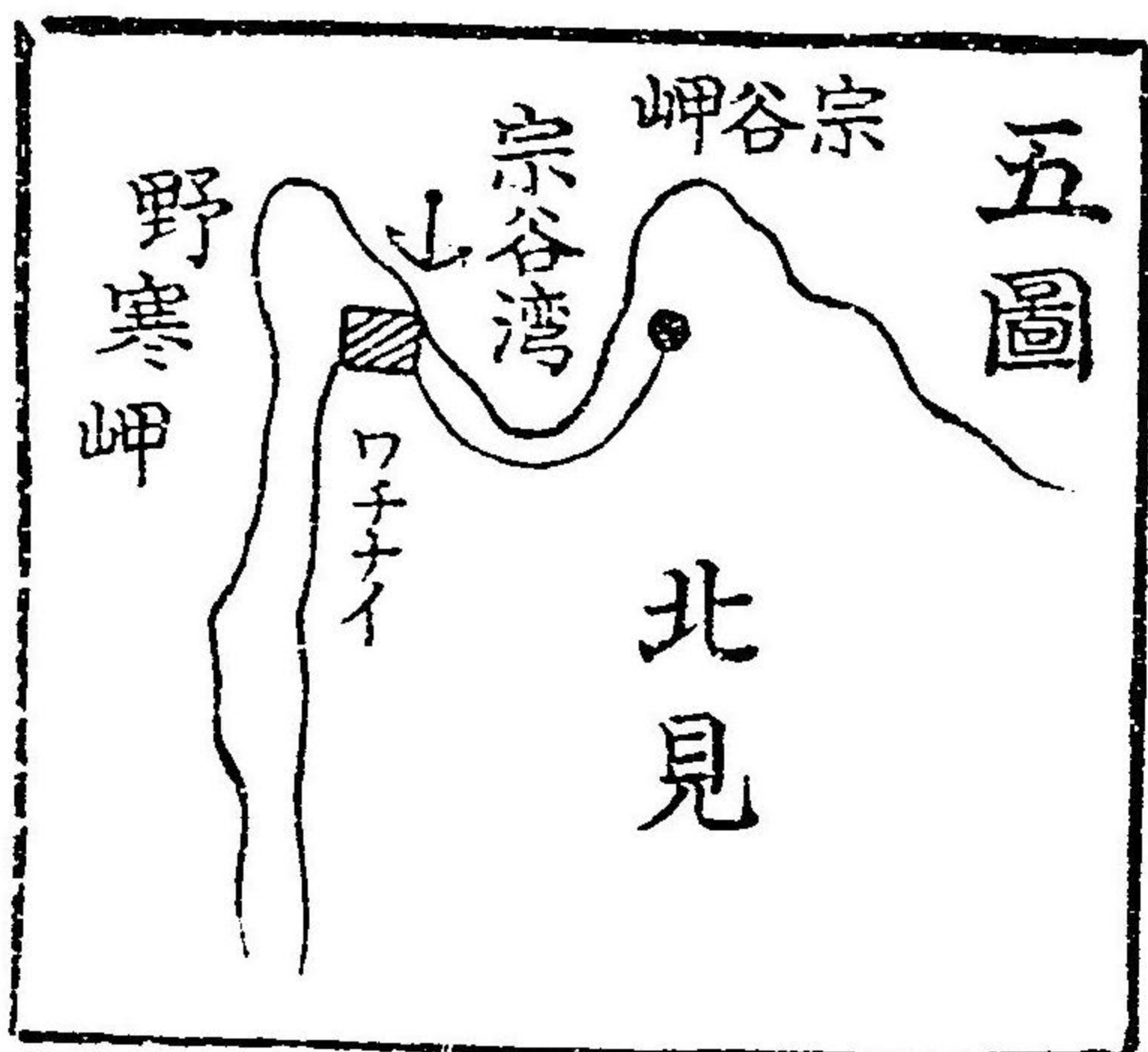
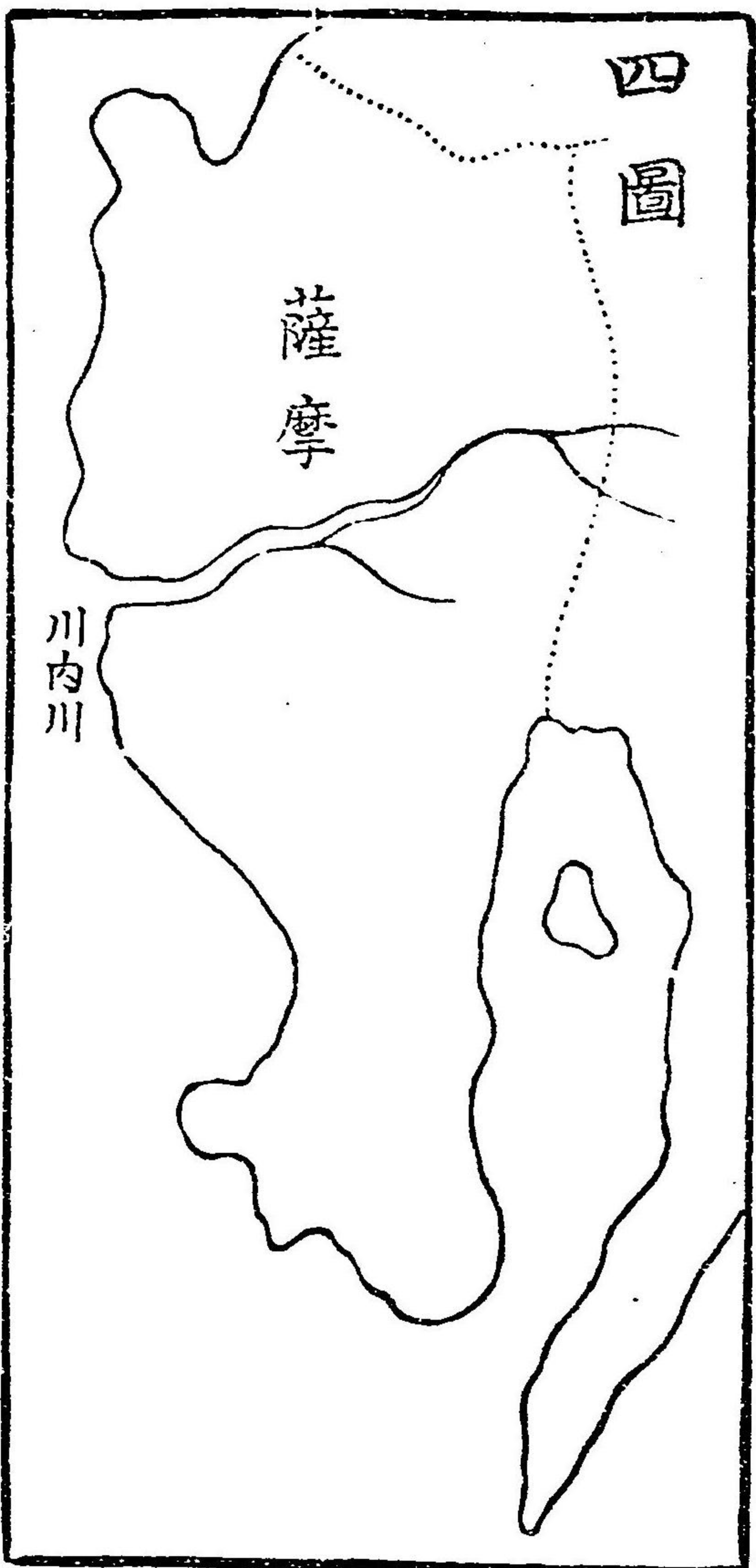
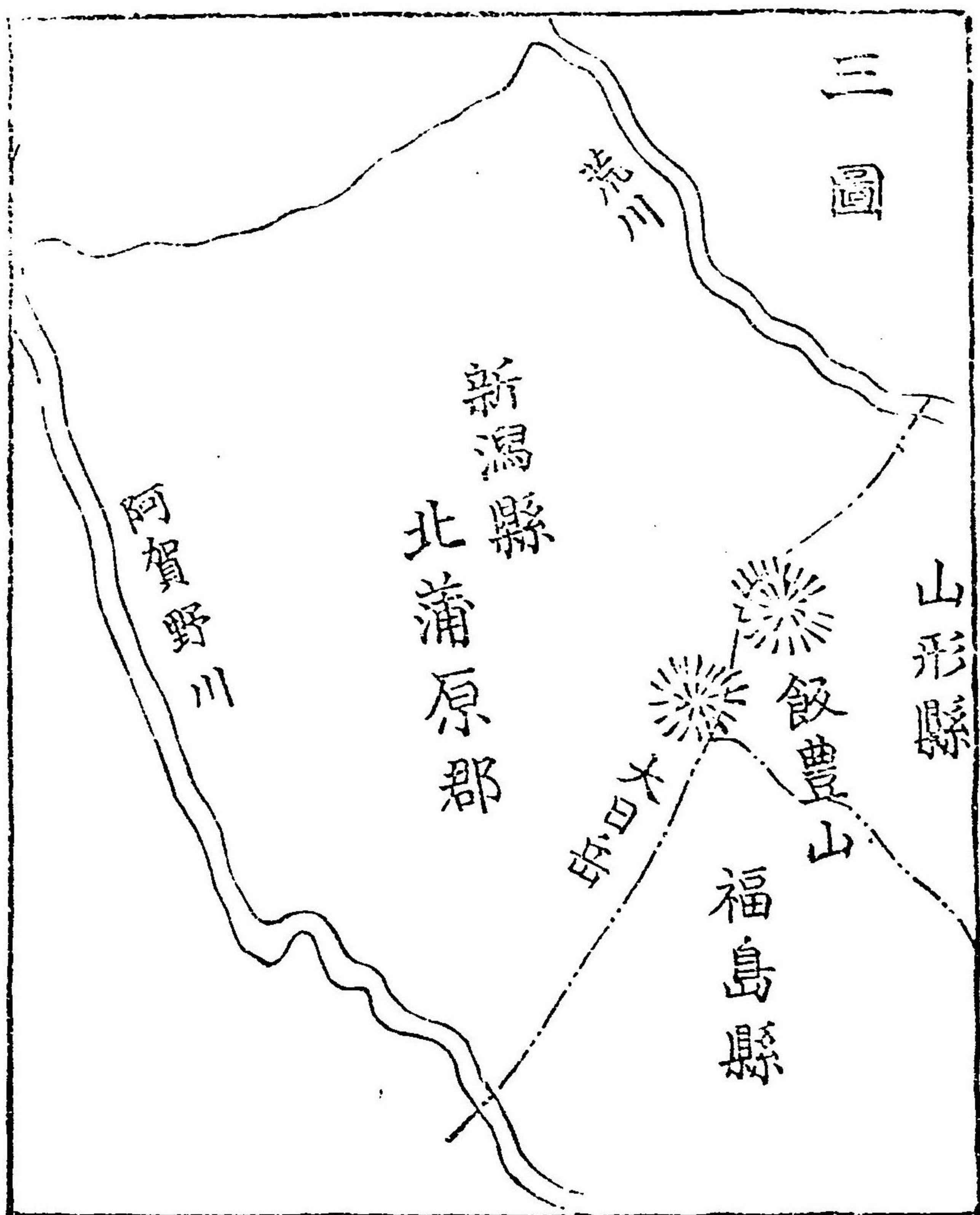
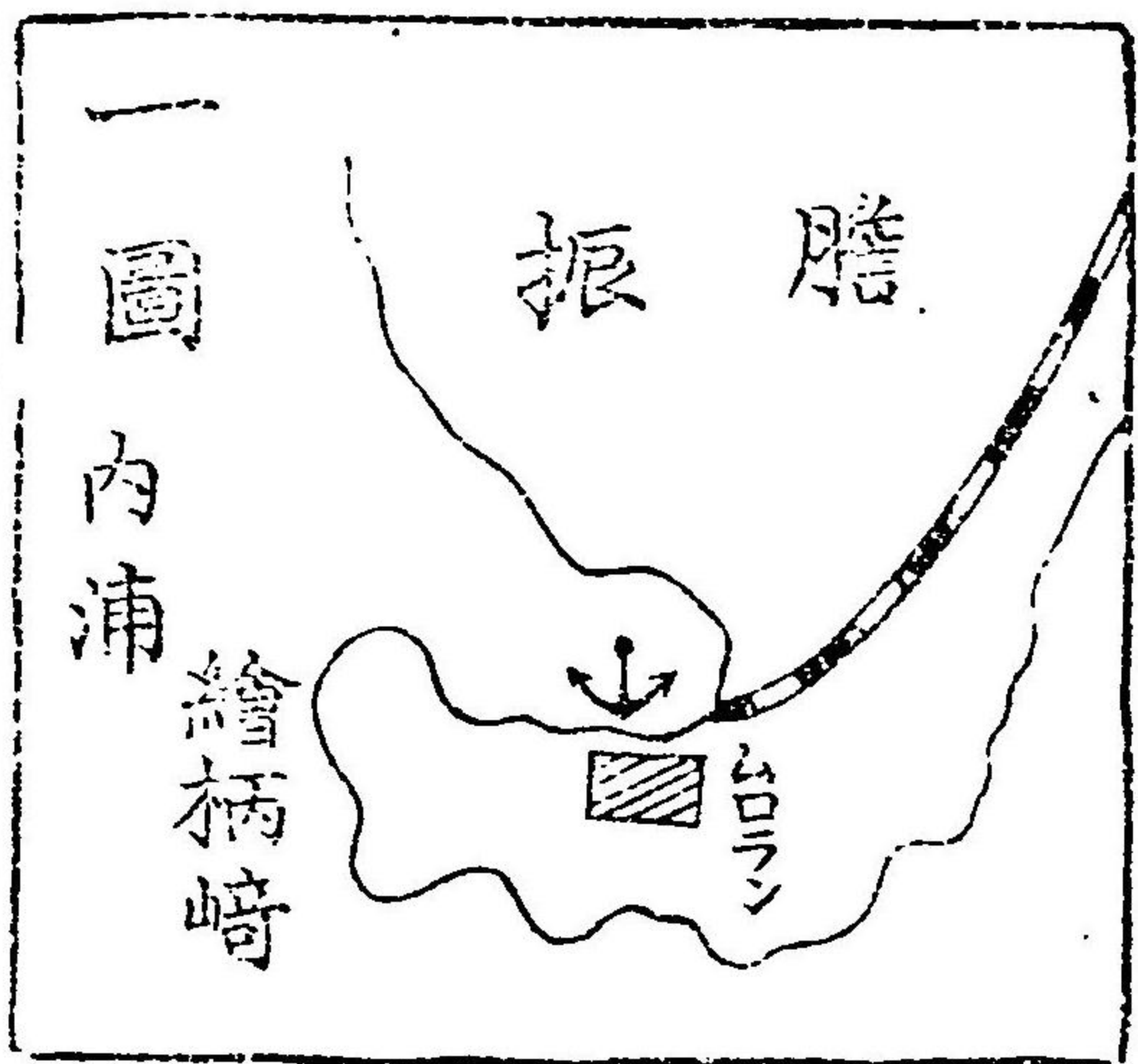
ルニ汎ク各地ニ行ハル、モノヲ採擇セリ

一、答案ハ受験者ノ爲メニ纔ニ其ノ標準ノ一斑ヲ示シタルモノナ

レバ之レヲ以テ充分ナリトスベキヲ不感ハ簡明ニ感ハ細密ニ

變化應用ノ妙ハ讀者ニ在リ





○漢文科

第一問 左ノ文章ヲ假名交リ文ニ造リ更ヘ且解釋セヨ

上才明勇略非人適也且開心見誠無所伏隱闊達多大節略與高祖同經學博覽政事文辨世無比

答 上才明勇略人ノ適フ所ニ非ズ且心ヲ開キテ誠ヲ見ハシ隱伏スル所ナシ闊達ニシテ大節多キ略ホ高祖ト同シ經學博覽政事文辨前世ニ比ナシ

上才アリテ物ニ明ニ性勇ニシテ略ニ富ム常人ノ及ブ所ニ非ズ且ツ赤心ヲ吐キ心中何モ隱ス所ナシ且ツ心ハ開クシテ氣高キ所多キコト略ホ漢ノ高祖皇帝ト同シ六經等ノ學ハ博ク御覽アリ政事上ノ治策ノ勝レ給ヒルヲハ前世ノ皇帝ノ比ニ非ラズ

第二問 イ、勝敗之機在離同不在衆寡

答 勝敗ノ機ハ離同ニアリテ衆寡ニアラズ

軍ノ勝敗ノハズミハ軍士ノ心ノ離同ニアリテ衆寡ノ數ニアラズ

ロ、衆人當惜分陰

答 衆人ハ當サニ分陰ヲ惜シムベシ

常人ハ當サニ僅少ノ光陰ヲモ惜ムベキナリ

ハ、被山帶河四塞以爲固

答 山ヲ被ヒ河ヲ帶シ四塞以テ固ト爲ス

一面ニハ山ヲ被ヒ他面ハ河ヲ帶シテ東西南北ノ四方ヲ塞ギ以テ固キ守トナス

ニ、特諸醜夷有阻王化者吾深羞之

答 特ニ諸醜夷王化ヲ阻ムモノアリ吾深ク之ヲ羞ヅ

特別ニ諸々ノ夷狄王化則ハチ天皇ノ教ヲ阻害スルモノアリ王化ノ夷狄ニ及バザルヲ思フテ深ク羞

恥ス

ホ、韓人懲創前役逃竄駭散

答 韓人創メテ前役ニ懲リ逃竄駭散ス

朝鮮人創メテ前年ノ戰役ニ懲リ逃ゲカクレ駭キ散ズ

第三問 左ノ各文字ノ音訓及使用ノ例ヲ示セ

イ、驗ケン	シルシ	試験
險ケン	ケバシキ	危險
儉ケン	ツツマヤカ	儉約
檢ケン	シラベル	探檢
折セツ	ワル	屈折
析セキ	ワカツ	分析
斬キ	イノル	斬願
拆フ	シラツチ	白坭
ハ、愉ユ	ヨロコブ	愉快
諭ユ	サトス	説諭
偷トウ	ヌスム	盜偷
喻ユ	タトヘ	比喻
ニ、説セツ	トク	論説
稅ゼイ	ミツギ	國稅
脱ダツ	ヌケル	脱線
悅エツ	ヨロコブ	喜悅

○國語科

第一問 左の文字に假名を附し欠たるは之を補へ

答 イ、叔父をぢ 男をとこ 笛ふる 鯛たひ 蠅はへ 匙さじ 鯨くぢら

われはかく思〇り 老〇たる人は敬すべし 兄は習〇しことを弟に教〇たり

ロ、黄楊つげ 葱子ギ 素焼すやき 総角あげまき 藜わかざ 信天翁わはうどり

第二問 左ノ縦線を施せるに漢字をあてよ

答 もろゝの春の月 朦朧の—— けんぼーをじゆんしゆす憲法を遵守す あらむ鶉鶉 いわう硫黄

第三問 左の文の縦線を施せるに特に音を附し更に全文の意義を明瞭にせよ

答 樓に登りて、下瞰するだに、猶ほ街上來往の人を藐視(バウシ)するの概あり、東京の愛宕山に登りて、四望するだに、猶廣遠の氣象、胸中より勃發するを覺ゆ、何ぞ況んや、嵯峨天を衝ける高山に登るをや。

山に彩色の絢煥(けんくはん)あり、雲の幻雲の大あり、水の美水の奇あり、花木の花木の豪健羸落(ゴークンライラク)なるあり、萬衆皆かくの如く、山を得て大造し、山を待ちて映發す、しかのみならず、其絶頂に登りて、下瞰せば、雲煙脚底に起り、其下より平面世界の形勢は、君に向ひて長揖(チャウエツ)し來り、悉く之を掌上に弄し得べし。

二階に上りて、下方を望み見るだにも、猶ほ街路を通る人を廣く視らるゝの心地あり、東京の愛

宕山に登りて、四方を望見するだにも、猶ほ廣く遠大の氣象胸中より勃々即ちむら／＼と發するを覺ゆ、嵯峨として(山の峙つ形容)天を衝くほど高さ山に登りて下方を望めば此上の壯快なり。山に種々の色にていろどるあり雲の幻妙にして又雲の遠大なるあり、水の美にして又水の奇觀なるあり、花木の豪放にして健全にかざりけなきあり、萬物皆此の如く、山を得て、則ち山を手本として、大器を造り上げ、水の美にして奇觀なる手本として、英才をみがき發す、(猶ほ此の解は自然の妙景を寫し出すやうにするも可なり)其上山の絶頂に登りて下方を、のぞめば雲や煙霧があしのしたより起り、其あしのしたより、地面の形勢が、君に向ひて、手まねきし來れり、其壯觀を悉く之をてのひらのうへに、弄び得ることが出来る、則ち能く見て味ふことが出来る。

○算術科

第一問 三人ガ等額ニ出金シテ或地面ヲ買ヒタルニ都合ニ依リ其ノ一人ハ他ノモノヨリ六百坪多ク取リ

一タル故他二人へ各二千四百圓ヅ、戻シタリト云フ一坪ニ付何程ニテ買ヒタルカ

答 八圓

$$2400 \div (600 + 2) = 8$$

第二問 三千人ヨリナル軍隊ガ四列ニ竝ビ各行ノ間隔三尺トナシ毎時一里半ノ速サニテ進ムトキ此軍隊

ガ長百八十間ノ橋ヲ全ク渡リ終ルニ要スル時間ハ何程ナルヤ

答 百七十一時間

$$3000^A + 4 = 750^A$$

$$8^R \times (750 - 1) = 2247^R$$

$$8^R \times 180 = 1080^R$$

$$2247^R + 1080^R = 3327^R$$

$$1.5^B = 19440 =$$

$$3327^R \div 19440^R = \cdot 171^R$$

$$\cdot 171^R = 10^A 15^B \text{ 余}$$

八

第三回 2.483ノ開平商ヲ小数第三位ヲテ棄ルヨ

$$\begin{array}{r} 1 \\ \times 2 \\ \hline 25 \\ 307 \\ \hline 3145 \\ 5 \end{array} \quad \begin{array}{r} \sqrt{2.483} \\ 1 \\ \hline 1 \\ 48 \\ 25 \\ \hline 2333 \\ 2149 \\ \hline 18433 \\ 15725 \\ \hline 2708 \end{array} \quad \begin{array}{r} \sqrt{1.575} \\ 1 \\ \hline 1 \\ 48 \\ 25 \\ \hline 2333 \\ 2149 \\ \hline 18433 \\ 15725 \\ \hline 2708 \end{array}$$

略 1.58—

第四問 甲乙丙ノ三人四、三、二ノ割ニテ資本金ヲ出シ商業ヲ始メタルニ四ヶ月ノ後甲ハ出資金ノ半分ヲ引キ出セリ今一ヶ年ノ終リニ益金二千五百圓ヲ得タルトキ三人ハ如何ニ分ツヘキヤ

答 甲、五百二十一圓九十二分ノ六十八、乙、五百八十六圓九十二分ノ八十八、

丙、三百九十一圓九十二分ノ二十八、

$$4 \times 4 + 2 \times 8 = 32 \text{ 甲}$$

$$3 \times 12 = 36 \text{ 乙}$$

$$2 \times 12 = 24 \text{ 丙}$$

$$1500^B \times \frac{32}{92} = \frac{521}{92} 68$$

$$36 \times \frac{36}{92} = \frac{586}{92} 88$$

$$24 \times \frac{24}{92} = \frac{391}{92} 28$$

第五問 今時計ノ兩針ガ或場所ニ重ナリ合ヒリ此ノ次ニ重ナリ合フ迄ノ時間ヲ計算セヨ
答 六分

$$\begin{array}{r} 1 \\ 12 \times \frac{1}{6} = \frac{1}{72} \\ 1 \\ 12 \times \frac{1}{72} = \frac{5}{72} \\ \hline \left(\frac{1}{72} \times 6 \right) \div \frac{5}{72} = 1.2 \text{ 分} \\ 5 \times 1.2 = 6 \end{array}$$

九

○歴史科

第一問 藤原氏ノ政權ヲ掌握スルニ至リシ由來ヲ記セ

答 藤原房前ノ曾孫冬嗣嵯峨天皇ノ御信任ヲ蒙リ藏人頭ニ任セラレシヨリ其家筋殊ニ榮エ良房ニ至リ太政大臣ニ任セラレ清和天皇御即位ノトキ御年九歳ナルノ故ヲ以テ攝政トナレリ人臣ニシテ太政大臣又ハ攝政トナリシハ藤原氏ヲ以テ初メトス次テ基經陽成天皇ノ攝政トナリシガ天皇御病氣ノ故ヲ以テ之レヲ廢シ光孝天皇ヲ御位ニ即ケ奉レリコレヨリ基經ノ勢殊ニ盛ニシテ宇多天皇即位ノ後ニ至リ詔ヲ蒙ムリテ關白トナレリ此レ關白ノ始メナリ此レヨリ後藤原氏ノ人々常ニ天皇御幼少ノ間ハ攝政トナリ御成長ノ後ニハ關白トナリテ政權ヲ擅ニスル例開ケリ

第二問 左ノ項ニ付キ簡明ニ記セ

イ、嘉吉ノ亂

答 足利義政ノトキ赤松滿祐其妹ノ夫將軍ノ旨ニ忤フテ殺サレシヲ憤レリ其時寵臣貞村ニ滿祐ノ所領ヲ奪ヒテ授クルニ當リ遂ニ意ヲ決シ兵三百ヲ伏セテ義政ヲ招キ火ヲ放チテ義政ヲ殺シ播磨ニ走り足利直冬ノ孫僧義尊ヲ擁シテ反ス細川島山ノ兩氏則ハチ義政ノ子義勝ヲ立テ論旨ヲ乞ヒ討ツ赤松氏はニ至リテ亡ブ時ニ嘉吉元年八月ナリ之レヲ嘉吉ノ亂ト云フ

ロ、天津條約

答 朝鮮獨立黨ト事大黨トノ軌轢ヨリ我公使館モ亦襲ハル時ニ井上馨特命全權公使ニ任セラレ京城ニ入り談判ヲ開キ謝罪、償金、反罪者處分、日本公使館ノ建築及ヒ地所等ノ要求ヲナシ局ヲ結ビシガ此變ニ清兵ノ興ルコト大ナリシヲ以テ清國ニモ談合シ左ノ三款ヲ約ス

一、從來兩國ヨリ朝鮮ニ屯在セシメタル駐屯兵ハ撤去スルコト

二、軍事教練ノ爲メニ兩國ヨリ教官ヲ派セザルコト

三、將來事アリテ兩國兵ヲ朝鮮ニ派遣セントスルトキハ互ニ行文知照スルコト

以上ノ約款ヲ名ツケテ天津條約ト云フ

第三問 近藤重藏

答 幕府ノ臣ナリ人ト爲リ精勵勁悍讀書ヲ好ム寛政四年試ニ應ジ七年長崎奉行手附トナリ十年魯人蝦夷ニ寇スルニアタリ自カラ樺太ニ渡リ幕府ニヨリ魯ノ建ツル標榜及ヒ十字架ヲ撤シ我が標榜ヲ建テリ

○理科

第一問 燃燒トハ如何

答 燃燒トハ物躰が劇烈ナル化合ヲナシテ熱及ヒ光ヲ發スル現象ヲ云フ例ヘバアンチモニ一ガ塩素瓦斯中ニ於テ燃エ銅ガ硫黄瓦斯中ニテ燃ユルガ如ク又物體が大氣中ニテ酸素ト化合スルニ當リテ熱及ヒ光ヲ發スル現象ヲ云フ

第二問 輕氣球ノ上昇スル理由如何

答 輕氣球ハ瓦斯體ノ浮力ニ基キテ造レルモノニシテ其氣孔ヲ塞キタル薄キ絹布ニテ大ナル囊ヲ作り之

$$3000 + 4 = 750$$

$$3 \times (750 - 1) = 2247$$

$$6 \times 180 = 1080$$

$$2247 + 1080 = 3327$$

$$1.5 = 19440 =$$

$$3327 \div 19440 = .171$$

$$.171 = 10\frac{1}{6} \text{ 釐}$$

第三問 2.483ノ開平商ヲ小數第三位ヲ求メヨ

$$\begin{array}{r} 1 \\ \times 2 \\ \hline 25 \\ 5 \\ \hline 307 \\ 7 \\ \hline 3145 \\ 5 \\ \hline 2708 \end{array} \quad \sqrt{2.483} \begin{array}{l} 1.575 \\ 1 \\ \hline 1.48 \\ 1 \\ \hline 25 \\ 2333 \\ 2149 \\ \hline 18433 \\ 15725 \\ \hline 2708 \end{array}$$

答 1.58—

第四問 甲乙丙ノ三人四、三、二ノ割ニテ資本金ヲ出シ商業ヲ始メタルニ四ヶ月ノ後甲ハ出資金ノ半分ヲ引キ出セリ今一ヶ年ノ終リニ益金一千五百圓ヲ得タルトキ三人ハ如何ニ分ツヘキヤ

答 甲、五百二十一圓九十二分ノ六十八、乙、五百八十六圓九十二分ノ八十八、

丙、三百九十一圓九十二分ノ二十八、

$$4 \times 4 + 2 \times 8 = 32 \text{ 甲}$$

$$3 \times 12 = 36 \text{ 乙}$$

$$2 \times 12 = 24 \text{ 丙}$$

$$1500 \times \frac{32}{92} = 521 \frac{68}{92}$$

$$7 \times \frac{36}{92} = 586 \frac{88}{92}$$

$$7 \times \frac{24}{92} = 391 \frac{28}{92}$$

第五問 今時計ノ兩針ガ或場所ニ重ナリ合ヒリ此ノ次ニ重ナリ合フ迄ノ時間ヲ計算セヨ
答 六分

$$\frac{1}{12} \times \frac{1}{6} = \frac{1}{72}$$

$$\frac{1}{12} - \frac{1}{72} = \frac{5}{72}$$

$$\left(\frac{1}{72} \times 6 \right) \div \frac{5}{72} = 1.2$$

$$5 \times 1.2 = 6$$

○歴史科

第一問 藤原氏ノ政權ヲ掌握スルニ至リシ由來ヲ記セ

答 藤原房前ノ曾孫冬嗣嵯峨天皇ノ御信任ヲ蒙リ藏人頭ニ任セラレシヨリ其家筋殊ニ榮エ良房ニ至リ太政大臣ニ任セラレ清和天皇御即位ノトキ御年九歳ナルノ故ヲ以テ攝政トナレリ人臣ニシテ太政大臣又ハ攝政トナリシハ藤原氏ヲ以テ初メトス次テ基經陽成天皇ノ攝政トナリシガ天皇御病氣ノ故ヲ以テ之レヲ廢シ光孝天皇ヲ御位ニ即ケ奉レリコレヨリ基經ノ勢殊ニ盛ニシテ宇多天皇即位ノ後ニ至リ詔ヲ蒙ムリテ關白トナレリ此レ關白ノ始メナリ此レヨリ後藤原氏ノ人々常ニ天皇御幼少ノ間ハ攝政トナリ御成長ノ後ニハ關白トナリテ政權ヲ擅ニスル例開ケリ

第二問 左ノ項ニ付キ簡明ニ記セ

イ、嘉吉ノ亂

答 足利義政ノトキ赤松滿祐其妹ノ夫將軍ノ旨ニ忤フテ殺サレシヲ憤レリ其時寵臣貞村ニ滿祐ノ所領ヲ奪ヒテ授クルニ當リ遂ニ憲ヲ決シ兵三百ヲ伏セテ義政ヲ招キ火ヲ放チテ義政ヲ殺シ播磨ニ走り足利直冬ノ孫僧義尊ヲ擁シテ反ス細川畠山ノ兩氏則ハ義政ノ子義勝ヲ立テ繪旨ヲ乞ヒ討ツ赤松氏はニ至リテ亡ブ時ニ嘉吉元年八月ナリ之レヲ嘉吉ノ亂ト云フ

ロ、天津條約

答 朝鮮獨立黨ト事大黨トノ軌轢ヨリ我公使館モ亦襲ハル時ニ井上馨特命全權公使ニ任セラレ京城ニ入り談判ヲ開キ謝罪、償金、反罪者處分、日本公使館ノ建築及ヒ地所等ノ要求ヲナシ局ヲ結ビシガ此變ニ清兵ノ興ルコト大ナリシヲ以テ清國ニモ談合シ左ノ三款ヲ約ス

- 一、從來兩國ヨリ朝鮮ニ屯在セシメタル駐屯兵ハ撤去スルコト
 - 二、軍事教練ノ爲メニ兩國ヨリ教官ヲ派セザルコト
 - 三、將來事アリテ兩國兵ヲ朝鮮ニ派遣セントスルトキハ互ニ行文知照スルコト
- 以上ノ約款ヲ名ツケテ天津條約ト云フ

第三問 近藤重藏

答 幕府ノ臣ナリ人ト爲リ精勵勁悍讀書ヲ好ム寛政四年試ニ應ジ七年長崎奉行手附トナリ十年魯人蝦夷ニ寇スルニアタリ自カラ樺太ニ渡リ幕府ニヨリ魯ノ建ツル標榜及ヒ十字架ヲ撤シ我ガ標榜ヲ建テリ

○理科

第一問 燃燒トハ如何

答 燃燒トハ物躰が劇烈ナル化合ヲナシテ熱及ヒ光ヲ發スル現象ヲ云フ例ヘバアンチモニ一ガ塩素瓦斯中ニ於テ燃キ銅ガ硫黃瓦斯中ニテ燃ユルガ如ク又物體ガ大氣中ニテ酸素ト化合スルニ當リテ熱及ヒ光ヲ發スル現象ヲ云フ

第二問 輕氣球ノ上昇スル理由如何

答 輕氣球ハ瓦斯體ノ浮力ニ基キテ造レルモノニシテ其氣孔ヲ塞キタル薄キ絹布ニテ大ナル囊ヲ作り之

ヲ充タスニ空氣ヨリモ輕キ瓦斯体則ハチ水素又ハ石炭瓦斯ヲ入レ以テ其全容積ヲシテ同容積ナル空氣ノ重量ヨリモ輕カラシメルヲ以テナリ

第三問 砂糖ノ製法

答 砂糖ヲ採ルベキ植物ヲ器械ニテ細末トナシ成ルベク少量ノ水ニテ糖分ヲ滲出シ其汁ニ石灰ヲ加ヘテ長ク煮沸シ遊離ノ酸蛋白質色素等ヲ沈澱セシメ又夾雜物ヲ石灰ト浮バシメテ取り去ル次ニ砂糖ト石灰トノ化合物ヲ生ゼザルガ故ニ炭酸瓦斯ヲ吹キ送リテ炭酸石灰ヲ沈澱セシメ壓濾器ニカケテ之ヲ除去スカクテ得タル糖汁ヲ骨炭ヲ入レタル鐵製ノ圓筒ヲ通過セシメテ之ヲ濾セバ無色トナル猶ホ精製スルニハ種々ノ手數ヲ要スルナリ

第四問 一時磁石及永久磁石トハ如何

答 鐵ニ電流ヲ通スルトキハ磁石力ヲ生ズレドモ電流ヲ絶ツトキハ磁石力ヲ失フ之レヲ一時磁石ト云フ鋼鉄ハ之レニ反シテ永久其力ヲ失ハズ之レヲ永久磁石ト云フ

第五問 クロール瓦斯ノ性質如何

答 クロール瓦斯ハ透明ナル黃色瓦斯ニシテ空氣ヨリ重シ植物性色素ヲ褪去セシメ其他病菌ヲ滅死セシムル効アリ水素ト化合シテ鹽化水素トナリアンモニアト化合シテ鹽化アンモニアトナリ石灰ニ含有シテ漂白粉トナル

第六問 電磁石トハ如何

答 軟鉄ノ如ク電流ノ作用アルトキ磁石力ヲ起スモノヲ電磁石ト云フソケイドニ於ケル軟鉄心ノ如キモノコレナリ

○習字科

左ノ雛形ニ準シ用紙ヲ縦ニシ一枚ヲ一体トシ楷行草ノ三体ニ作クレ

但シ圈点ノ文字ノ楷書ニハ數字ヲ以テ筆順ヲ記セヨ

剩^〇嘸^〇譏^〇慮^〇滯^〇驚

冀^〇疑^〇嬉^〇辨^〇舉^〇適

○作文科

第一問 我等ノ景慕スル人物

答 夫レ社會ハ進歩的ニシテ一時一日モ其活動ヲ中止スルコトナシ故ニ其一員タル吾人ハ大ナル抱負ヲ以テ自己ノ發達ヲ計ルト同時ニ社會ノ進歩ヲ謀ラザルベカラズ是レ何人ニモ理想ヲ要スル所以ナリ然レドモ人ニハ各個性アリ慣僻アリ其向フ所千差萬別タル當サニ然ルベキ所ナリ生幸ヒニ四恩ニヨリ稍々黑白ヲ識ルヲ得タリキ益々向上シテ聊カ報恩ノ舉ナカルベカラズ諺ニ艱難汝ヲ玉ニスト然ルニ人ハ艱難ノ刺激ニ遇フヤ或ハ奮ツテ寧シロ千死萬死ヲモ忍ブアリ或ハ敗レテ萎縮シ悲憤シ煩悶スルアリ遂ニ一ハ成功シテ樂觀シ一ハ不成功ニシテ悲觀ス其甚ク所艱難ナル一刺激ニ堪エシ一瞬間ニアルヲ思ヒバ寒心ノ極ナラズヤ古歌ニモ「搦風に荒磯浪のいくかへり碎けてもまた岩にあたらん」ト

アリ鑑ムベキ金言ナリ彼ノ二宮尊徳先生ハ實ニ此等理想ヲ具体的ニ表出セラレキ先生ハ幼時天災ノ爲メニ田畑ヲ荒サレ又不幸ノ爲メニ兩親ヲ失ヒ幾多ノ星霜ヲシテ殘酷ナル冷遇ニ消費セラレタリ然レドモ斷乎タル克己心ハ敢テ不平ノ語ヲ洩サズ又煩悶ノ態ヲ示サズ其刺激ノ歩一步ヲ進ムルヤ勇氣ハ此レニ先ダチ艱難ハ遂ニ先生ヲ追フ能ハザリキ宜ナルカナ途ニ破窓ヲ修シ漏屋ヲ繕シ祖先ノ産ヲ復スルヲ加之後出デ、某候ノ將サニ倒レントスル政治ヲ助ケ大ニ治績ヲ得タリ此レ必竟艱難ニ打ト勝チシ美德ノ果ナリト謂フベシ生ノ景慕スベキ理想ノ人物トシテ推舉スル亦此ニ因ルノミ

第二問 凱旋兵士ニ贈ル

答 點點翼ヲ東洋ニ張リ厭クナキノ貪慾ヲ滿洲ニ恣ニスルヤ我が至仁ナル 天皇陛下ハ諭スニ東洋平和ニ害アルベキヲ以テセラル然ルニ彼レ頑トシテ答ヒズ遂ニ事ヲ兵戈ニ訴フルニ至レリ此時ニ當リ君ヤ動員令ニ接シ奮然起ツテ軍國ノ事ニ從ハル其行ノ壯ナル一郷ノ範ト賞セラレキ而シテ滿洲ノ野ニ戰フヤ大小幾戰鐵嶺ニ黑英台ニ奉天ニ偶々敵ノ砲彈ニ其一肢ヲ傷ケラレシト雖モ君ノ勇猛ナル常ニ彈雨硝烟ノ域ヲ去ラズ精忠誰レカ感奮セサルモノアランヤ實ニ竹馬ノ友タル不肖等ノ光榮トスル所ナリ今ヤ平和克復シテ凱旋セラル嗚呼君ノ得意想フヘキナリ嗟君ヨ炎熱燒クノ天淵シテ頓死ノ苦モ烈風凜烈膚ヲ刺スノ苦モ醜屍累々腥血鼻ヲ襲フノ慘モ砲彈雨飛習々ノ響モ今ヤ歡呼ノ聲トナリ祝盃舞フノ悅トナレリ嗚呼君ノ快ヤ思フベキナリ豈賀セザルヲ得ンヤ祝セザルヲ得ンヤ聊カ辭一片ヲ寄セテ君ノ凱旋ヲ祝ス

長岡女子師範學校入學試驗問答

○國語科

第一問 左ノ訓解ヲセヨ

答 權利 けんり自己自カラ處分スルヲ得ル權能ヲ云フ消費する權利ノ如シ

自由 じゆう自己ノ心ノマ、ニテ他ニ關はらぬことを云フ

親等 しんとう自己ノ血統ノコト一等親六等親等ヲ親等ト云フ

協賛 さやうさんカヲアワセ助ケルコト

凱旋 がいせん戰ニ勝チテ歸ル

第二問 左ノ誤正ヲセヨ○符ノ字ヲ詳解スベシ

長岡驛ヨリ汽車ヲ下リ右へ折レテ行ケバ師範學校ニ至ルベシ

答 長岡驛(昔し馬繼させし町を驛と云ふ今停車場モ此レニ因ミテ名付ケシナリ)ヨリ汽車ヲ下リ右へ

(第一類ノテニオハニテ方向ヲ示スモノ)折レテ行カバ師範學校ニ至ルベシ

第三問 教師の職を得んとて奮然として郷關を出づ、

答 教師の職を得んとて(となるてにをは)とてなるてにをはの間(に)他語即(は)ちと思ひて(を)言ひて(を)略せるもの(奮然として郷關を出てり、

第四問 左ノ文ヲ假名交文ニ書ケ

ガクヲネサム

答 學ヲ修ム

コノカギリニアラズ

答 此限ニ非ズ

○作文科

第一問 女子に適したる職業

答 凡そ生を此世に稟くるものは一として業なきはなし故に其職とするところ千差萬別なれども固より貴賤の差あることなし我國中古以來武を貴ぶの風習より女子は深窓に潜み機織裁縫を事とするの外他事なかりき然るに現今文明の度進み生存競争の結果また昔日の陋習を持續するを許さず志あるものは皆生業を需むるに至る女子生業の緒日一日と其數を増す宜なりと謂ふべし教職あり醫師あり看護婦あり音樂師あり織工機業養蠶染工美術技師僧尼一々枚擧に違あらずと雖も其歸するところ積極と消極との二あるのみ故に業を撰ぶものは能く自己の魅力と腦力とを考へ加ふるに資金を以て積極的職業を撰擇すべきなり孱弱の婦女子何をか爲さんやとは甚しき酷評とは言ひ大に猛省すべきことなり

○算術科

第一問 甲ハ滿三十三年乙ハ滿二十一年丙ハ滿三年ナリ甲乙ノ年齢ガ丙ノ六倍トナルハ今ヨリ何年後

ナルカ

答 九年後

$$(33+21)-(3 \times 6) = 36$$

$$36 \div (6-2) = 9$$

第二問 長サ六十メートルノ行軍ノ一隊ガ或ル町ノ一端ニサシカ、リシヨリ他端ヲ全ク通過スルマデニ

十九分間ヲ要セリ而シテ一分間ノ速サ四十五間ナリト云フ然ラバ此町ノ全長ハ如何(何町何間ナルカ)

答 十三町四十二間

$$45 \times 19 = 855$$

$$33 \times 60 = 198 = 33$$

$$855 - 33 = 822$$

$$822 \div 13 = 42$$

第三問 甲乙二人アリ共カシテ或ル事業ヲナスコト四日ニシテ其業ノ1/6ヲナセリ而シテ殘業ヲ甲ノ

ミニテナセバ二十日ヲ要スト云フ乙一人ニテ全業ヲナスニハ何日ヲ要スルカ

答 七十二日

$$\frac{1}{6} + 4 = \frac{1}{24}$$

$$\left(1 - \frac{1}{6}\right) \div 30 = \frac{1}{36}$$

$$\frac{1}{24} - \frac{1}{36} = \frac{1}{72}$$

$$1 \div \frac{1}{72} = 72$$

第四問 金八圓四十錢ヲ甲乙丙丁ノ四人ニ分クルニ甲ト乙トノ比ハ2:3 甲乙ノ和ト丙丁ノ和トノ比ハ5:13ニ等シク且ツ丙ハ丁ヨリ五十錢多シト云フ各ノ取前如何

答 甲、一圓八十錢 乙、二圓七十錢 丙、二圓二十錢 丁、一圓七十錢

$$840 \times \frac{13}{28} = 390$$

$$(390 - 50) \div 2 = 170$$
 丁

$$170 + 50 = 220$$
 丙

$$840 \times \frac{15}{28} = 450$$

$$450 \times \frac{2}{5} = 180$$
 甲

$$450 \times \frac{3}{5} = 270$$
 乙

第五問 一升四十錢ノ酒三斗ヲ買入レ最初一割ノ利ヲ得テ若干升ヲ賣リ次ニ残りヲ賣リ拂ヒテ五歩ノ損

ヲナセリ而シテ平均一升ハ賣價四十二錢ニ當ルト云フ然ラバ前後二回ニ賣リシ各升數ヲ求メヨ

答 前一升 後一升

$$40 \times 0.1 = 4$$
 40 + 4 = 44

$$40 \times (1 - 0.05) = 38$$

$$\frac{44}{38} \left\{ \begin{array}{l} 47 \\ 27 \\ 17 \\ 10 \end{array} \right\} \left\{ \begin{array}{l} 27 \\ 17 \\ 10 \end{array} \right\} \left\{ \begin{array}{l} 20 \\ 10 \end{array} \right\}$$

$$3\frac{1}{2} \times \frac{2}{3} = 2\frac{1}{3}$$

$$3\frac{1}{2} \times \frac{1}{3} = 1\frac{1}{3}$$

○珠算科

第一問 新潟長岡間 140.4 哩ヲ里ニ改算シ小數二位ヲ求メヨ 但シ一哩ハ 0.4098 里ナリ

答 十六里、五六

$$0.4098 \times 40.4 = 16.56 +$$

第二問 76.25 × .568

答 四十三個、三十一

第三問 639919 + 809

答 七百九十一個

○理 科

第一問 音ノ高低大小及ヒ音色ハ何ニヨリテ生ズルカ

答 音ノ高低ハ左ノ要項ニヨリテ生ズ

- 一、物体ノ振動數多ケレバ高音ナリ
- 二、振動体ノ長サ短カケレバ高音ナリ
- 三、振動体ノ太サ細キモノハ高音ナリ
- 四、質密ナルモノハ高音ナリ

音ニハ高低ノ外振動幅ノ多少ニヨリテ強弱音ヲ發ス則ハチ振動幅大ナルモノハ強音ニシテ小ナルモノハ弱音ナリ此ノ高音ニシテ且強音ナルモノヲ大音ト云ヒ低音ニシテ且ツ弱音ナルモノヲ小音ト云フ音色トハ發音体ニ特有スル音聲ニシテ大鼓ハ大鼓ノ音鐘ハ鐘ノ音アルガ如ク各種ノ發音ニヨリテ發スル其物体特有ノ音ヲ云フ物体ヲ聽覺ニヨリテ差別スルハ主トシテ音色ニヨルナリ

第二問 石炭ノ効用ヲ述ベヨ

答 石炭ニハ左ノ効用アリ

- 一、燃料トス
- 二、鐵ヲ鍊ルニ用フ

三、瓦斯ヲ採集スルニ用フ

四、燃料ノ淺滓ヨリハタール顏料石炭酸等ノ副産物ヲ得ベシ

第三問 心臟ノポンプ作用ヲ説明セヨ

答 心臟ノポンプ作用ハ心臟壁ノ收縮作用ト心室間ニアル瓣ノ開閉作用ニヨリ血液循環ノ原動力ヲナスナリ

第四問 蛇ノ運動方法ヲ問フ

答 蛇ハ其腹部ニ於テ強硬ナル鱗ニ列ニ排列セリ其運動スルヤ鱗ヲ起立セシメテ匍行ヲ助ケテ蠕行スルナリ

第五問 わらびノ繁殖法ヲ述ベヨ

答 葉ノ縁邊ニ長ク連續スル房叢アリ之レ則ハチ芽胞ニシテわらびノ繁殖ハ之レニヨルナリ

○歴 史 科

第一問 古來僧侶中人才ノ輩出セシ所以ヲノベ併セテ如何ナル時代ニ如何ナル人物ノ出デシカ之ヲ記セ

答 欽明天皇ノ十三年百濟ヨリ佛像經文ノ獻ゼラル、ヤ時ニ盛衰アリシト雖モ奈良朝ニ至リテ最モ隆盛トナレリ爾來佛教ハ上ハ天皇ヨリ信ゼラレシヲ以テ僧侶ノ勢力從フテ大ニ加之政治ヨリ文學ニ至レマデ其手ニ歸セシヲ以テ人材ノ輩出アルニ至レリ今僧侶中有名ナルモノヲ擧グレバ左ノ如シ

推古天皇ノ御宇ニ僧旻

聖武天皇ノ御宇ニ行基、玄昉

陽成天皇ノ御宇ニ最澄空海

鎌倉時代西行、源空、親鸞、榮西、道元、日蓮

江戸幕府契沖

第二問 徳川幕府ノ末ニ於ケル尊王攘夷論ニツキテ知レルトコロヲ記セ

答 源頼朝幕府ヲ鎌倉ニ開キシヨリ後政權久シク武家ノ手ニ歸セシガ天下ノ人遂ニ之レニ馴レテ我が國體ヲ忘レ武家ノ政治ヲナスヲ怪マザルモノ多カリキ室町幕府江戸幕府ヲ經ルニ及ビ益々國體ノ貴キヲ知ラザルノミナラズ新井白石ノ如キモ亦其本末ヲ誤リ新タニ官位ヲ定メンコトヲ幕府ニ建議スルニ至レリ然ルニ徳川家康府ヲ江戸ニ開クヤ大ニ學ヲ獎メ殊ニ程朱學ヲ唱ヒシヲ以テ初メテ朝廷ノ貴キヲ知ルニ至リ將軍家重ノ世トナリ始メテ尊王ノ大義ヲ説クモノ出デタリ寶曆中竹内式部尊王論ヲ唱ヒテ幕府ニ追放セラル次テ明和中山縣大貳尊王論ヲ説キ刑セラル此レヨリ幕府ノ不義ヲ論ズルモノ多キヲ加ヘ寛政ノ三奇人林子平蒲生君平高山彦九郎等ノ出ヅルアリ他方面ニ於テハ國學上ヨリ契沖荷田春滿賀茂眞淵本居宣長平田篤胤等輩出シテ國體ノ世界ニ比類ナキト大義名分ノ怨ニスベカラザルヲ明ニセリ其他水戸光國公頼山陽等種々ノ方面ヨリ尊王論湧出シ王政復古ノ源トナリタリ將軍家光鎖國政策ヲ取リテヨリ百五十餘年間無事ナリシガ家齊ニ至リ露船ノ北海道ニ來ルアリ英船ノ突然長崎ヲ騷ガンタルダメ攘夷ノ論漸ク起リ幕府ハ外國船擊攘ノ令ヲ諸藩ニ下スニ至レリ然レド

モ外國船ノ近海ニ出沒スルモノ益々其數ヲ加ヘ幕府モ後遂ニ其令ヲ取消シタリカクテ孝明天皇ノ嘉永六年北米合衆國ノ水師提督ペルリノ軍艦ヲ率キテ浦賀ニ來リ大統領ノ書ヲ幕府ニ呈スルヤ幕府ハ狼狽シ遂ニ先例ニ違ヒ勅裁ヲ仰グニ至ル是ニ於テ國論喧嚷ヲ極ム時ニ老中堀田正篤鈔カニ通商條約ヲ米ト議定セルヤ事難局ヲ重子策ノ出ツル所ヲ知ラズ大老井伊直弼安政五年勅許ヲ待タズシテ其條約ニ調印シ五港ヲ開クニ至ル天下ノ志士直弼ノ處置ヲ憤リ爲メニ安政ノ大獄トナル後生麥ノ變アリ文久二年五月攘夷論者ノ主張タリシ毛利敬親外國船ヲ砲撃シ攘夷論者ノ意氣大ニアガリシガ尊王攘夷同体トナレリ後朝議一變シ幕府ハ大政ヲ奉還シ開港トナリ明治照代ノ世トナレリ

第三問 日露戰爭ノ結果

答 日露戰爭ハ我帝國ノ連戰連勝天下ノ耳目ヲ驚カセシガ米國大統領ノ勸告ニヨリ人道ヲ重ンズル仁義ノ我皇帝陛下ハ樺太ノ半部ヲ割カシメ及ヒ朝鮮ニ於ケル我先優權ヲ承認セシメ兵ヲ滿洲ヨリ引上グル等ノ條約ニテ其局ヲ結ビヌ

第四問 左ノ人物ニツキ事項ニツキ知レル所ヲ記セ

答 イ、法隆寺 推古天皇ノ御宇百濟ヨリ來レル造寺ノ技師ノ建立セルモノナリ
ロ、遣唐使 舒明天皇ノ時唐トノ交通繁クナレリ此レヨリ先キ推古天皇ノ十五年小野妹子ヲ使トシテ國書ヲ隋ニ遣ハセシハ遣唐使ノ始メナリ宇多天皇ノ御代菅原道真ヲ遣唐使ニ任シタマヒシガ其奏議ニ從ヒテ此レヲ止ム

ハ、瓜生保ハ越前ノ人延元元年新田義貞ノ金崎城ニ據ルヤ保私費ヲ投シテ將士ヲ優待ス足利氏義貞ヲ打ツニ及ビ之レヲ助ケ高師泰ノ軍ト戦ヒ死ス

ニ、濱田彌兵衛ハ長崎ノ商人勇ニシテ謀アリ弟ト共ニ海ニ航シテ台灣ニ至リ我商船ノ台灣人ノ爲メニ犯サレシ貨物ヲ取戻シ其威ヲ輝セリ

ホ、春日局 徳川家光ノ乳媪ナリ家光年二十五痘ヲ病ム重シ局宗廟ニ祈リ自ラ代ランコトヲ乞フ年老ヘ死スルニ及ビ家光親カラ藥水ヲ給シ請ヒアラバ陳ベヨト局感涙思ヒ遺スコトナキヲ答フ時ニ局ノ子稻葉正則局ニ放タル家光之レヲ知り暗ニ其罪ノ許スベキヲ示ス局彼レハ凶悍不忠國法ニ觸レシモノナリ君今妾ノ故ヲ以テ之レヲ許サバ國法ヲ如何ニセント局ノ潔白思フベシ

○地理科

第一問 本邦ノ火山及ヒ地震ニツキ略記セヨ

答 我國ノ火山ハ甚ダ多ク既ニ世ニ知ラレタルモノ二百以上ニ達セリ其等ノ中ニハ淺間山阿蘇山ノ如ク現ニ火口ヨリ盛ニ水蒸氣其他ノ瓦斯ヲ烟ノ如ク噴出スルアリ又ハ富士山マツカリ山ノ如ク現ニ其作用ヲ休止セルアリ又中ニハ年ヲ經ルコト久シク山ノ形著シタ變化シ僅カニ岩石ノ性質ナドヲ見テ其火山タルヲ知ルベキモノモアリ愛鷹山ノ如キハ其例ナリ而シテ火山ハ各脈ヲナスモノニシテ火山脈ト云フ富士火山脈阿蘇火山脈寒風火山脈等ノ如シ
地震ハ地殻ノ陷沒、地之リ、火山ノ起因等ニヨリ起ル震動ニシテ我國ノ多キハ殊ニ著シ琵琶湖ノ成

因三陸海嘯濃美地震善光寺地震等其例ナリ

第二問 關東地方ノ生業ニツキ記セ

答 農業トシテ麥、畜馬、養蠶
鑛業トシテ銅、銀、鉄
工業トシテ生糸、機業、漆器

第三問 日清韓ノ位置關係ヲ圖ニテ記セ

答 圖略ス(讀者諒焉)

第四問 アシア州ニ於ケル英吉利佛蘭西露西亞ノ領地ヲ記セ

答 英吉利 印度 マレト半島ノ海峽殖民地 支那ノ香港 アラビヤノ亞丁
佛蘭西 佛領サイゴン 支那ノ廣東地方 印度ノ一部
露西亞 シベリアノ全部

新潟高等女學校入學試驗問題

○算術科

第一問 曲尺ニテ二丈八尺ノ價金六圓四十錢ナル袖ヲ鯨尺ニテ三尺五寸買フトキハ代價何程

但曲尺ノ一尺ハ鯨尺ノ八寸ニ當ル

答 九十九錢九厘七毛

$$35 + 8 = 4375$$

$$640 + 28 = 2285$$

$$2285 \times 4375 = 9997$$

第二問 富士山ノ高サハ凡ソ一万二千百尺ニシテ新高山ノ高サハ凡ソ一里一丁二間三尺アリト云フ此兩山ノ高サノ差ヲ町間尺ニテ答ヘヨ

答 三町二十五間五尺

$$12100 = 33364$$

$$1123 - 33364 = 3255$$

第三問 $(4 - \frac{1}{5} + \frac{6}{20}) + \frac{7}{4} - \frac{3}{4} = \frac{1}{31}$

答 壹個三十一分ノ四

○作文科

第一問 梅

答 梅は四君子の一として貴ばるる灌木にして早春霜雪を冒して新梢に高潔の花を開く單瓣あり重瓣あり香氣麗はしく枝容亦雅致あるを以て生花として賞用せらるる古昔菅原道真公いたく愛せしを以て後

世其徳を慕ひて庭園に栽培するもの多く殊に黃鳥の春色貽蕩の快を報するに於ては美妙之感之れに及ぶなく又公園の美を添ふる一として用ゐざるなし果實は鹽漬として夏日の副食物とすべく梅酒とすべし材は質密なるを以て十呂盤珠に用ゐらるる梅の賞用せらるる宜なりと謂ふべし

第二問 入學試験に及弟せしを報する文

答 春の景色ののどけさにきのふけふの快晴は此上なき心地に候陳れば私事此度皆々様の御蔭にて高等小學校を卒業致し候に付此れよりは女子の技藝に心を用ゐるべと存じ居り候處親類よりも朋友よりも又師の君よりも共々高等女學校に入學すべく勧誘せらるるにより兩親も賛成せられ當校の入學試験相受け候處幸に合格致し候に付過分ながらも文明とやらの女子中等教育を受け度他事ながら右一寸御通知申上候御老人様にはよしなに御とりなし被下度候と

○習字科

言忠信行篤敬

○國語科

第一問 解釋せよ

明治三十三年清國事變の時わが公使館にてはにかのことゝて兵器など備はらざりしかば有り合せたる古槍日本刀獵銃などをとりて勇ましくいてたち或は哨兵となり或は傳令使となりなどして晝夜警戒の役をつとめたりまた館内の婦女も或は炊事をつかさとりあるひは負傷者を看護しあるひは防禦工事

に用ふる土囊を縫ひなどしてかひがひしくたち働きたり

答 明治三十三年清國團匪事變のありし時、我公使館にては、急變のことよて、兵器等の備もないから、ありあはせの古槍日本刀や、獵銃やなど、をとりて、勇ましく仕立をし、或はものみの兵となり、或は命令を傳へる使となりて、ひるよる、いましめの役を、つとめて居りました、又公使館内の婦女も、或は食物を炊ぐやくをつかさどり、或ものは、傷を負ひしものを看護し、或るものは敵をふせぐ工事に用ふる土囊を縫ひなどして、かひなくしく働きました。

第二問 讀方並解釋せよ

答 イ、衛生 ぬいせい衣食住に心を用ゐて人身を養生すること

ロ、凱旋 かいせん戦に勝ちて歸ること

ハ、測量 ろくりやう距離高低の數量をはかること

ニ、参考 さんかう取調べのたすけにすること

ホ、歳入歳出の豫算 さいにうさいしゆつのよさん一年内に入るべき金額及び一年内に出すべき金額の豫じめの算額

ヘ、維持費 ぬちひもちこたひる費用

中學校入學試験問題

○國語科

第一問 朝、早く起きて、沖の方を見渡せばなかは、もやにかくれたる島々の間を、多くの漁船の、船の音勇ましく、こぎ出づるあり、ろの様、木の葉の、風に、散るがごとし。

右ノ文句ニツキ讀ミ方、意義ヲツケヨ

答 アサハやくオきて、オキのカタをミワタせば、なかはもやにかくれたるシマジマのアヒダをオホクのギョセンのロのオトイサましく、こぎイづるありろのサマコハのカセにチるがごとし。

字 義

朝(一日ノ午前中ヲ云フ)早く(午前中ノ而カモ早々ノコト)起きて(目ヲ覺マシ起床スルヲ云フ)沖の方を見渡せば(沖ハ何里何町岸ノ彼方ガ沖ト云フニハアラサド只ダ想像上岸ヲ離レテ程遠キ海ヲ沖ト云フナリソノ沖ノ方面ヲバ廣ク眼ヲ上下左右視シテ四方ヲ眺ムルコトヲ云フナリ)なかは(其過半の意)もや(霧トハ霞ノ濃キモノ)にかくれたる島島(ソノ謂ニ隠クレテアル島々島トハ即チ四圍海ヲ繞ラス小陸地ナリソノ島ト島トノコトニテイクツモアル小島ノ意)の間を(ソノ島ノ中間ヲアイタトイフ)多くの漁船の(數多ノ魚ヲ捕獲スル船ノコト)船の音勇ましく(船トハ小舟ニテ船ヲ漕クニ用ユル器械ノ名稱ニシテソノ船ヲ漕グトキハギユート音ヲ發スソノ音ノ勇マシイコトヲ云フ)こぎ出づるあり(ソノ勇マシク船ヲアヤツリテ漕ギ出ヌモノアリ)その様(ソノ有様)ノ

木の葉の(樹木ノ葉ノ)風に散るがごとし(一寸秋風ニ木ノ葉ノ散ル様デアリマス)

第二問 讀方并解釋せよ

- イ、尙武 せうぶ 武道ヲ尙ブコトヲ云フ
- ロ、戦勝 せんせう 戦争ニ勝利ヲ得シコトヲ云フ
- ハ、追賞 つゐしやう 死人ヲ賞スルコトヲ云フ
- ニ、善行 ぜんこう 善良ナル行爲ヲ云フ
- ホ、金鷄勳章 きんしきんしやう 武功拔群ノ人ニ與フル勳章ヲ云フ
- ヘ、圓滿なる家庭 ゑんまんなるかてい 一家和合スル家ノコトヲ稱シテカクイフナリ

○習字科

義勇奉公忠信

○作文科

第一問 雪に就て所感

答 我が郷里魚沼の地は北越中とくに大雪の名所なりも十一月のはじめ頃より、霰のよこぶき窓を叩き雪のちらちらと見わたるは實に十二月の中頃なり

夕暮かけて綿花かどあやまたる程の降り續くまに、通行人の草鞋の跡もいつしか隠れてあてかたもなく四邊靜かに夜も漸くふけゆくに、ふしどに入りつゝ明るる朝戸押しあけて見渡せば山と

なく野原となく人家となくはては庭前の石燈籠松が枝ありとあらゆるものゝ限り白銀の世どうちかはるなりかくて毎年つもること大方七八尺程にして時には一丈にも及び通行杜絶して文の便りは更なりとり急ぐ事まで心に任せず不便云はん方なし、家のまはりは殊に雪の爲に城壁を築き建てたるか如し、町のかたへを流るゝ信濃川の水青く連山の眞白きを見るさへいとど寒き心地す

第二問 親友の入學を祝する文

答 前略御免、承れば貴兄には此度いよく御宿志の通り御志願合格中學校へ御入學致さるゝ由奉慶賀候、貴兄も御承知の通り近來學生の風儀大に紊れ新聞紙上にて彼是申し居候は誠に嘆はしき次第と存じ候いかに中學校が完備して立派な先生が教鞭採られ候ても生徒の品行修まらず候ては教育の効果は寸毫も價值なきことゝ信じ居候此時に際して平素謹直なる貴兄が首尾能く御入學の段は誠に欣喜措く能はさる事と存し候何卒一意専心力の及ばひ限り御勉學の上優等の成績を以て御卒業の程切に希望仕候先は右御祝詞申上度如此に御座候早々

○算術科

第一問 四麥三石八斗五升ト十七石八升トノ和ヨリ九石三斗五升ヲ引カバ残り何程ナルヤ

答 十一石五斗八升

$$385 + 1708 - 935 = 1158$$

第二問 木綿一尺織ルニ二十五分ヲ要スル人ハ午前七時ヨリ午後六時迄ニ何尺織リ得ルカ

但晝食ナドノ爲メ一時間休ムモノトス

答 二丈四尺

$$12^{\text{th}} - 7 = 5 \quad 5 + 5 = 10 \quad 10 \times 60 = 600 \quad 600 \div 25 = 24.$$

第三問 二丈八尺ノ反物ニテ衣物二枚ヲ造ルニ用布ハ四尺ト三尺トノ割ナリト各幾何

答 甲一丈六尺 乙一丈二尺

$$4 + 3 = 7 \quad 28 \div 7 = 4 \quad 4 \times 4 = 16. (\text{甲})$$

$$4 \times 3 = 12. (\text{乙})$$

高等小學校本科正教員之部

○修身科

第一問 法律ト命令トノ別

答 法トハ人類共同生活ノ標準ニシテ權力ニ依リテ維持セラル、モノヲ云フ而シテ本問ノ法律ト命令トノ別ヲ記サンニ

法律………帝國議會ノ協賛ヲ經テ成立スル國家最強ノ命令ナリ法律ハ國家最強ノ命令ナルカ故ニ左ノ効力ヲ有ス

イ 命令ヲ以テ法律ヲ變更スルコトヲ得ズ

蓋シ命令モ亦國家ノ命令ナリト雖モ其法律トノ關係ハ其効力ニ輕重ノ差アリ而シテ其効力ニ輕重ノ差アル所以ハ立法上ノ理由ニ基キ法律ハ容易ニ變更スルコトヲ欲セサルニ由ル

ロ 法律ハ法律ヲ以テスルニ非レハ廢止變更スルヲ得ス

法律ハ明文ヲ以テ其廢止變更ヲ命令ニ許容スルコトヲ得ヘシ此ノ許容スル法律ハ自己ノ効力ニ基クカ故ニ猶ホ法律タルヲ失ハス

緊急命令ハ法律ヲ廢改スルノ効力ヲ有スルモ帝國議會ノ承諾ナキトキハ政府ハ勅令ヲ以テ廢止スルヲ得ルカ故ニ法律ニアラス

法律ハ凡テ帝國議會ノ協賛ヲ經ルヲ要ス之レ法律ノ制定ニ係ル、立法ノ手續ハ左ノ順序ニ依ル

一、法律案ノ提出

法律案ノ提出トハ法律案ヲ議定スヘク議會ニ提出スルヲ云フ

二、法律案ノ議定

法律案ノ議定トハ議會ニ於テ提出セラレタル法律案ヲ討議審定(協賛)スルヲ云フ

三、法律ノ裁可

裁可トハ國家ノ意思ヲ決定スル所爲ニシテ天皇ノ親署國務大臣ノ副署ヲ要ス

四、法律ノ公布

公布トハ國家ノ意思ノ發表ナリ法律ハ裁可ニ由リテ國家ノ意思ヲ決定スルモ未タ發表ナキ間ハ法律ノ存在トナラス故ニ裁可ハ法律案ニ確定ノ形ヲ與ヘ公布ハ法律ヲ完成セシム公布ノ方法ハ親署ヲ經タル成案ニ據リ官報ニ印刷スルニ在リ

命令……命令トハ帝國議會ノ協賛ヲ要スルナク成立スル國家ノ命令ナリ命令ヲ發スルハ 天皇ノ大權ナリ 天皇ハ主權者ナリ故ニ命令ハ主權者ノ意思ナリ主權ノ觀念ト國家ノ觀念ト同一ニ歸スルハ我國體ノ特質ナリ命令ハ何レノ場合ニ於テモ命令タルノ性質ヲ有セサル可ラス即チ臣民ノ權利義務ノ範圍ヲ定ムルモノナラサル可ラス

命令ハ帝國議會ノ協賛ヲ經ルヲ要セス

天皇ノ大權ヨリ發スル命令ハ國家最強ノ効力ヲ有スル命令ニアラス故ニ帝國議會ノ協賛ヲ要セス從テ法律ヲ變更スルノ効力ヲ有セス是レ命令ノ特質ナリ但法律ハ命令ヲ變更スルノ効力ヲ有ス而シテ命令ノ成立ニハ左ノ二要素ヲ具備スヘシ唯命令ハ機關ノ協賛ヲ要セサルカ故ニ法律案ノ提出法律案ノ議定ハ命令ニ適用スルコトヲ得サルナリ

第一要素 國家意思ノ決定(裁可)

第二要素 國家意思ノ發表(公布)

命令ヲ分チテ勅令閣令省令府縣令トス

命令ハ命令權ヲ有スル者之ヲ裁可ス故ニ勅令ヲ裁可スルハ君主ニシテ閣令省令府縣令ヲ裁可(決裁

ト稱ス)スルハ國務大臣及府縣知事ナリ

公布ノ方法ハ命令者ノ定ムル所ニ由ル若シ法令相駁フトキハ命令ハ法律ニ之ヲ讓ル唯法律ノ占有セサル部分ニ於テノミ自由アリト云フヘシ

第二問 憲法上ノ大權(狹義ノ大權)ト云フコトヲ説明セヨ

答 憲法上ノ大權トハ 天皇ノ親裁スル政務ノ範圍ニシテ統治機關ニ委任セサルモノヲ云フ故ニ憲法上ノ大權ハ特ニ憲法ニ明言ス其結果トシテ統治機關ノ容喙ヲ許サ、ルナリ君主ノ親裁シ給フ事項(大權事項)ハ大要左ノ如シ

イ 法律ノ裁可、公布、執行

ロ 帝國議會ノ召集開會閉會停會解散

ハ 緊急命令、執行命令

ニ 官制文武官ノ俸給及任免

ホ 陸海軍ノ統帥

ヘ 陸海軍ノ編制

ト 宣戰講和、條約締結

チ 戒嚴ノ宣告

リ 榮典ノ授與

又、大赦、特赦、減刑、復権
ル 皇室典範ノ制定

第三問 社會ト個人トノ關係

答 個人ト社會トハ互ニ相依リ相助ケテ其進歩ヲ期スヘキモノナリ昔時ハ社會ヲ以テ個人ノ集合体トシ
恰モ元子ノ集リテ成リタル一物体ノ如キモノト思惟シタリキ然ルニ個人ハ抽象的ノモノニシテ實際
社會ヲ離レテ生存スルコト能ハサルコトヲ知リシヨリ個人ト社會トノ關係ハ恰モ吾人ノ四肢ト全身
トノ如ク有機的ナルコトヲ認メヌサレハ善良ナル個人ノ成シタル社會ハ善良ニ不良ナル個人ヲ有ス
ル社會ハ健全ナルコト能ハサルナリ熟テ考フルニ吾人ノ心意界ニハ自愛、同情、秩序ノ三性ヲ有ス
吾人カ衣食ヲ採リ住居ヲ選ミテ心身ノ安全ヲ圖ルハ之レ自愛性ノ致ス所ニシテ他人ノ不幸ヲ見テ憐
ミ幸福ヲ見テ喜フハ此レ同情性ノ發露セシモノナリ且ツ吾人ハ小ニシテハ物品ヲ整理シ大ニシテハ
規則ヲ定メテ安寧ヲ維持セントス之レ秩序性ニ非シテ何ツヤ職テ社會ヲ觀察スルニ又同シク自愛同
情秩序ノ三性アルヲ認ム可シ此ノ如ク個人ノ有スル性ハ社會モ亦之ヲ有ス畢竟社會ハ個人ノ大ナル
モノニテシ個人ハ社會ノ小ナルモノナリ此レ個人ノ進歩發達ハ社會ノ進歩發達ニシテ社會ノ改良上
進ハ個人ヲシテ完全ニ近カラシムル所以ナリ

第四問 快樂說ノ種類ヲ舉ケテ各其說ノ要旨ヲ概說セヨ

答 (シツチウイック教授ノ分類ニ依ル)

甲、心理的快樂說

此說ニ曰ク人ハ常ニ或種ノ快樂ヲ追求スルモノナリト即チ人ハ行爲ヲナスハ或快樂ヲ得ンカ爲
ニ趨クスルナリト

乙、倫理的快樂說

此說ニ曰ク人ハ常ニ或種ノ快樂ヲ追求セテハナラズ善ノモノナリト

丙、利己的快樂說

此說ニ曰ク人ノ追求シ欲望スル處ノモノハ自己ノ快樂ナリト此等ノ論者中ニハ或ハ聯想ノ作用
ヲ以テ或ハ恐怖ノ情ヲ以テ他人ノ快樂ヲモ追求セヨト云フモノアレトモ此レ曲解ニシテ本說元
來ノモノニハ非サルナリ

丁、利他的快樂說

此說ニ曰ク人ハ已レノミナラス最大多數ノ最大快樂ヲ追求スヘシ終局ニ於テハ自他ノ區別ヲ立
ツヘカラスト

快樂說ノ理論上不成立ニシテ實際上有害ナルハ世既ニ定論アレハ右ノ主張ノ理ニ合ハサルヤ勿論ナ
リトス

第五問 「博學而篤志、切問而近思、仁在其中矣」ノ意義ヲ說明セヨ

答 仁ハ極メテ高遠ナルモノナレハ容易ニ至リ難キモノナレトモサマトテ及ヒ難キモノニハ非サルナリ

今茲ニ人アリ博ク諸書ヲ涉獵シテ多ク學ヒ以テ道ヲ行ハント志シ且ツ其學ヒタル處ヲ深ク考究シ其義ノアル所ヲ悟リ之ヲ我身ニ反省シ致々トシテ怠ラサル時ハ未タ之ヲ以テ遽カニ仁ナリトハ言フ能ハサレト、其間自ラ仁ニ適フモノアリテ遂ニ仁ニ達スルコトヲ得ヘキナリ

第六問 「可ニ與共學、未レ可ニ與適道、可ニ與適道、未レ可ニ與立、可ニ與立、未レ可ニ與權」ノ意義ヲ説明セヨ
答 聖人ノ道ニ志アル人タランニハ、之ト共ニ勉強スルコトヲ得ヘシサレト志アルノミニテ聖人ノ道ニ明カナラサレハ未タ以テ共ニ道ヲ行フ事能ハサルナリ聖人ノ道ニ明カナルモ其心ニシテ剛毅不屈トレテ已ムノ節操ナケレハ未タ以テ共ニ朝廷ニ立ツヘカラサルナリ剛毅不拔ノ節操アリテ共ニ朝廷ニ立ツモ、變通ノ略ナクハ未タ以テ共ニ權ルヘカラサルナリ

○教育科 (教育)

第一問 訓育ニハ生理的基礎ヲ必要トスル理由ヲ問フ

答 訓育ニハ生理的基礎ヲ必要トスル理由ハ只人ニヨリテノミ教育セラル、モノニシテ教育スルモノモ人、又教育セラル、モノモ人ナリ植物ヤ動物ヲ養育スルヲ教育ト云フヘカラス故ニ教育ハ必ス人ニヨリテ教育セラレテ成長シ德育智育情育ヲ形成スルモノナリ然ラハ人ヲ教育スルニハ必ス兒童ノ身體發育ニ伴ハサル可ラス其心身ノ發達ニ從テ智育德育情育ヲ授ケ徳性ヲ涵養シテ品性ヲ陶冶セサル可ラス兒童幼少ノ頃ハ反射運動、自發運動、カ至テ盛ニシテ心身ノ活動ヲ好ム時季ナリ此時ニ至ツテハ父母又ハ教師タルモノハ兒童自然ノ活動ヲ善方向ニ導キテ其惡活動ヲ抑制セサルヘカラ

ス其抑制ニハ消極的ト積極的ノ二方面アリ故ニ此二方面ヲ適當ノ方法ニヨリテ兒童ノ活動ヲ抑制セサル可ラス訓育ト云フモノハ個別的ノモノ故兒童ノ心身ノ發達ニ應シ其個性ヲ善方面ニ導カシメ惡方面ニ傾向セサル様注意セサル可ラス又訓育ハ主觀的ノモノ故兒童ノ精神活動ヲ充分練磨シテ良心ニ訴ヘテ善惡ヲ決スル様注意セサル可ラス又兒童ノ心的作用生理作用ニ於テハ初メハ遊戯ヲ好ミ從テ作業、業務、ト發達スルモノナリ兒童ハ初メヨリ業務、作業、ヲ好ムモノニアラス原始的ニ遊戯ヲ好ミテ其遊戯中ニ偶然ニ或ル物体ヲ形成シタリトテ其効ヲ得ルトキハ非常ニ興味ヲ感シテ從テ作業、業務ニ進歩スルモノナリ故ニ家庭ニ於テ學校ニ於テ充分ニ其點ニ付テ注意シテ兒童ノ自然ノ活用ニ任シ適宜ニ抑制シテ發達セシメサル可ラス斯ノ如ク訓育ハ心身ノ發達ニ伴ヒテ進歩スルモノ故訓育ハ必ス生理的基礎ヲ必要トセサル可ラス

第二問 品性トハ何ソ且其養成上注意スヘキ要點ヲ問フ

答 品性トハ行爲ノ一定ノ原則ニ從ヒテ之ヲ統一シ確定シテ變化セサルモノヲ云フ、行爲トハ或目的ヲ有スル意識的ノ動作ナリ故ニ行爲ハ目的ヲ有セサル可ラス故ニ目的アラサルモノヲ行爲ト云フ能ハス人ハ必ス或ル動機即チ目的ヲ有シテ活動スルモノナリ、業務ハ一ツノ手段トシテナスモノナリ例ヘハ學生カ朝夕學校若クハ家庭ニ於テ苦學スルハ即チ有學ナル人ニ成ラント欲スル目的アレハナリ即チ苦學スルハ一ツノ手段ニ過キス故ニ人ハ必ス或ル動機ヲ有シテ初メテ行爲トナルモノナリ故ニ品性ハ行爲ノ一定ノ原則ニ從テ此等ノ行爲的意識ヲ統一シテ變化セサルモノヲ云フ品性ハ必ス變化

セザルモノナリ變化スルモノハ品性ト云フヘカラス行爲ハ種々ノ目的ヲ有シテ變化スレトモ行爲カ一定シテ品性トナラタル以上ハ少シモ變化セザルモノナリ品性ハ其養成上注意スルハ習慣ナリ品性ハ必ス善良ナル習慣ニヨリテ形成スルモノ故常ニ善良ナル習慣ヲ形成スル機充分注意セザル可ラズ行爲カ或ル目的アリテ意識的動作ナリト云フト雖モ其意識的動作中ニモ善ナルモノアリ惡ナルモノアリ善ナル行爲ハ品性ヲ作ルニ必要ナリト雖モ惡ナル行爲ハ毫モ善良ナル品性ヲ形成スルノ材料トナラス故ニ善ナル行爲ヲ勉メテ意識的動ト爲シ以テ一ツノ習慣ヲ形成シテ善良ナル品性ヲ陶冶スルニ在リ苟モ善良ナル品性ヲ求メント欲セハ努メテ善習慣ヲ形成セザル可ラス又品性ハ習慣ノミナラス智徳、体育ノ發達ニ留意シテ而シテ品性ヲ陶冶セザル可ラス其他訓育的、道徳的、宗教的、等ニ注意シテ善良ナル精神ヲ得テ徳性ヲ涵養シテ品性ヲ陶冶セザル可ラス

○教育科 (心理)

第一問 思考ト言語トノ關係ヲ問フ

答 左ニ思考ト言語トノ關係ヲ述ヘン

思考トハ直觀ト觀念トノ關係ヲ認知スル作用ヲイフ人ハ必ス直觀ニヨリテ事物ノ何物タルヲ知り觀念ニヨリテ舊直觀ヲ思ヒ起サシム思考ハ必ス彼此ニ付テ比較スルモノナリ例ヘハ櫻花ヲ見テ其形、色、ヲ知リテ其櫻花ヲ見テ其形、色、ヲ知リテ其櫻花ト比較シテ其部分觀念ヲ得テ初メテ櫻花ト椿花ト異リタルヲ知ルモノナリ故ニ思考ハ必ス比較ヲナシテ其事物本質タル可キ要點ヲ結

合シ又一團體ニ通有スル本質タル可キ要點ヲ結合シ全体ヲ一觀念トナスモノナリ之レヲ即チ概念ト云フ思考ニハ概念斷定推理ノ三要素ヲ有ス斷定トハ二ツノ概念ノ關係ヲ認知スル作用ヲ云ヒ推理トハ一ツ若クハ二ツノ斷定ニヨリ一ツノ新斷定ヲ作り出スヲ云フ斯ノ如ク思考ハ心的作用トシテ形式上ノ觀念ヲ惹起スルモノナリコノ惹起シタル觀念ヲ吐出スルハ即チ言語ノ作用ナリ今若シ言語ヲ發スル能ハサルモノトセンカ或ハ手眞似或ハ動作ニヨリテ認知スルト雖モ其手眞似ナリ動作ナリニテハ完全ナル思考觀念ヲ知ルコト能ハス然ルニ言語ト稱スル音聲ヲ一定ノ規律ニ從ヒテ口出スル時ハ充分ニ其口出觀念ヲ完全ニ認知スルコトヲ得盲者ハ啞者ヨリモ殊更智徳ニ優レルハ即チ盲者ハ啞者ヨリモ言語ノ口出スルヲ以テナリ故ニ言語ハ人間生活上一日モ缺クヘカラサルモノナリ自己ノ思想感情ヲ正確ニ表彰スルハ言語ノ力ヲ借ラサル可ラス故ニ思考ハ必ス言語ニ由リテ思想ヲ吐出スルモノナリ

第二問 個性ハ如何ニシテ成立スルカ且ツ教育上ノ注意ヲ述ヘヨ

答 人ノ精神ハ人ノ顔面ノ如ク皆異ナルモノナリ個性モ亦タ然リ各個人ハ皆其個性ヲ異ニス然ラハ個性ハ如何ニシテ成立スルカ之レ即チ遺傳性ナルモノアリ根本的性能ナルモノアリ、何レモ生レナカラニシテ存スルモノナリ遺傳性ノ如キハ其系統ニ關シ根本性質ハ其人ニ關スルモノナリ故ニ遺傳性ハ一ツノ天才ニシテ人何事ヲモ成ス能ハス善良ナル遺傳性ハ充分之レヲ維持シ惡質ナル遺傳性ハ之レヲ類化シテ他ノ善良ナル方面ニ向ハシムルニアリ根本的性質ハ其レ自身カ生レナカラニシテ有スル

ト雖モ遺傳性ト大ニ異ナルハ其モノ、性質ニアルナリ、遺傳生ハ遺傳ニアルナリ故ニ遺傳性ト根本的性質ノ善良ナルモノハ益々進歩セシメ惡質ナルモノニハ益々類化セシメサル可ラス、又男女間ニ於テモ個性ハ大ニ差異アリ男子ハ生活潑ニシテ剛毅不拔ノ氣風アリ女子ハ性柔和ニシテ靜肅沈黙ノ氣風アリ之レ皆天性ニ於テ異ナルモノナレハナリ

又男女社會ニ出テ、ハ大概男子ハ外勤ヲ爲シ女ハ内政ヲ主トルカ如キ皆其個性ヲ異ニスルモノナリ其他男女間ニ於テモ左ノ如キ個性氣質ヲ有ス

熱性(騰液質) 強クシテ速シ

冷性(粘液質) 弱クシテ遲シ

鬱性(神經質) 強クシテ遲シ

浮性(多血質) 弱クシテ速シ

熱性ハ男子ニ多クシテ剛毅不拔忍耐ノ氣風アレトモ(長所)又短氣傲慢ノ風アリ(短所)

冷性ハ沈着ノ態度ヲ有スレトモ(長所)又引込主義トナリ(短所)

鬱性ハ上ニシテハ信仰心アレトモ(長所)又狂人トナル(短所)

浮性ハ何事ニモ役ニ立ツモノニシテ(長所)又忍耐心ナキモノナリ(短所)

斯ノ如ク個性氣質ハ皆男女各人間ニ於テ差異アルヲ以テ其各人ノ性質ニ付テ皆ナ注意セサルヘカラス其レ家庭ニ於テモ學校ニ於テモ父母、教師、ハ其心ノ差異ニ就テ善良ナル訓育ヲ施サ、ル可ラス

此等ヲ注意セシムルニハ各個人ニ自我ノ觀念ヲ充分明瞭ニ得シメサル可ラス即チ自我ヲ認知スルヲ自識ト云ヒテ自識ヲ得シムレハ義務、責任、人格、ト云フモノヲ形成ス又其自我ヲ自由ニ自識セシムル能力ヲ與ヘサル可ラス故ニ純粹ナル自我即チ人格ヲ得而シテ其個性ノ改善ヲ計リ訓育的ニ品性ヲ陶冶セシムレハ個性ヲ改良スルコトヲ得ヘシ

◎ 教 育 科 (論 理)

第一問 定義及分類トハ何ソ且之ヲ構成スル必要ナル要件ヲ問フ

答 定義トハ其性質内容ヲ統括シテ之カ特異ノ點ヲ顯ハシ他ト區別シ易カラシムルヲ云フ定義ニハ字義的定義、記述的定義、論理的定義、ノ別アリ

之カ構成ニ必要ナル要件ハ左ノ如シ

イ、類、種、特異性ヲ有セサル可ラス

ロ、餘リ狹意、又ハ廣漠ニ失ス可ラス

ハ、充分明瞭ナラサル可ラス

ニ、定義セラル、處、名辭同義語ヲ用ウヘカラス

ホ、肯定的ナルモノニハ否定的ナル可ラス

分類トハ其性質内容ヲ分解シテ各種ニ區分シ明瞭ナラシムルヲ云フ

之カ構成ニ必要ナル要件ハ左ノ如シ

イ、類ナラサル可ラス

ロ、種ノ外延ヲ合スレハ類ノ外延ナラサル可ラス

ハ、標準ニ從ハサル可ラス

ニ、同義語ナルヘカラス

ホ、種ハ互ニ排斥セサル可ラス

二者ヲ云ハ、定義ハ全体ノ統括ヲ顯ハシタルモノニシテ分類ハ之レヲ分解シタルモノナリ

第二問 左ノ正否ヲ論セヨ

多クノ國民ハ自治制度ニ適ス、自治制度ニ適スル國民ハ專制政府ノ下ニ立タス故ニ總テノ國民ハ專制政府ノ下ニ立タス

答 本題ノ斷定ハ否ナリ何トナレハ前命題ノ多クハ比較的多クノ意義ニシテ全体ヲ意味セルモノニアラス故ニ大前提多クノ國民ハ自治制度ニ適スト論シ小前提自治制度ニ適スル國民ハ專制政府ノ下ニ立タスト論シ結論ニ於テ故ニ總テノ國民ハ專制政府ノ下ニ立タスト斷定シタルハ誤レリ何トナレハ今自治制度ニ適スル國民ハ專制政府ノ下ニ立タサルコトアルモ之ヲ以テ總テノ國民ハ專制政府ノ下ニ立タスト論定スルコト能ハス或ル國民ハ專制政府ノ下ニ立ツモノナシトモ限ラレス故ヲ以テ此推理ニ於テハ總テノ國民ト論結シタルハ正シカラス前述ニ依ツテタトヒ自治制度ニ適スル國民ハ專制政府ノ下ニ立タストスルモ總テニ換フルニ或ル國民トセハ即チ此推理ハ正當ナリトス

○教 育 史

第一問 宗教改革カ歐洲教育ニ及ホセル影響ヲ述ヘヨ

答 余ハ本問ニ答フルニ先チ何故ニ宗教改革ナルモノカ生スルニ至リシカヲ略述スヘシ所謂史的批評ハ必ス當時ノ宗教ハ如何ニ勢力アリシカヲ觀察セサル可ラサレハナリ

紀元三百九十五年ローマカ東西ニ分レ四百七十六年西ローマ帝國ノ滅亡ト共ニ、中世紀ニ入りコレヨリ東ローマ帝國ノ滅亡迄即チ千四百五十二年迄ヲ中世紀トナス此間ノ主要ナル教育事業ハ寺院學校、僧院學校、寺領學校、シヤールマン帝ノ事業、武士教育、庶民教育、女子教育、科學的精神ノ勃興、煩瑣學派、大學ノ興起等ナリ

要スルニ中世紀ハ全ク宗教ニヨリテ支配セラレタルモノナリ是ヨリ先キオーガスタスノ時猶太ニ基督ノ生ル、アリ一視同仁ノ宗教ヲ唱導シ自己ハ磔刑ニ處セラレタリト雖モビーターホール等アボストルニヨリテ大ニ唱導セラレ途ニ歐洲大陸ヲ宗教化スルニ至リシナリ

今基督教カ社會教育ニ及ホセシ影響ヲ列舉スレハ次ノ如シ

- 一、從來ハ國家的人物ヲ養ハントセシニ反シ世界的ノ人ヲ作ラントセシコト
- 二、從來ハ宗教ハ教育ヲ助クル手段タリシカ爾來根本義トナリシコト
- 三、從來ハ義ニ止マリシカ今度ハ仁(博愛)ニ及ヒシコト
- 四、下民ニモ女子ニモ及ビ平等トナリシコト

五、自己ノ獨立、精神ノ自由ヲ重シセシコト

六、未來ニ着眼セシコト
等ナリ

ハルトマン曰ク若シ他世界ニ於テ人類ト全等ノモノアリトセハ其範圍内ニ於テ必ス宗教アルヘシト
實ニ人類ハ心理上已ニ宗情ヲ有シ偉大ナルモノニ對シ敬虔ノ念アルモノナリ此點ニ於テ基督教カ猶
太教ノ如キ多神教ニ反シテ一視同仁四海平等ヲ説キ有限ノ人類ヲシテ無限ノ靈體ニ向ヒテ向上進歩
セシメ安心立命ノ基礎ヲ確立セシハ其功永久ニ没ス可ラスト雖モ末世ノ僧ノ遂ニ腐敗シテ徒ラニ財
ヲ貪ルニ至リ遂ニ宗教ノ腐敗ヲ絶叫セシムルニ至リシナリ當時ハ僧侶コレ教育ナリト迄云ハレシニ
漸次腐敗シテ僧ニシテ而カモ僧ノ事ヲ知ラス只金ヲコレ貪ルヲ事トセルニ至レリシカモ當時ハバイ
ブル行キ渡ラス只法王僧侶ノ命ニコレ盲從スルノ有様ナリキ

嗚呼、此ノ如クニシテ教育ノ前途誠ニ如何ナルヘキカ幸ナル哉、文藩復興ノ起ルアリ、ダンテ、ボ
ツカシヲ。ベトラルカニ次キコンダンチノープルヨリ古學者來リコ、ニ人文學派ヲ生スルニ至リ全
時ニ自由討究ノ精神大ニ高マリ人々ベプリュー語ヲ研究シテ以テバイブルヲ批評的ニ研究スルニ至
レリコレ實ニ宗教改革ノ導火線ニシテ十五世紀ニ於ケル主要ナル出來事ナリ學者トシテハアグリコ
ラ、ロイヒリン。エラスムス等アリキ

趨勢已ニ此ノ如ケレハ宗教上ニモ大影響ヲ來シ人ハ神ニヨリテノミ救ハルヘシ自己ノ良心ニテ基督

ニ接セサルヘカラストノ念ハ起サレ法王僧侶ノ言必シモ守ルニ足ラストセリ

偶々一大偉人ル―テルヌ出ツルアリ千五百十七年十月三十一日遂ニ法王ノ贖罪金ニ對シ九十五條

ノ宣言ヲナセリル―テルノ主義ハ二ヶ條ヨリ成ル

(一) 信仰ニヨリテノミ救ハル、コト

(二) 聖書ノミ唯一ノヨルヘキ書物ナルコト

カクテ自由ノ精神ハ起サレ實行ニヨリテ神ノ威光ヲ現ハスヘキコトヲ述ヘ利用厚生ヲ主張セリ此點
ニ於テ、新宗教ハ普通教育ノ父、百科學ノ友トナレリ

殊ニル―テルハ健全ナル男、和順ナル女ハ男子女子ヨリ生スルモノナレハ教育ヲ疎外スヘカラスト
ナシ教育ハ實ニ國家ノ富ト勢力トノ基礎ナレハ須ク公立トナスヘシト主張セリ勿論自己ハ大學教授
ノ外實際コレニ當ラサリシモ宗教問答ヤ獨語ニ譯セル聖書ハイカニ人心ヲ化セシカヨ

マンスフイールド公爵モアイスレーベンニ小學校中學校ヲ立ルコトヲ命シ又他國モ大ニ教育ノ必
要ヲ認メタリ

當時ハ僧侶ノ權勢盛ナル爲メ壓制的教育ニシテ而カモ何事モ教ヘズ皆ナ人ヲシテ無學ナラシメタ
リ。ル―テル、メラントンノ如キ視察ノ後常ニ泣ケリト云フ

要スルニ

(一) 教育ハ國家社會ノ富ト勢力トヲ得シムヘキ基礎ナリトシ大ニ國家社會ノ隆盛ヲ圖リシコト

- (二) 從來僧侶ニ委テラレタル教育カ國家社會ニ遷ルノ基因トナリシコト
 (三) 死シタル信仰ニアラスシテ活ケル信仰ヲ起サシメタルコト
 (四) 百科學ノ友トナリシコト
 等ナリ

就中教育ガ國家社會ノ手ニ遷ルニ至リシ基因ヲ開キ十七世紀己ニ獨逸ニハゴーター公爵ニヨリテ學制布カレ十八世紀ニハフリードリヒ大王ニヨリテ小學校令布カレ次テ英佛米ノ諸國モ國家カ教育事務ヲ掌ルニ至リシコトハ最モ注目スヘキ事實ナリトス

第二問 スペンサーノ教育主義ヲ述ヘヨ

答 スペンサーノ教育主義ハ一言ニテ蔽ヘハ實利主義之レナリ畢竟第十九世紀ヲ動カシタル進化論ニ基因セルモノナリコメニウスカ自然的特ニ物界ヲ基トシテ自然的教育ヲ主張セシカ其論旨卓拔直チニヘルバルト、相對スヘキ學者ナリ

然レトモ物界(色界)ヲ以テ心界ヲ論スルハ不可ナキニアラス。心界ニハ心界特有ノ發達順序アルニアラスヤ

カクテルソールハ個人的自然主義ヲ唱ヒ能力ヲ自然ニ發達セシムヘシトナセリ

然レトモコレ畢竟能力說ナリ次テヘルバルトハ觀念ヲ以テ心理學ノ根底トナシコレヨリ打算シテ倫理學ハ其目的ヲ定メ心理學ハ其方法ヲ定ムトナシコ、ニ科學的教育學ヲ立テタリ而シテ教育ノ目的

ハ道德的品性ヲ作ルニテリトシ五ヶノ道念ニハ規則セラレタル識是ハ全意思ノ一致ナリトナセリ即チコメニウス。ベスタロツチハ情智ニ傾キヘルバルトハ意ニ傾キタリ

之レヨリ先キ歸納推理ノ元祖ベールコン出ツルアリアダムスミスノ出ツルアリテ實利主義ヲ主張セルガスペンサーハ實ニコレ等ノ流ヲ吸ミタルモノト云フヘクアマリニヘルバルト派ノ人文的ナルニ反シ教育ハ社會有用ノ人物ヲ作り社會ノ進歩個人ノ幸福ヲ期スヘキモノナリトナセリ而シテコレヲ要求トシテ理科ヲ以テ主要學科トナセリスペンサーノ教育論ノ原書ニモ先ツ初メニオリノコ人ノ入レ墨セルコト等ヨリ虚飾ヲ戒メ實利ヲ主張セリ教育學トセスシテ教育論トナセルアタリ大ニ味フヘキナリ。米國ニハジヨホノツト、ノルセント等此思想ヲ享ケタリ

明治初年ニハ米國流ノ教育行ハレ次テ十二年頃ニハスペンサーノ說最モ行ハレタリシカ當時アマリニ歐化熱セル爲メコレヲ避ケントテ同書ノ絶版ヲサヘ命セラレシコトアリキ
 余輩ハスペンサーノ說ヲ批評スルカ如キモノニアラスト雖モ極端ニ走レル點ニテ聊カ批難ヲ免レサルヘク全說ヲ以テ直ニ探ツテ以テ我國ニ應用セントスルハ不可ナルヘシ併シ近頃ハ又シユライエルマツヘルノ國家社會的教育學說漸ク勢ヲ得テベルゲマン一派ノ說ノ大ニ持テ囃サル、ニ至リタレハセペンサーノ實利主義カ國家社會ノ上ニ於テ確カニ一大真理スルモノト云フヘシ

○教授法管理法及法令

第一問 問答教式ノ教授上ニ於ケル價值ヲ述ヘヨ

答 問答式ノ教授上ニ於ケル價值ハ實ニ重大ナルモノニシテ遠クソクラテスノ發見セシ所ナリ氏ハ常ニ此ノ問答式ヲ以テ人ヲ感化覺醒セシメタルモノナリトソ
而シテ此ノ式カ教授上ニ重大ナル點ハ他ノ講演式等ト事異ナリ兒童ヲシテ常ニ活動セシムルモノニシテ其ノ活動タルヤ兒童ノ個性上彼等ノ大ニ好ム處ノモノタリ即チ講演式ニ依リテ生スル兒童ノ怠慢及厭氣ハ此ノ問答式ニテコレヲ補正スヘク又現今教育學ノ所說スル開發的教授法ハ全ク此ノ問答式ニ依ラスンハ決シテ成シ得ルモノニアラス故ニ凡テノ學科即チ地理科ト云ヒ歴史科ト云ヒ常ニ此ノ問答式ヲ用ヒサレハ其ノ教授ハ全ク寸毫ノ價值モナキモノタリ又此ノ問答式ニ依リテ兒童ノ個性觀察ヲナスヘク且ツ兒童ノ教授ニ依リテ修得シタル學科ノ程度ヲ知ルヘク其ノ他頗ル重大ナル點實ニ枚舉ニ遑アラスト雖モ一朝此ノ教式ヲ亂用センカ兒童ハ其修得スル知識ノ量頗ル少量ナルヲ知ル且ツ又此ノ教式ノ用法ニ於テ誤解ヲ生センカ兒童ノ心中ハ混亂恰モ亂絲ノ如キモノトナリ教授進程上多大ナル妨害ヲ生スルハ火ヲ賭ルヨリ明カナリ即チ其一例ヲ舉クレハ甲ト乙トハ何レカ是ナルカニ就テ甲ノ是ナルヲ形態若クハ暗示スルカ如キハ地方(避地)ノ教師カ多ク此ノ誤解ヲ生スルモノナリ故ニ重大ナル價值ノ存在スルト同時ニ又從テ過失ヲ生スルモノナレトモ此ノ過失タルヤコレヲ使用スルノ方法ヲ誤解セルニ基クモノナリ故ニ此ノ問答式ハ其ノ用法ヲ正確ナラシメハ教授上ニ於テ決シテ弊害ヲ生セサルノミナラス此ノ教式ヲ用キサレハ心理學原則ヨリ來リタル開發的教授ハ決シテ成シ得ヘキモノニアラサルナリ

第二問 讀ミ方教授ニ於ケル書取ノ方法ヲ列舉シ且實施上注意スヘキ事項ヲ詳述セヨ

答 讀ミ方教授ニ於ケル書取ノ方法ヲ大別セハ

- 一、教師難字難句ヲ朗讀シテ各兒童ニ書キ取ラシムルコト
 - 二、各生徒輪沓ニ難字難句ヲ讀ミ上ケ之レヲ書キ取ラシムルコト
 - 三、級長及其ノ級ニ於テノ優等生ヲシテ一句ツ、讀ミ上ケテコレヲ書取ラシムルコト
 - 四、豫テ黑板ニ書取ラシムル文字、文句、ヲ書キコレヲ揭示シテ書取ラシムヘキコト
 - 五、既ニ習得セル文字ト新ニ授ケン文字トヲ結合シテ教師之ヲ讀ミ上ケコレヲ書取ラシムルコト
 - 六、兒童ノ自動ニ任シテ其ノ難字難句ヲ書取ラシムルコト
 - 七、漢文字丈ケニ就キテ書取ラシムルコト
- 右ノ如キ數項ニシテ今コノ各項ニ就キテ詳説センニ
- 一、ニ於テハ完全ニ其ノ書取ノ目的ヲ貫徹シ得ヘシト雖モ終始此ノ方法ヲ用ウルトキハ兒童ハ嫌忌ヲ來タシテ其自動即チ活動心ヲ束縛セラル、ノ感想ヲ起スノ欠點ヲ生ス然リト雖モ難文難句ノ書取ノ目的ハ此レヲ貫徹シ得ルノ理由ハ言ハスシテ明瞭ナリトス
 - 二、ニ於テハ各生輪沓ニ難字難句ヲ讀ミ上クルハ各兒童ノ活動性ヲ利用シ且ツ自活心即チ責任ヲ盡スノ精神ヲ養成シ相互間ノ作業ナレハ好ンテ此レニ從事スルモノナリト雖モ又其ノ失タルヤ常ニ不用ナル文字文句(不用トハ或ル文字ノ使用ヲ誤レルモノナランカ其ノ時間ニ於テ重要ト見サルノミ

ナラス副詞ニモアラサルモノヲ云フヲ讀ミ上ケ其ノ結果終ニ時間ノ不足ヲ來タスコトアリ
 三、ハ同シク彼等兒童ノ同胞ナレトモ常ニ一二名ニ限ラル、ヲ以テ從テ一、ノ如キ害ヲ來タスコト
 及ヒ時トシテハ二、ノ如キ害ヲ生スルコトモアルナリ

四、ハ又兒童カ幾分カ受動的ニ流ル、モノナレハ同シク嫌意ヲ生スルモノナレトモ其ノ利點ハ實ニ
 教師ノ思考ノ加ハレルヲ以テ有益ナルモノナレトモ其使用ヲ誤リ羅列的ナレハ決シテ其功ヲ奏
 スルコト能ハサルモノナリ

五、ハ最モ完全ナルモノナリト雖モ其ノ應用的書取ト練習的方法トヲ誤ル可ラス

六、ハ活動心ヲ應用セルハ最モ至當ナリト雖モ又二、ノ如キ弊害ヲ生スルコト一層大ナリ
 此ノ他應用的書取ニ就テハ

一、書取ラシムヘキ所ノ文字文句ヲ假名ニテ此レヲ書キ置キテ以テコレヲ書取ラシムルモアリ
 二、又一、五、等ニ依リ書物ヨリ離レテコレヲ書取ラシムルモアリ

然レトモコノ應用的書取ニ於テハ其ノ書取ラシムル事項ハ日常兒童ノ接シ得ルモノヲラサルヘカ
 ス

第三問 教員ノ配置ニ關スル規定ノ大要ヲ問フ

答 教員ノ配置ニ關シテハ

一學級ニ本科正教員一名ツ、ヲ配置スヘシ

然シ一學級ノ兒童尋常科ニアリテ七十人以上高等科ニアリテ六十人以上トナルトキハ便宜准教員ヲ
 以テ之レヲ補助スルコトヲ得

學級數六學級以上ノ尋常小學及ヒ高等小學又ハ尋常高等小學校ニ於テハ專務校長ヲ置クコレ六學級
 以上ニナレハ次テ其學校管理上事務多忙ナレハナリ但シ分教場ノ學級數ハ之ヲ算入セス

四學級以上ノ學校ニ在テハ正教員ノ補欠ニ准教員ヲ以テ配置スルコトヲ得此ノ場合ニハ准教員ハ正
 教員ノ代理ヲ爲スモノナレハ正教員ハ其ノ目的ニ於テ准教員ヲ指示スヘシ

尙ホ又土地ノ狀態ニ依リ代用教員ヲ以テ各々此レヲ採用スルコトヲ得ルモノナリ

第四問 二部教授ヲ行フヘキ場合及其設置ノ手續如何

答 二部教授ヲ行フヘキ場合ハツマリ普及教育ノ本旨ヨリ來リタルモノニシテ尋常小學ノ修業ハ國民教
 育ニシテ國民ノ義務タルモノナリトノ所論ヨリ來リ一時就學兒童數非常ニ増加シテ此レカ設備ヲシ
 テ村經濟上急ニ完全ナラシムルコト能ハサルトキニ當リ普及教育ノ本旨ニ依リテ前後ノ二部ニ於テ
 教授ヲ行フモノナリ又土地ノ狀態ニ依リテ通學區域遠キニ亘リシ時若クハ其ノ他非常ナル災難ノ時
 又ハ教師ノ不足ヲ生シタル時ノ場合ニ於テ其ノ手段トシテ二部教授ヲ行フモノトス

其ノ設置上ノ手續ニ就キテハ市ニアリテハ市會町村ニアリテハ町村會ノ議決ニ依リテ市町村長ハ此
 レヲ府縣知事ニ出願シ其ノ認可ヲ受ク可キモノトス

甲、左を解釋せよ

一、世に四恩といふことありそが中に最も重きは朝恩なり普天之下莫非王土率土之濱莫非王臣されば彼の穎川に耳を洗ひ首陽の山に薇を折りける賢人も勅命の背き難き禮義をば存すところうけたまはれ

答 (イ)、一章の趣意

コレ我國鎌倉時代ニ於テ小島法師ノ作ト傳ヘラル、平家物語ニ載セラレタル「重盛父を練じ」ノ條ニ於ケル文句ニシテ時ヤ重盛ノ父平清盛、榮耀ヲ極メ法皇ヲ幽閉セントスルニ當リ忠誠天ヲ貫ク重盛ハ清盛ノ軍ヲ出サントスル所ニ至リテ徐ロニ練ムルニ順義ヲ以テシ皇恩ノ尊キコト天地恩父母恩師恩、ニ優レルノミナラス今ヤ六十余州ノ過半我平家ノ領土タリ臣子タリ如何ン此大恩アル皇上下ヲ幽閉センヤト言々皆ナ肺腑ヨリ出テ涙血漣々タリコレ忠烈ナル重盛カ四恩ノ例ヲ引キテ其父清盛ヲ練ムルノ條ナリ

(ロ)、字句ノ解釋

朝恩 皇恩ノコトナリ畢竟天朝ノ恩ト云フコト
普天之下莫非王土、率土之濱莫非王臣

コレ支那ノ經中ニアル章句ニシテ即チ普天之下トハアマチキ天ノ下ト云フコト莫非王土トハ天子ノ土地ヲナイモノハナイ即チ總テ天子ノ土地ナリト云フコト率土之濱トハ四海普ク何處ノ濱

ニ至ルモト云フコト莫非王臣トハ悉ク其天子ノ臣民テアルトノコトナリ

穎川ニ耳ヲ洗ヒ

昔シ漢ノ許由ト云ヘシ人周公ノ已レヲ召シテ九州ノ長トセントスル内意アルヲ聞キ危懼シテ逃レ避ケ遠ク異域ニ行キタレトモ猶ホ其事ヲ聞クヲ耻トシ穢レタリトシテ穎川ト稱スル河ニ其耳ヲ洗ヒタリシ故事ヲ云フ

首陽ノ山ニ薇ヲ折リケル

コレ又全時代ニ於ケル出來事ニシテ伯夷叔齊、周王ヲ諫メテ用キラレス遠ク首陽ノ山ニ隠レ、周ノ粟(粃)ヲ去ラサル米)ヲ食ハストテ、薇ヲ折リテ食ヒ居リタレトモ之レ又周ノ薇ナリトテソレヲ食フヲ潔トセス遂ニ食ヲ絶テ餓死シタリトノ故事ヲ云フ

賢人ハ道德ノ行高キ人(許由、伯夷叔齊ヲ指ス)

勅命ハ天子ノ御命令

禮儀ハ儀ハ人事ノ儀則禮ハ天利ノ節文ナリ

うけたまはれハ承知シテアルト云フコトニシテ即チ豫テヨリ聞キテ知り居ルヲ云フナリ

(ハ)、讀方

四恩シオン朝恩チヨ―オン普天之下フテンノモト率土之濱ソツドノヒン莫非王土オ―ドニアラサルコトナシ莫非王臣オ―シンニアラサルコトナシ

穎川エイセン首陽の山シユヨトノキヤ薇ヲチビ
賢人ケンシン勅命チヨクメイ禮儀レイギ

(二) 解 釋

世ニ四恩ト云フモノカアルソレハ一、皇恩二、父母恩三、師恩四、天地恩コレテアル而シテ就中
皇恩カ最モ重イノテアルソレハ「天ノ普キ處ノ下ハ王土テナイノハナイ、土ノ續ク處到ル處萬
嶽重疊ノ中モ波濤澎湃ノ濱ニアルモノテモ王臣トシテ天子ノ恩惠ヲ蒙ラナイモノハナイ」ト云
フ支那ノ經文テワカルテハナイカ、デアルカラ彼ノ穎川ニ耳ヲ洗ヒ首陽ノ山ニ薇ヲ折ツタア、
云フ賢人モ苟モ君タルモノアラハ其君ハタトヒ自己ノ好マサル君ナリトモ勅命ハ背クコトカ出
來ナイト云フ禮儀ヲ其舉動ノ中ニ於テ存スルト云フコトテハナイカ況シテ大人ハ前々ハ漸ク昇
殿ヲ許サレテモコレテモ萬八ミナ唇ヲ返シタト云フ程テアツタモノカ今ヤ一飛シテ太政大臣ノ
重キ職ニ就キ高キ位ニ昇リ猶ホ其上ニ加フルニ一門ハ皆ナ高位高官ニツキ不肖重盛ノ如キモ蓮
府槐門ノ位ヲ辰フシ六十余州ノ過半ハ一族ノ領トナツテ居ルカ、ル迷廬八萬ノ峰ノソレヨリモ
猶ホ高キ重疊ノ大恩アル其君ヲ如何ニシテマアソソナコトヲスルコトカ出來様ソ一テモソソナ
コトハテキナイコトデアル

二、同胞を賣りて自から豺狼の飼となる

答 (イ)、字問ノ解釋

同胞ド一ボート讀ム自己ト境遇ヲ全シウスルモノ又ハ自己ト全一ノ區域内ニ居リ自己ト全一ノ
人文的規正ヲ以テ生活シ居ルモノマタハラカラト讀ム

(ロ)、一章ノ主意ハ即チ

自分ト境遇ヲ全ウスルハラカラミウチ骨肉ノ親ミアル如キモノヲ自己一人ノ利欲ノ爲ニ犠牲ニ
供シテ而シテ聊カ敵トスル豺狼ノ心ヲ緩ニシタレトモ豺狼焉ソ如斯ノミニテ足ランヤ遂ニ自己
モ亦惡ムヘキ彼ノ豺狼ノ飼トナリタルコトヲ云フ

三、暴虎馮河の勇

答 (イ)、讀 方

ボーコヒョーカノユ一

(ロ)、其意義

孔子ノ論語ニオケル所謂、暴虎馮河之勇吾之不貴也ノ句ニ基因スルモノニシテ即チ暴虎ヲ搏シ
底知レヌ危キ河ヲ徒歩ワタリスル即チ大切ナル自己ノ身ヲ顧ミスシテナス勇ノコトナリ即チ謀
ヲ好ミ善ク謀リテ而シテ後、事ヲ成スモノヲ貴ミテ斯カル勇ハ貴ハサルナリ

四、名分をみだり内外本末の辨をあやまる

答 (イ) 字句ノ解釋

名分。所謂大義名分ニテ君臣ノ別、父子ノ親等之レナリ
辨。辨別ナリ自己内外輕重ヲ辨スルノ辨ナリ

(ロ) 讀 方

名分メイブン内外ナイグワイ本末ホシマツ辨ベン

(ハ) 其意味ハ

君ヲ上トシテ臣ヲ下トスル如キ名分ヲ亂リ誤リテ而シテ其辨スヘキ内外ト外、本ト末、輕ト重、
トヲ誤ルナリ而シテカク外ト内、本ト末、輕ト重トヲ誤ル處ノ其ノ本源ハ一ニ名分ヲ亂ルニア
ルナリ即チ名分ヲ亂リテ而後先後内外等ヲ誤ルナリ

五、千辛萬苦は我れどちの力をためず試金石

答 (イ) 字句ノ解釋

千 辛 辛ハ辛勞、辛苦等スヘテ難キトスル處ノコトナリ而シ其上ニ冠シタル千ハ其辛苦ノ量ルヘ
カラサル程多クアルヲ云フ

萬 苦 苦モ亦辛ト等シク辛勞艱難等ノコトニシテ自己ノ難シトスル所ノモノナリ其上ニ冠シタル

萬ハ千辛ノ千ト等シク其苦勞ノ無量千萬ナルヲ云フナリ

我れどち我レハ我レナリ自己ノコトナリ

どちハたちニ等シク即チ等ナリ乃チ我等ナリ

試金石 コハ元ト黄金ハ眞否ヲ試メス爲メ其モノヲ桂石ト稱スル堅硬ナル岩石ニ摩擦シテ其ノ黄金

ノ眞否ヲ判定シタルコトヨリ轉シテ人物ノ眞値、材能ノ有無等ヲ千辛萬苦ノ試金石ニヨリ
テ試ミ其人物ノ眞價、材能ノ有無ヲ判別スルニ用ウル言葉トナレルナリ

(ロ) 讀 方

千辛萬苦センシンバンク試金石シキンセキ

(ハ) 一章ノ意義

數多ク我等ノ前途ニ横ハレル此千萬ノ辛苦ハコレ我等ノ人物ノ價值ヲ定ムルノ材料ナリトノ意
テアルイテヤ奮發セサルヘケンヤトノコトナリ

六、あやつり芝居、歌舞伎芝居

答 (1) あやつり芝居

アヤツリシバキト讀ム人形(主ニ)又ハ其他實物ニ模倣セシモノヲ造リテ其各部ヨリ糸繩ヲ下シ其
糸繩ノ、手ナラハ手ノ繩、首ナラハ首ノ繩、其他各部ノ繩ヲ引キテ動カスモノヲ主トシテ演スル劇
ヲ云フ

(2) 歌舞伎芝居

劇ヲ演スルニ當リ前ノあやつり芝居ノ如キアヤツル物ヲ主トスルニアラスシテ演劇ノ舞臺各部ノ

俳優ノ役割ヲ定メ置キ歌フモノハ歌ヒ技ヲ演ズル者ハ演シ舞フ者ハ舞ヒ各自合同シテ一ノ芝居ヲナスモノ即チ現今各地ニ行ハル、芝居ノ如キモノナリ

乙、左の讀方を問ふ

七、出 納 八、句 讀 九、抄 十、桃花色(鶴毛)

答 七、スイトー。ト讀ム 八、クトー。ト讀ム 九、ハカドル。ト讀ム 十、ツキゲ。ト讀ム

丙、左の片假名に相當する漢字を記せ

十一、ヘダテのフスマ 十二、ボタン(洋服の)

十三、キリツにテイシヨクス 十四、ガンシヨク、シヨースイ(かはがやつれる)

答 十一、隔の襖 十二、鈕 十三、規律に抵觸す 十四、顔色憔悴

丁、左の問に對する答を求む

十五、法律上より見たる家と家屋との意義

十六、「いらつしやる」のあらゆる意義とりの用例

十七、ユをヨと誤るを矯正する方法

答十五、法律上より見たる家と家屋との意義

法律上ヨリ觀察シタル家トハ族制ノ根本タリ家トハ有形ノ建物ヲ指スニ非スシテ法律上ノ家籍ニ外ナラズ家籍ハ戸籍ニ因リテ証明セラル、ヲ以テ法律上ノ家トハ通常戸主ト家族トヲ以テ組

織スルモノナリ然レトモ家族ハ家ノ常素ニシテ要素ニアラス家ハ戸主ノミアルモ存在スルモノナレハナリ故ニ族制ヲ探ルトキハ人ハ必ス家ニ屬スヘキモノトス之レヲ法律上ヨリ見タル家トハ云フナリ家屋トハ法律上ヨリ見タル家トハ全然其趣キヲ異ニシテ有形ノ建物ヲ指示シタル稱ナリ故ニ家屋トハ主トシテ人ノ住居シ又ハ使用スル建物ナリト云フヘキナリ

十六、「いらつしやる」のあらゆる意義とりの用例

答 いらつしやるハ入らつしやるニテ其意義及用例ノ範圍極メテ狭少ナレトモ現今ニ於テ濫用ノ結果ハらつしやる(居らつしやる)マタ(行かつしやる)等ノ意義ノ處マテ濫用スルカ如シ其用例ヲ舉クレハ

左ノ如シ

何々さんがいらつしやる (何を様が御出になる)

家へいらつしやる (家へ入られる)

講習にいらつしやる (講習に入られる)

あそこまでいらつしやる (彼處まで行きなされる)

あそこをいらつしやる (彼處に居らる)

肥つていらつしやる (肥れて居られる)

上手でいらつしやる (上手で居られる)

等ノ如シ

十七、ユをヨと誤るを矯正する方法

答 ヤ行ノ音ハ甚タ母音ニ近ク就中ユトヨトハ誤リ易シ

例ヘハジヨ―ユマン(十余萬)キユ―ハ(今日は)ユ―ジ(用事)ヨ―テキル(ゆるてゐる)等ノ如シ其矯正スルノ方法ハユノ發音トヨノ發音トコレヲ一音ツ、發セシムルトキハ誤テ少シヤ行ハ其父音ニナルモノト母音ト熟シタルモノナリユハビトウ。ヨハビトオト熟シタルナリサンハ初メ父音ヲ練習シ母音ヲヨク發シ然ル後ニ結合シテ見先ツ其音ヲ發シ得タラバ前記ノ語(今日、用事、十余萬)ヨリ其他ノ名詞動詞ヲ唱フヘシ

(ユキ、ユリ、ユクヨキ子等)幼キ兒童ニハムツカシキコトハ禁物ナレハ教師ノ口ヲヨク注意視サセ(教師ハ可成大キナ口シテ齋讀セシメ又個人ニ言ハセ後ニヨルユキ等ニ就キ唱ヘシム(時々日ヲ經タル後ニテモ練習セシムルハ勿論ナリ)カクシテアラマシ矯正シ得ヘシ又ウトオトヲヨク曰ハシメ又ハ教師ノ口狀ヲ見テ眞似セシム其音ノツク語ニテ練習セシムルトキハ次第ニユトヨト發音ニ付テ誤リナク矯正スルコトヲ得ルモノナリ

○文 法

第一問 「彼ハ在宅ナリトモ面會スマジ」の「トモ」を「モ」とする時は如何なる誤解を生じるおそれあるか

答 先ツ彼ハ在宅ナリトモノ意義ヨリ説明セン

カクスレハ彼ハ在宅ナリトモナラハ我方ニテハ「彼ノ在宅留守ハ判明セスシテ而シテ若シ彼在宅ス

トモ面會ハスマジ』トノコト、ナルナリ
又若シ之レヲ誤リテ彼ハ在宅ナリトモノトモヲモト改メンカ「彼ハ在宅ナリモ」トナリ稍モスレハ已ニ彼ノ在宅スルコトカ判明セン……………彼ハ在宅ナルモト紛レ易シ若シソレ彼ハ在宅ナルモトナラバ前ニハ彼ノ在宅不在ハ判明セザリシモ後ニハ彼ノ在宅ハ明カニ判リ居ルモ面會スマジト云フ事トナルナリコレ其生ズル誤解ナリ

第二問 左の文に誤りあらば之を正してその理由を説け

中流にて船を覆せしに乘れるものは泳ひて岸へ上りぬ

答 覆セシニ覆スハ佐行四段活用ナレハ其助動詞ヲ述フルニハ第二轉覆シヨリ述フヘキニコレニテハ其

覆セヨリ述ヘ讀ミタリ故ニ此ハ覆シシニトスヘシ

泳ヒテ 泳クハ加行四段活用ナレバ泳キテノ音便ハ泳イテトスヘキナリ故ニシカスヘシ

岸ヘヘハ方位ヲ云フてにをはナルニ斯クテハ岸が方位トナル故ニ誤リナリ宜シク地位ノ場所ヲ示スニト改メ岸ニトスベシ

○文 學 史

第一問 文學上より見たる新古今集

答 新古今集ハ勅撰集ノ第八ニ出シモノニシ土御門天皇ノ元久三年ニ藤原定家、家隆等後鳥羽上皇ノ勅ヲ受ケテ撰ヒタルモノナリ、前代撰バレシモノトハ大ニ其風姿ヲ異ニス其歌ハ流麗ニシテ雅致ニ富

ミ盛ニ詞花言葉ノ巧ヲ弄シ尙ホ其ノ上ニ意ヲ注キテ淺薄ナラサルヲ期シタルモノナレハ見ル人ヲシテ艶麗其眼ヲ眩セシムルモノアレトモ余リニ艶ニ過ギ華巧ニ流レ、奇骨ニ乏シキ歌多シ故ニ後世ノ作家ハ深ク其美ヲ賞スレトモ初學者ノ之ニ感染スルコトヲ深ク戒メタリ

故ニ新古今集ハ唯々纖巧ニ流レテ形式ヲ重ンシタルモノナレハ文學上ノ價值ハ推シテ知ル可キナリ

第二問 寛政以後の儒學

答 寛政ノ學禁以後所謂官學ナルモノ、ミ起レリ即チ蘭齋學派、仁齋學派等ハ異學トシテ排斥セラレ程

朱ノ學行ハレタリ然レトモ他ノ學派無キニアラサレト表ニハ程朱ヲ唱ヘヌ

而シテ徳川氏ノ初メ儒學勃興ノ反影トシテ國學ノ勃興ヲ見、延テ蘭學ノ勃興在リ

儒學ハ高尙ナル立論ヲ有スルカ故ニ平民ニ嗜好セラレス多ク士人ノ間ニ用キラレシカ次第ニ學問ノ

擴張ニ伴ハレテ平民間ニハ有力ナル學者出テヌ

心學ハ實ニ平民ニ高尙ナル理論ヲ平易ニ解シテ説クモノ儒學ニ胚胎セリト云フヘシ

而シテ漢和混文ノ發達ヲ來セリ又現今儒學行ハル、ナク詩文ヲ唱フルト雖モ遠ク及フ所ニアラス

即チ儒學ハ官學ヲ興サントシテ却テ柔和ニ傾キ從テ競爭スルモノナキカ故ニ進歩スルナク國學者等

ノ攻撃ニ倒レ和漢混和文ハ愈發達シ今日ノ普通文ヲ爲セリ

○漢文科 (男)

甲

第一問 左ノ文ニ就キテ句讀訓點解釋ヲ施スヘシ

答 業ハ精_レ于_レ勤_レ荒_レ于_レ嬉_レ。行_レ成_レ于_レ思_レ毀_レ于_レ隨_レ。方今聖賢相_レ逢_レ治具畢_ク張_レ拔_レ去_レ兇邪_ヲ登_レ崇_レ峻_レ良_ヲ占_レ小_レ善_ヲ者_ニ率_テ以_テ錄_セ名_ニ一_ニ藝_ニ者_モ無_レ不_レ庸_ヒ。蓋_シ有_ニ幸_ニ而_シ獲_テ選_テ孰_レ云_ハハ_ハヤ

多クシテ而_レ不_レ揚_テ諸_レ生_業患_レ不_レ能_ハ精_ナ無_レ患_ニ有_レ司_之不_レ明_ナ行_患不_レ能_ハ成_ス無_レ患_ニ有_レ司_之不_レ公_ナ

業ハ勤ムルハ精クナルモノナリ而ルニ嬉即チ打捨テ戯トシテ怠レハ荒レハテルナリ、行ハ常ニ思ヒ考フンハ正シクナリ氣隨氣儘ニ打捨テ墮落スレハ悉皆毀レ損セラル、當時ハ君ハ聖人ノ襟ニ當路ノ有司宰相共賢人ニシテ一時二世ニ出テ相ヒ共ニ天下ヲ治メ居レハ治ムヘキ道ハ悉ク張ル即チ朝廷ノ政治ハ行届キ行ハレ居ルナリ故ニ兇邪トテ惡人ヲ官ヨリ拔キ去リ賢キ俊秀ナル者ハ官ニ登シ尊ハル(二句ハ主ニ官ヲ指スナリ)

故ニ少シク善キ所ノ才徳アル者ヲ大抵ハ記サレ(即チ官吏トナリ名ヲ記サル)一ツノ藝アル者モ用ヒラレサルハナイ是レハ皆身其レ才ノ藝能アリテ選ハレ用ヒラレタルナリ誰カ多能ナレトモ官ニ擧ケラレスト憂フルモノアランヤ、諸氏ハ業ノ精巧ナラサルヲ心配スヘシ決シテ官吏ノ不明ニシテ賢者ヲ擧ケスト患フ可ラス

行ヒハ成功セサルヲ患フヘシ決シテ官吏ノ不公平ニシテ成功セルモノモ用キスト心配スヘカラスト之ヲ要スルニ本文ハ韓愈カ諸生ニ一心ニ學業ヲ勉強スヘシト勸メ學業サヘ出來レハ登庸セラル、コ

トハ必スナリトノ意ナリ

第二問 左ノ文ニ就キテ句讀訓點解釋ヲ施スヘシ

答 跪拜之禮ハ亦小官ノ常分ナリ不足ニ以テ爲スニ辱ト。然レモ亦不當ニ無レシテ故ニ行フ之ヲ。不レト當レシテ行フ而レテ行ハハ當レシテ行フ而レテ不レト行ハハ其ノ爲スハ取レテ辱レ一也。廢逐小臣所守ニ以テ待ツ死者ハ忠信禮義而已。又棄レテ此而レテ不レ守ヲ禍莫シ大ナルハ焉レヨリ。

君ノ前ニ跪キ拜スハ亦タ小官吏ノ當然爲スヘキ本分テアツテ決シテ辱トナス可ラス然レトモ故ナク即チ理由ナク無暗矢應ニ跪拜ノ禮ヲ爲ス可ラス故ニ其禮ヲ行フ場合ニ於テ行ハサルト行フヘキ時テナイノニ其禮ヲ行フノト其辱タルハ全一テアル官ヲ廢セラレ逐ハレタリスル小臣カ以テ死ヲ待ツ所以ト云フモノハ忠信禮義ノミテ是ヲ棄テ守ヲナカツタナラハ禍ノ身ニ及ホス所計リ知ルコトカ出來ストナリ

乙

第三問 左ノ類似句ノ文義ノ相違ヲ説明セヨ

急不許出發ト不許許出發ト不許急出發

答 急不許ニ出發トハ(先ニ許ス機ノ風ナリシモ)急ニ出發ヲ許サ、ルコト、ナレリトノ意

不許許出發トハ(後ニ許スヤモ知レザレトモ)只今ノ處ニテハ出發ヲ許可スルコトハ急ニハ出來ストノ意

不許急出發トハ出發スルハヨケレトモ其出發ヲ急ニネルコトヲ許サスト云フ意

第四問 全不知其實ト不全知其實

答 全ヲ不レ知ニ其實トハ其實ノコトハ何モカモ一ツモ知ラストノコト、不全知其實トハ其實ノコト

ハ少シ知ルモ全部ハ知ラストノコト、前ハ全部知ラスト云ヒ後ハ其内ノ一部分知ルノ意ヲ含ムノ差アリ

丙 左ヲ漢文ニ復文セヨ

第五問 君の才を以て蓋んる中學を卒へ大學に進み遠く海外に遊はさる

答 以君之才蓋卒中學進大學遠遊海外

第六問 己に如かざる者を友とする無かれ過たば改むるに憚る勿れ

答 無友不知己者、過勿憚改

○漢文科 (女)

甲、

第一問 左ノ文ニ就キテ句讀訓點解釋ヲ施スヘシ

答 余親ニ世之青衿ノ遊ニ學ニ都下ニ者ニ往往始而治ニ歐學ニ不レ成也。

去テ治ニ漢學ニ又不レ成也。去テ治ニ雜技ニ汎瀾望洋卒ニ無ニ一所レ獲ニ
續行レ舟者不レ用ニ羅針ニ屢ニ變ニ方嚮ニ。西漂東泊時ニ有リ風波覆没之禍ニ尙何レ望ニ其難岸ニ哉

私ハ世ノ青年ノ都ニ遊學スル者ヲ見ルニヤ、西洋ノ學問ヲ始ムルケレトモ成功セス又廢メテ此度ハ漢學ヲ治ムルケレトモ矢張コレモ成功シナイ今仕方ナシニ他ノ技術的ノ事ヲ治ムルト云フ様ニアチラコチラニ迷ヒ洋行ナトヲスルコトヲ望ムケレトモ到頭一ツモ身ニ修メタモノカアリマセン此ノ如キハチヨード航海スルモノ、羅針(方向ヲ示ス磁器)ヲ用キナイテ行クカ様デアリマスカラ時々方向(ムキノコ)ヲ變更シテ西ニ漂ヒ東ニ泊リ時ニハ風ヤ波ノ起ルコトアリマシテ船カ轉覆シ又ハ沈没スル等ノ災難カアルコトカアリマシレハト―シテ自分ノ目指ス彼方ノ岸ニ達スルコトカ出來ヤウカ到底出來ナイコトデアル

第二問 左ノ文ニ就キテ句讀訓點解釋ヲ施スヘシ

若シ無レ死者生者何^ソ以^テ収^メ其功^ナ若シ無レ生者死者何^ヲ以^テ全^ク其功^ナ是故^ニ征清役^ニ生死功^{同シ}荷^シ欲^ス稱^ニ生者之勇^一何^ソ可^ク忘^ル死者之忠^一

若シ死者カナカツタナラハ生キタ者ハ如何ニ其勳功ヲ樹テマセウ、モシ又生者カナカツタナラハ、死者ハド―シテ其勳功ヲ揚ケルコトカ出來マセウ、ソレデアルカラ清國征伐ノ役ニ生者モ死者モ勳功アリシハ同シイコトデアリマス苟モ生者ノ武勇アリシタメ論功行賞ヲナスト同時ニ死者ノ勳功ヲ樹テ忠烈ナリシコトヲ忘レテヨクアラフバヤ決シテ忘レテハナラナイコトデアル

乙、左の類似句の文義を説明せよ

第三問 鐵橋架於信濃川ト架鐵橋於信濃川

答 鐵橋架ニ於信濃川トハ鐵橋其者カ川ニ架リタル如クナリ即チ自ラナシタルカ如シ

架鐵橋於信濃川トハ讀ム點ヨリ考フルモ人カ鐵橋ヲ信濃川ニ架スルノ意トナル

第四問 太郎讀書ト讀太郎書

答 太郎讀書トハ太郎ガ書物ヲ讀ムノ意トナリ

讀太郎書トハ誰レカ太郎ノ書物ヲ讀ムノ意トナル

第五問 時視ニ物價高低ト視ニ時物價高低

答 時視ニ物價高低トハ時タマ物價ノ高低ヲ見ルコト、ナリ

視ニ時物價高低トハ其時ノ物價ノ高低ヲ見ルコト、ナルナリ

丙、左の文を漢文に復文せよ

第六問 北條時宗元兵を盡にす生きて還るを得たる者僅に三人に過ぎず

答 北條時宗盡ニ元兵ヲ生^キ得^テ還^ル者僅^ク三^人ニ

第七問 午前には字を習へり午後には將に書を讀まむとす

答 午前習^レ字午後^ニ將^シ讀^ム書

○ 作文科 (女)

第一問 服裝

答 およる服裝は世にありとあらゆる人のつけてかなはぬものなれば男女職業身分年齢場合等によりて

各其装を異にせざるべからず、男の子に女の服着せたるは似合しからず、やましき女の子にをくしく飛び立つ男の子の着物させたるはふさはしからず、又各其年齢によりて模様柄等の異なるを求むべきは理なれば女子たるものは、其調製の折よろしく意を注がざるべからず又身分ひくき人の高貴の装ひしたるは何となく案山子に美しの着物着たらんが如く見わていとみにくし、されば服装は其分限相應なるころ肝要なれ又人たるものは其職業によりてまごふべき衣の異なるものなれば、官吏は官吏らしく商人は商人らしく工人は事業をどるに都合よき着物をまごふべし又心すべきは場合によりて其装束の種類を考へざるべからず殊に女は他に出でし禮義を盡すこと男子より多きものなれば吉凶祝祭等の際にも相應の装をすべきなり世の人なべて服装の、よしあしによりて其人の心の底もをしはからるゝといへばよくよく心して軽々しく服装せざるやう心せてやは。

第二問 舊師に寄する文

答 盛者必衰會者定離とはかねて佛家の言の葉にさゝかりたるかたことなれど、實にまごならぬ浮世かな、さのふの淵は今日の瀬と變ればかはる飛鳥川世に住みわびて行く瀬さへ人も通はぬ山里にさすらへて語ふ友もなきけなやいふがひもなき身の上にあしの根のねもごろなりし學びの師に遠ざかり居り候へばわざのすまむめあてもなく其日其日をすこしつゝ。心はやたけにはやれどもまた何たる出来あがりしこともなく御手紙さしわぐゝおはづかしく存じ候、御身のおん膝下に有ける頃は朝な夕な杖とも便り柱とも頼み行末永うおん便り申候をいかにおん學びの爲めとは申しながら

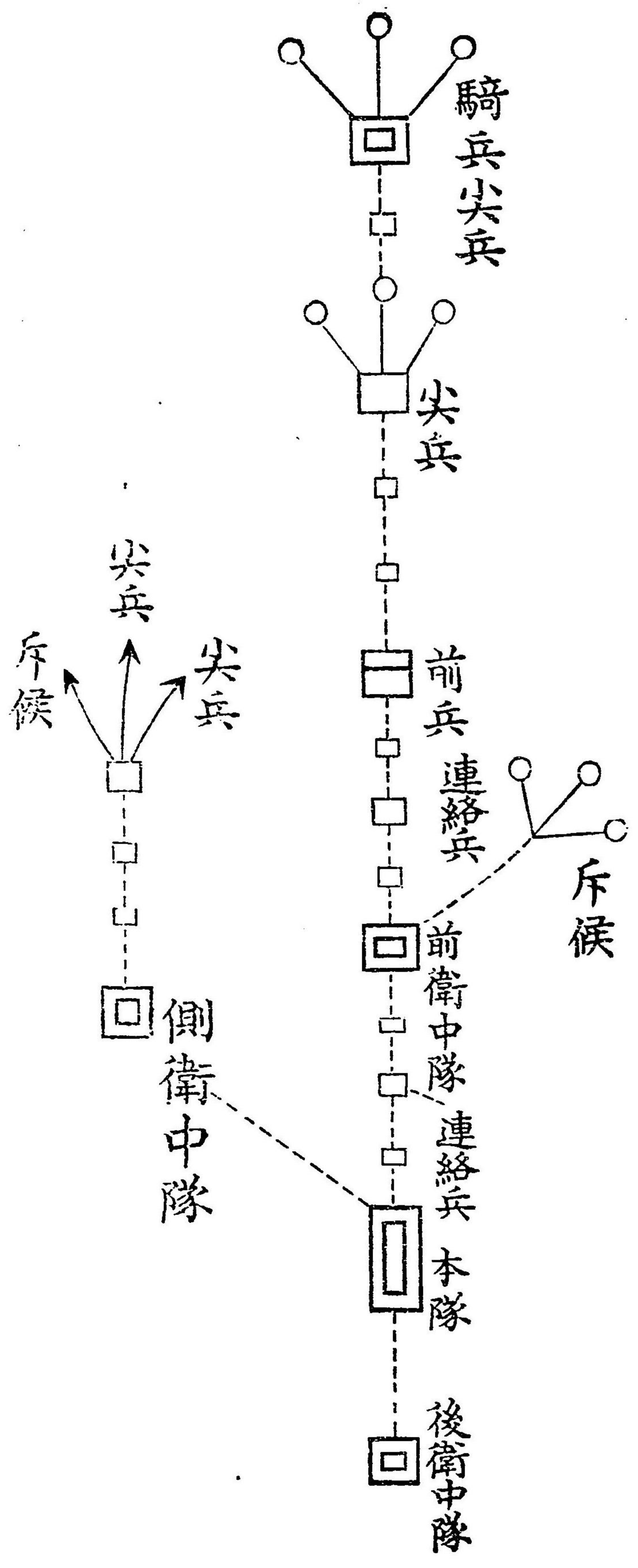
ねもごろなりし學びの師にわかれ申す事よと實にも西に東に吹きわけし浮世の風のうらめしくお別れ申候折は涙せきあへず袖もしとどに相成候を今はた桐のト葉の散りうひる頃と相成候ては風の朝雨の夕師の君を思ひ出さざることやはある、あゝ師の君よ山川萬里の雲水は隔て候ともせめては過ち多き身の御教戒を賜はらば妾がよろこび此上なき限りに存じ候此頃おん身には御障りもやおはしまさずや、御身御大切に精々御いたはり給ひてよ、降て妾こと變ることなく日を送り居候得ば憚ながら御心安う御思召被下度候
なほく都にてはさこそおんことしげくおはしまさんなれと月花のをりを過ごさる雁のおんたより給はらば此上なき幸にこそ

○ 体 操 科 (体操筆記)

兵 式 体 操

第一問 戦備行軍ニ於ケル警戒法ヲ略説スヘシ

答 戦備行軍ニ於ケル警戒法ヲ略圖センニ



戰備行軍ニ於ケル警戒法ハ前圖ノ如シ而シテ
 退却ノ場合ニハ、後衛ハ前衛トナリ前衛ハ後衛ト名稱ヲ異ニスルノミ
 本隊ト前衛中隊トノ距離、前衛中隊ト前兵トノ距離ハ大抵四百米突乃至八百米突ナリ
 前衛中隊及ヒ前兵ノ人員ハ本隊ノ兵員ニヨリ斟酌スレトモ通常前衛中隊ハ本隊ノ四分ノ一乃至六分
 ノ一トス前兵ハ前衛ノ六分ノ一乃至三分ノ一、
 警戒行軍ニ於ケル斥候ハ餘程意ヲ用キサルヘカラス

何ントナレハ敵情ヲ搜索スルト同時ニ本隊ニ遅レサルヨ一進行セサルヘカラス又餘リ本隊ト離レサル
 ルヨ一進マサルヘカラス側衛モ亦本隊ニ遅レサルヨ一遠ク離レサルヨ一ニ注意セサル可ラス

第二問 側面縦隊ニ在テ停止スル小隊ヲ散開スルニハ如何ナル號令ヲ下スカ
 答 側面縦隊ニ在テ停止スル小隊ヲ散開セシムルニハ右(左)ヘ散レ

普通 体操

第一問 柔道、器械体操、及撃劍ト普通体操トニ於テ運動使用筋ノ各特徴ヲ舉ケ普通体操實施上教官
 ノ注意スヘキ點ヲ問フ

注意(一)臂ヲ屈シ兩拳ヲ上胸側ニ取り上体ヲ少シク後方ニ傾ク(二)再ヒ肘ヲ後方ニ引キ上体ヲ少シ
 ク前方ニ屈シ(三)兩拳ヲ正面前下方ニ斜伸シ(四)臂ヲ水平上四十五度ノ角ニ舉ケ上体ヲ少シク後
 方ニ屈スル運動

答 運動ハ各ソノ使用スル筋ヲ異ニス柔道、器械体操ニ於テハ屈筋ヲ使用スルコト多クシテ撃劍ニ於テ
 ハ伸筋ノ活動甚タ大ナリ

普通体操ハ諸筋ヲ平等ニ使用シ同様ナル發達ヲ遂ケシメントスルモノナリト雖モソノ各節ノ運動ニ
 於テハ特ニ使用スル筋肉ヲ異ニス故ニ教師タルモノハ宜シク各運動ニ就キテ其使用筋、ソノ特ニ力
 ヲ用ウヘキ所ヲ知リ此ノ諸筋ヲ發達セシムルト共ニ各運動ヲ適宜ニ配當シテ筋肉ノ平等ナル發達ヲ
 遂ケシムヘキ様注意ヲ必要トス

第二問 徒手体操第二十五節ヲ教授スルニ最モ弊害ヲ生シ易キ點ヲ擧ケヨ

(注意ハ第一問参照)

答 徒手体操第二十五節ヲ教授スルニ最モ弊害ヲ生シ易キ點ハ左ノ如シ

肘ヲ充分ニ後方ニ引カサルコト、拳ノ屈シテ前方等ニ向クコト、体ヲ屈スル際脊及頭ノ屈スルコト、膝ノ屈シ若クハ開クコト等ナリ
而シテ体ハ多ク屈スルニ及ハサルナリ

○地 理 科

第一問 本邦ニ於ケル黄金ノ主産地ヲ記セ

答 本邦ニ於ケル金ノ主産地ハ鹿兒島縣ノ山ヶ野、芹ヶ野、鹿籠ノ三地ト新潟縣ノ佐渡ノ金北山即チ相川附近ト秋田縣ノ御物川ノ上流地方、及ヒ台灣ノ北部即チ淡水河邊ノ砂金等ヲ有名トス

第二問 歐洲ノ文化發達起因ト地理上トノ關係ヲ記セ

答 歐洲ノ文化發達起因ト地理上ノ關係ハ
イ、歐洲ハ他ノ大陸ニ比シ海岸ハ屈曲ニ富ミ海岸線甚ダ長ク從テ良港灣ヲ有シ海外トノ交通ノ發達セルコト
ロ、歐洲ハ地勢山少クシテ平野遠ク連リ諸川縱横ニ通シテ交通至便ナリシコト
ハ、一般ニ土地肥沃ニシテ農牧ニ適シタルコト

ニ、文化發達上必要ナル材料即チ鉄石炭其他ノ鑛産多ク一般ノ工業隆盛ナルコト

ホ、北半球ニ於ケル温帶部ヲ占メ一般ニ氣候快適ナルコト

ヘ、港灣多ク船舶ヲ作り航海術ニ長シ諸外國ト廣ク交通スルコト

ト、一般ニ住民カ堅忍不拔ニシテ勉勵心ニ富メルコト

等ハ皆ナ歐洲ヲシテ文化ニ赴カシメタル起因ナリト云フヘシ

第三問 左ノ地名ニツキ知ル處ヲ記セ

屋 久 島 三 津 ヶ 濱 ガ ロ ン ス 河 エ ッ セ ン ニ ウ オ ル リ ー ン ス

答 屋久島ハ薩南諸島中ニアリテ鹿兒島縣ノ管轄ニシテ大ニ屋久松ノ良材ヲ出ス一湊ハ島中唯一ノ良港

ニシテ本島ノ上陸地及發航地トス鹿兒島ヨリ海底電線アリ

三津ヶ濱ハ愛媛縣ノ西部佐田崎ノ基脚部南岸ニアリ四國ヨリ九州へ渡ル要港ニシテ此邊一帶ノ物産ハ一旦松山ニ集マリ然ル後此港ヨリ他ノ地方へ輸出スルト云フ

ガロンヌ河ハ佛蘭西國ニアリスパニアトノ境ナルヒレチー山脈ヨリ發源シ西方ニ流レビスカヤ灣ニ注ク河邊ノ平野ハ土地肥沃ニシテ麥、葡萄ニ適シ盛ニ栽培セシレ麥酒、葡萄酒ヲ醸造シ盛大ナルコト世界ニ冠タリ故ニボルドーノ如キフランス屈指ノ都會生ジタリボルドーハフランス三大貿易港ノ一ニシテ葡萄酒輸出ノ多キコト有名ナリ又此邊ハ穀類ヲ産シ牧畜業モ行ハル
エッセンハ獨逸國キエルンノ北西ライン河畔ニアル都會ニシテ近傍ルール炭田ト稱シ大ニ石炭ヲ産

ス石炭、鉄、産地ノ中心ニ位セルヲ以テ工業盛ニシテ彼ノ有名ナルクルツア鐵工所アリ
 ニウオルリーンスハ北米合衆國ミシシッピ―河口ニアル本國屈指ノ貿易港ナリ沼口ノ西方一帯ノ地
 方ヨリハ大ニ砂糖ヲ産シ河口ノ東方一帯ノ地方ヨリハ大ニ棉花ヲ産シ世界第二ナリ之レ等砂糖棉花
 ハ概テ此港ヨリ輸出スサレハ其貿易ノ盛大ナルコトハニウヨークニ次ク之ニ桑港ヲ加ヘテ本國ノ三
 大貿易港トナス

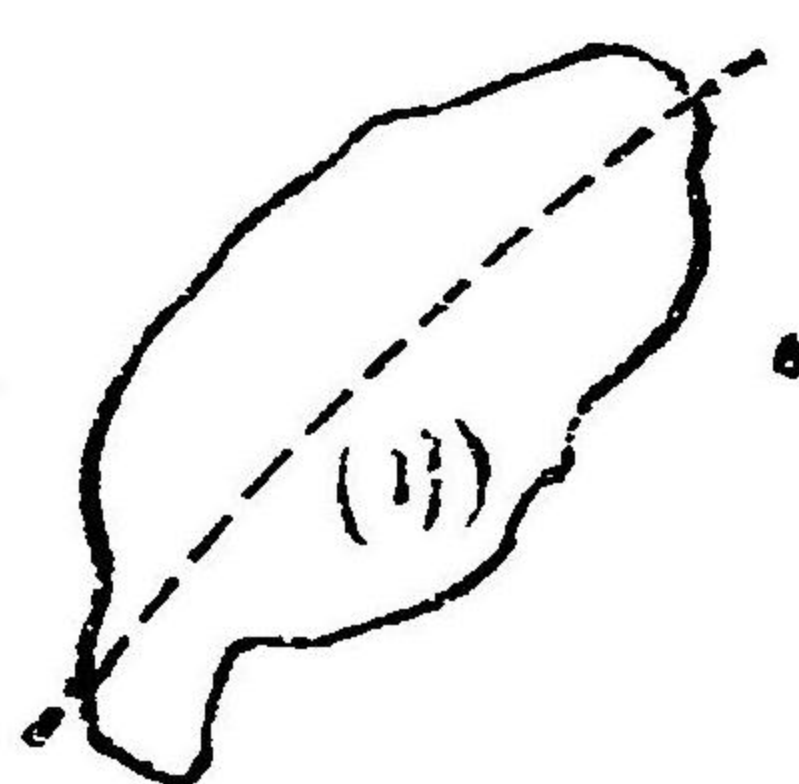
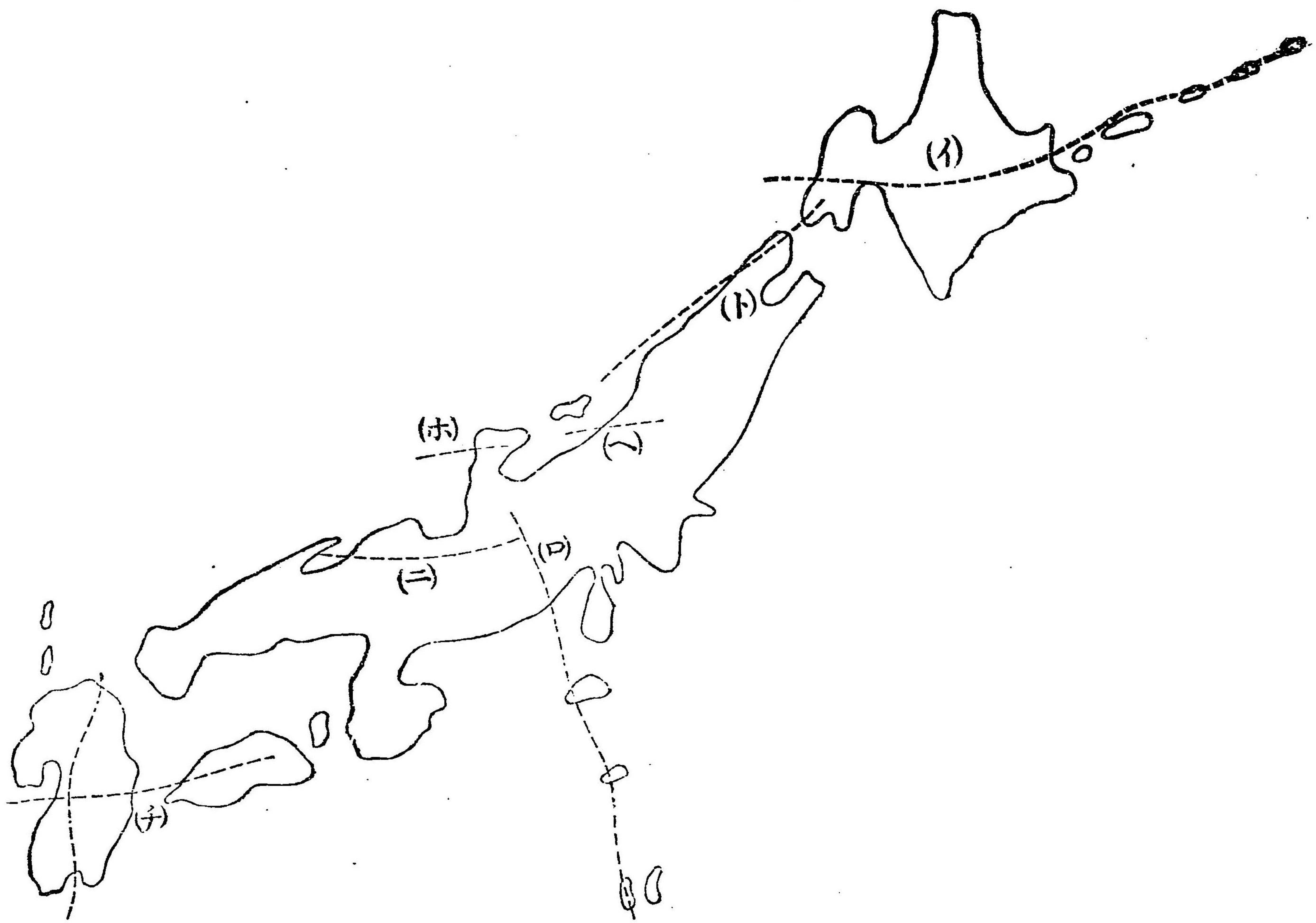
第四問 左項ニツキテ説明セヨ

氷 河 地 震 地 震

答 氷河トハ雪線以上ニ出テタル高山ニ降りタル雪ヲ融解スルコトナク年々其上ニ降雪堆積シタルモノ
 カ下層ノ雪ハ上層ノ壓力ノ爲メニ氷結ス而シテ此ノ氷結シタルモノハ自己ノ重量及ヒ背後ノ壓迫ヲ
 受クル等ニヨリテ其位置ニ留マルコト能ハス下方ニ墜落ス之レヲ名ツケテ氷河ト云フ其墜落スルニ
 當リ岩石ヲ崩壞摩擦シ其温度高キ所ニ至リテ融解スルヤ其中ニ含メル岩石ヲ堆積ス之ヲ堆石ト稱ス
 即チ側堆石又ハ端堆石之レナリ氷河ハ斯ノ如キ作用ヲナシテ地變力ヲナス彼ノライン河ノ如キハ源
 ヲ氷河ニ受ク兩極地方ニテハ氷河流下シテ遂ニ海ニ注テ所謂氷山トナル
 地ニ地震トハ地層ノ排列ニ變化ヲ生スルヨリ起ルモノナリ蓋シ地熱ノ放射スルヤ内部ノ収縮スルニ
 ヨリテ地層ニ罅裂ヲ生ス然ルトキハ或ル地層カ此罅裂ニ沿ヒテ沁リ落ツルコトアリ此ノ沁リ落ツル
 時ノ振動ノ影響カ地盤ヲ動搖シテ此所ヨリ四方ニ向ツテ近ヨリ遠ニ波動ヲ起ス是レヲ地ニ地震ト云
 フ此地震ハ屢アリテ其區域モ亦廣大ナリトス本邦濃美ノ大地震ハ此適例ナリ

第五問 本邦ノ火山脈ヲ略圖ヲ以テ示セ

答



(イ)(ロ)(ハ)

ハ千島帯火山脈ニシテ千島ヨリ起リテ十州島ノ西部ニ至ルモノ
ハ富士帯火山脈ニシテ小笠原島ヨリ起リテ富士山等ニ連レルモノ
ハ霧島帯火山脈ニシテ琉球ヨリ櫻島及ヒ霧島山(九州)ニ連レルモノ
以上ハ本邦最大ノ三火山脈ナリ

(ニ)(ホ)(ヘ)

ハ白山火山脈ニシテ中國ノ北部ヨリ加賀ノ白山ニ連レルモノ

(ト)(チ)(リ)

ハ能登火山脈トス

(ニ)

ハ彌彦火山脈トス

(ホ)

ハ北日本内帯火山脈トス

(ヘ)

ハ阿蘇火山脈トス

(リ)

ハ台湾火山脈トス

○ 歴 史 科

左ノ各項ニツキ説明セヨ

第一問 律令格式

答 律令ハ近江朝廷ノモノヲ以テ最モ古シトス其後大寶ノ律令、養老ノ律令アリ皆唐ノ制度ヲ模倣シテ定メラレタル我國ノ法律ナリ律ハ諸般ノ刑罰ヲ定メ令ハ各種ノ規則ヲ制定シタルモノナリ明治維新ノ初メニ定メラレタル規則ハ多ク之ニ準據セラレシモノナリ格ハ律令ノ所定以外時勢ノ必要ニ應ジ

第二問 徳川家康ノ開國主義

テ隨時定メラレタル諸々ノ規則ニシテ式ハ官府ノ事務規定トモ云フヘキモノナリ最モ有名ナルハ三代格式トテ弘仁、貞觀、延喜ノ際成リタルモノナリ

答 徳川氏ハ鎖國主義ヲ採リタルモノナレトソハ三代將軍家光ノ頃ヨリニシテ徳川氏ノ祖先家康ニ至リ

テハ最モ開國主義ナリキ家康ハ文教ヲ以テ人心ヲ徳化シ貿易ヲ以テ國家ヲ富マサント欲セシカハ將軍宣下ノ後先ツ宗氏ニ命シテ朝鮮ト使聘ヲ通セシメ堺長崎神戸等ノ商人ニ「海家康弘忠恕」ノ文字ヲ刻シタル印ヲ與ヘテ廣ク外國ト貿易ヲ爲サシメ且ツ外人ノ來ルモノヲ優待シタリ當時異國渡海御朱印帳ナルモノアリテ慶長ノ終リノ頃ニ至ルマテ僅カノ間ニテ二百艘以上ノ御朱印船アリタリト云フ以テ如何ニ國人ノ海外ニ往復セシカヲ思フヘシ

天竺徳兵工ノ亞米利加行キ又英人某(船長)ノ我國へ來リテ家康ニ用キラレ葡萄牙國人某ハ相摸ノ三浦半島ニ來リテ全シク家康ニ採用セラレタリト云フ

家康ハ耶蘇教ハ之ヲ禁シタリシモ右ノ如ク外國トノ交通ヲ獎勵公許セリ

伊達政宗カ其臣支倉常長ヲ外國ニ派遣シタルモ此ノ當時ノ事ナリト云フ

第二問 漢武帝ノ外征

答 匈奴ハ高祖ニ勝チテ大ニ勢力ヲ奮ヒ屢々漢ノ邊郷ヲ脅カセシカハ漢ノ武帝ハ大ニ外征ニ意ヲ注キマ

ウ又武帝ハ衛青霍去病ノ兩名將ヲ遣ハシテ匈奴ヲ攻メシカハ匈奴ハ大ニ破レテ意氣挫ケタリ而シテ後チ又張敖ヲ月氏ニ遣シテ同盟セントシテ成ラサリシカ當時西方亞細亞ニ威ヲ奮ヒシ安息ト婚ヲ通シテ匈奴ヲ夾撃セシカハ匈奴益々破レテ遠ク西方ニ退却セリ此等ノ結果トシテ西方ノ大宛康居等ノ諸國ハ降伏スルニ至レリ其他東方諸國ヲ破リテ大ニ武ヲ輝カセリ

第四問 佛國ノ後印度侵略

答 佛國カ始メテ後印度侵略ニ着手シタリシハ十九世紀ノ頃ノコトナリ後印度ハ漢ノ武帝ニ征伏セラレシヨリ之カ封作ヲ受ケ來リシカ王族ノ子孫玩福英ハ佛國ノ宣教師ビニヨリ言ニヨリテ佛國ノ援ヲ請ヒ越南國ヲ立テタリサレト其約セシ所ノ地ヲ割カセ宣教師ヲ優待セシテ之ヲ殺シタリ是ニ於テ乎佛國ハ之レニ乘シテ直チニ兵ヲ遣ハシテ交趾ヲ取リカンボチャヲ屬國トシ猶進ンテ東京安南等ヲモ略取シタリ越南國ハ和ヲ請ヒタリサレト越南ノ君主佛國ヲ怨ムコト甚シク益反目嫉視ノ状態ヲナセリ此ニ於テ佛國ハ更ニ兵ヲ進メテ其保護ヲ以テ任セシカハ干戈再ヒ相交ユルニ至リヌ而シテ佛兵順化府ヲ陷キレタリシカハ越南方盡キ地ヲ割キテ和ヲ請ヒ國ヲ舉ケテ其保護國トナレリ越南ハモト支那ノ屬地ナリシカハ支那ハ佛國ノ保護權ニツキテ異議ヲ唱ヒ遂ニ清佛戰爭ヲ生セシカ佛國勝チテ得テ清國ハ佛國ノ保護權ヲ承認シタリ而シテ佛國ハシヤムニ迫リカンボチャ川以東ノ安南領タルヲ主張シ遂ニ其川ヲ以テ界トナセリ

第五問 サラセンノ文明

答 サラセンハ摩訶末ノ創メシ所謂回教國ナリ第七世紀ヨリ大ニ威ヲ振ヒ東ハシリアペルシアヨリ南西エジプト及亞非利加北岸全部、西班牙等ニ至リ回教大ニ弘マリタリ而シテ地中海沿岸ノ諸國(内歐ヲ除ク外)全部ヲ略取シテ一大王國ヲ建設セシカ後チ別レテ東西二國トナリタルモノナリ而シテ第八世紀ノ後半ハサラセン文化ノ最モ隆盛ノ時期ニシテ諸般ノ學術大ニ進歩セリ化學ハ初メテサラセン人ノ創メシ所ニシテ酸素等ノ瓦斯ハサラセン人ノ發見セシモノナリト云フ其他ノ學術又駢々乎トシテ進歩セシカ數字ノ如キ最モ長足ノ發達ヲ遂ケ今日萬國ニ用キラル、算用數字所謂アラビヤ數字ハサラセン人ノ創意ニカ、ルト云フ

又サラセンノ商業ハ頗ル盛大ニシテ西ハジブラルタルヲ通過シテ遠クブリタニア(今ノ英國)迄モ至リ地中海沿岸ノ諸港ハ云フニ及ハス東ハ遠クペルシャ灣ヨリ印度洋ヲ經テ印度ニ迄モ達シキト云フ此時代ニ於ケル文明ノ程度ノ發達シ盛大ナリシコト以テ想フヘキナリ

第六問 モンロー主義

答 亞米利加合衆國ノ獨立スルヤ荐リニ歐洲ヨリ其物質ヲ輸入シ加フルニ土地肥沃氣候温和ナレハ其進歩甚タ著シク忽チ歐洲諸國ト比肩スルニ至ル十九世紀ノ初葉モンロー選ハレテ米國大統領トナルヤ攘相メツテルニヒノ干涉主義ニ大反對ヲ唱ヒ外ハラシテ米國ノ事ニ少シモ干涉セシメサルヲ主張セリ之レ即チモンロー主義ナリトス

所謂「モンロードクトリン」ナルモノ左ノ如シ

- (一) 米大陸中自由ノ地即チ現存スル歐洲殖民地ノ外ノ地ニハ將來歐洲諸國ノ殖民ヲ許サヌコト
 - (二) 歐洲諸國カ米大陸ノ内治ニ干渉スルハ米國ニ親和ナラサル証ナルコト
 - (三) 米國カ歐洲諸國ノ政治ニ干渉セサル如ク歐洲諸國ハ米國ノ内治ニ干渉セサルヘキコト
- 北米合衆國ハモンロー大統領ノ此說ヲ主唱セシ以來國人舉ツテ之ヲ傲ヒシカ國力ノ發達ト共ニ漸ク帝國主義ヲ採リ侵略ヲモ行フニ至レリ近クハ往年布哇ヲ略取シタルカ如キ又米西戰役ニヨリ比律賓群島ヲ割取シタルカ如キ之レナリ

○簿記科

問題

明治三十八年十月

- 一日 左ノ資本ニテ商業ヲ始ム
 - 現金千圓 大豆 三百俵 一俵ニ付十圓替
- 五日 越後屋ヨリ掛ニテ白米二百俵一俵ニ付十圓替ニテ買入レ運賃三圓ヲ現金ニテ支拂フ
- 廿日 越中屋ヘ大豆二百俵一俵ニ付十一圓替ニテ賣渡シ
 - 内五百圓ヲ現金ニテ受取り殘金ハ本日附二十日限リ同店仕出シ本店受取ノ手形ニテ受取ル
- 卅日 書記ノ給料金十五圓ヲ現金ニテ支拂フ

右ノ取引ヲ複式ニテ日記帳仕譯帳元帖ニ記入シ結算ヲナシ表類ハ損益表丈ヲ作り他ハ之ヲ要セス
但賣殘品ハ白米ハ一俵十一圓大豆ハ一俵ニ付十圓トシテ計算スヘシ

○博物科

第一問 滋養原質ノ消化管内ニテ受クル變化ヲ説明セヨ

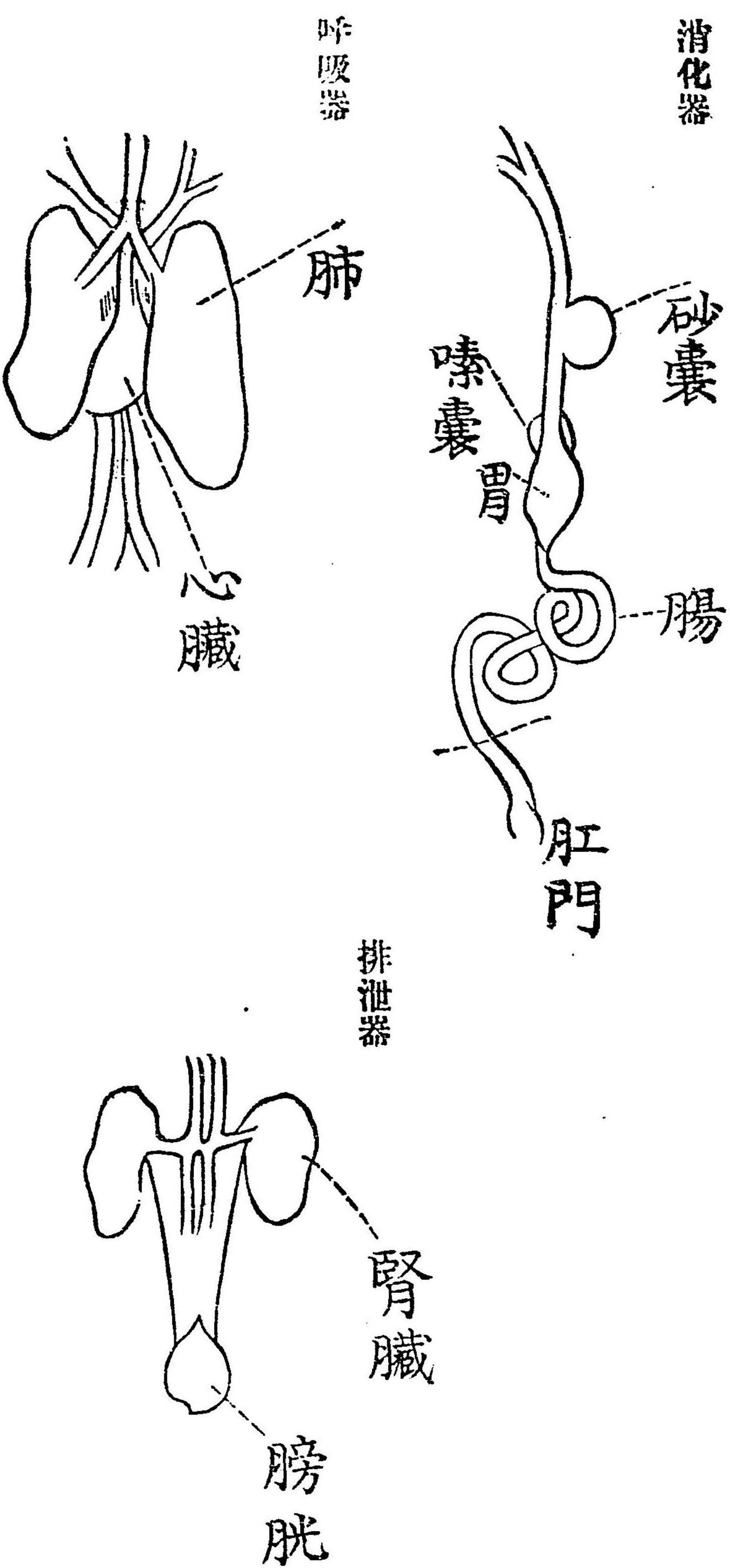
答 滋養原質ノ消化管内ニテ受クル變化ヲ記サンニ今人体内ニ於ケル變化ヲ説明セン、抑モ口ヨリ入り來ル食物ハ種々アリト雖モ澱粉、蛋白質、及脂肪ノ三種ヲ其主ナルモノトス

先ツ口内ニハ三ヶノ唾腺アリテ唾液ヲ分泌シ澱粉質ヲ變シテ消化シ易キ糖分トナス且ツ口ニハ齒アリテ食物ヲカミテ之ヲ適當ニ咀嚼シテ之ヲ食道ヲ經テ胃ニ送ル胃ニハ胃液アリ胃液ハ胃液素及少量ノ鹽酸ヨリ成リ蛋白質ヲ變シテペプトントナスペプトンハ最モ消化吸収セラレ易キモノナリ且ツ胃ハ二種ノ運動ヲナス一ハ手ノ掌ヲ以テ物ヲ揉ミコナスカ如キ作用ヲナシ一ハ摺ノ前後ニ運動シテ以テ食物ヲ腸ニ送ル作用ヲナス已ニ胃ヨリ腸ニ送ラルレハ茲ニ又脾臟及膽臟(膽汁)ヨリ分泌セラレ、液アリ即チ脾臟ヨリハトリプシニト稱スル極メシ胃液素ニ類スル消化液ヲ出ス但シトリプシニハ胃液素ノ如ク鹽酸ノ助ヲカラズシテヨクペプトントナスコトヲ得且ツ液ヨリハ唾液ヲモ分泌シテ澱粉ヲ糖分トナス斯ク變化セラレタル物質ハ小腹ノ長路ヲ小腸壁ノ蠕動ニヨリテ漸次下方ニ送ラル、間ニ腸壁ノ絨毛狀ヲナセル毛細管ニヨリテ吸収セララル、ナリ

其余ハ大腸ヨリ排泄セララル、ト吸収セララル、トノミニシテ別ニ變化ヲ受クルコトナシ

第二問 鳥ノ内臓ヲ圖解セヨ

答 鳥ノ内臓ハ哺乳類ト相似タリ之ヲ圖解セハ



消化器ハ口ニ齒ナク只入ル、作用ヲナスノミ食物ハ食道ヲ通り砂囊ニ入ル
 砂囊ハ鳥ノ消化器中重要ナルモノニシテ哺乳類ノ嚙嚙ト相似シテ砂囊ノ砂ヲ以テ摺ツブスモノナリ
 砂囊ヲ經テ嗉囊ニ入り此ニ貯蓄セラレ漸次胃ニ送ラル胃ニテ半ハ消化作用ヲ起シテ小腸ニ入ル小腸
 ハ人類ノ如ク長カラサレトモ構造全クコレト同シ

小腸ト大腸トハ差別明カナラスシテ肛門ニ達ス肛門ハ体ノ下方ノ腹部ニアルモノ多シ
 呼吸器ハ肺ト氣管トヨリ成ル肺ハ胸腔ヲ填充シ氣管ニヨリテ鼻腔ニ通ス充分ニ空氣ヲ吸ヒバ体ヲ輕
 クスルモノ多シ構造ハ哺乳類ト全ク相類似ス
 循環器ハ心臓ト血管ヨリ成ル心臓ハ哺乳類ニ比シ稍簡單ナリサレトニ心耳二心室ヨリナルコトハ全
 ク同一ナリ

血管ハ動脈靜脈ヨリ成ル大動脈ハ一ニシテ左心耳ニ連リ大靜脈ハ二ツニシテ右心室ニ返ル肺動脈ハ
 右心耳ヨリ出テ肺靜脈ニヨリテ左心室ニ返ル
 排泄器ハ腎臟ニヨリテ排泄作用ヲナス膀胱ハ輸尿管アリテ通ス腎臟ハ脊椎ノ兩側ニアリ尿道ハ体ノ
 腹部ニ開ク又此邊ニ卵巢及精囊アリテ生殖作用ヲナス

第三問 種子發芽ノ際ニ於ケル貯藏物質ノ變化ヲ述ヘヨ

答 種子ハ胚、及之ヲ養フヘキ貯藏物質等ヨリ成ル

胚ハ幼芽、及幼根等ヨリ成リ幼芽ハ後チ成長シテ地上ニ出テ、(或ハ地下ニアルモノモアリ) 幹
 又ハ莖トナリ(此區別分明ナラハ) 枝ヲ出シ葉ヲ生シテ以テ生活ヲ營ミ幼根ハ後下方ニ伸ヒテ根トナ
 リ以テ營養物ヲ吸収スルニ至ル而シテ之ヲ其種子ヨリ發芽セシムヘキ直接ノ關係アルモノハ其貯藏
 物質ナリトス貯藏物質ハ主トシテ澱粉ヨリ成ル又蛋白質及脂肪ヲモ含ムコト多シ或ハ之ヲ子葉中ニ
 貯ヘ又ハ胚乳トナリテ貯藏セラル而シテコハ植物体ノ營養物質ノ澱粉トナリテ貯藏セラレタルモノ

抑モ未ダ根ノ裝置ナク又葉モナキ種子ノ發芽セシニハ是非トモ此貯藏物質ノ營養ナカル可ラス即チ此貯藏物質タル澱粉及蛋白質乃至脂肪等ハ此發芽ノ爲メニ消費セラル先ッ其澱粉ノ如ク直ニ吸收セラレサルモノハ麥芽糖蔗糖ノ如キ消化セラレ易キ糖分トナリ他ノ蛋白質及脂肪等ト共ニ地中ノ水分ヲ取リテ幼植物ヲ養フ故ニソラマメ等ヲ蒸溜水中ニ發芽セシムルトキハ敢テ他ノ地中ニ播キタルモノト異ルコトナク一定ノ發育ヲナセトモ其種子中ノ營養物質ヲ消費シ盡ストキハ再ヒ發育スルコト能ハサルナリ總テ植物体中ニ貯藏セラル、トキハ澱粉ノ如キ物質トナリ体中(植物体)ヲ運行シテ營養ニ供セラル、トキハ水ニ溶解シタル糖分ノ形トナルモノナリ(發芽ノ際ハ勿論熱水分等ヲ要シ又日光ヲモ必要トス)

第四問 應用尤モ廣キ水成岸三種ヲ擧ケテ之ヲ説明セヨ

答 水成岩トハ岩石ノ粉碎セラレタル砂ノ水流ノ爲メニ押し流サレテ下底ニ止マリ漸次其上層ニ堆積シテ其重ミノ爲メニ固クナリテ岩ノ如クナリタルモノヲ云フ而シテ水成岩トハ常ニ層ヲ成シテ存在ス其最モ普通ニシテ用途ノ最モ廣キモノハ砂岩、粘板岩、石板石等ヲ云フ
砂岩ハ岩石中ニ砂ノ細末ノ稍粗ク認めラル、モノニシテ重ニ荒砥(砥石)等トナシテ亦物ヲ研クニ用キ粘板岩ハ仕上ケ砥トナシ亦物ヲ仕上ケニ研クニ用キ又硯石等トナスコトヲ得
石板石ハ石盤又ハ屋根ヲ葺ク等ニ用ウ

石盤石又ハ粘板岩トハ其質甚タ密ナリトス

○ 物 理 科

第一問 初速二十メートルヲ有スル動体ニ毎秒八メートルノ加速度ヲ與ヘテ千メートルヲ進行セシメン
トセハ何秒ヲ要スルカ

答 公式 = $s = vt + \frac{1}{2}at^2$ ナリ $4s = 1000$

$$a = 20 \quad v = 8 \text{ ナリ} \quad \text{故} = 20t + \frac{1}{2}8t^2 = 1000 \quad 20t + 4t^2 = 1000$$

$$t^2 + 5t - 250 = 0 \quad t = \frac{-5 \pm \sqrt{25 + 1000}}{2} = \frac{-5 \pm 32}{2} \quad \text{ハ 意味ナシ故ニ} = 13 \text{ 強}$$

答十三秒強

本題ハ種ニ米ヲ擧算スルハ適當ナランモ物理学トシテハ小數位ノ切捨ハ宜シカラント存シ手數ヲ省キタル爲メニ多少ノ開方及ヒ除算ニ切捨等ヲナセリ

第二問 沸騰ト壓力トノ關係ヲ記セ

答 沸騰トハ液体ヲ熱スルニ當ツテ發スル現象ニシテ其液体ヲ上昇スル状態ヲ稱スルナリ

尙ホ止マス熱スルトキハ沸騰盛ニシテ液体ノ温度更ニ高マラサルナリ

然ルニ沸騰ハ壓力ノ如何ニモ大關係ヲ有スルヲ以テ壓力ノ大小ニ依リテ沸騰點ノ高低ヲ生ス

水ハ攝氏百度ヲ以テ沸騰點ニ達スルトキハ普通平地ニ於ケル氣壓即チ七百六十托ノ場合ヲ云フモノニシテ若シ氣壓減スルトキハ沸騰點ニ達セサル中ニ盛ニ沸騰ヲ始ムルナリ是レ富士山ノ如キ高處ニ

アリテ飯ノヨク表エサル所以ナリ
 密閉セル硝子球ノ稀薄ナル空氣中ニ存スル水ハ人ノ体温ニテ盛ニ沸騰ヲ始ム
 之レト同理ニ壓力ヲ大ナラシメハ沸騰點高マルヘシ即チ百度ニ熱スルモ沸騰セス之レ釜ノ蓋ニ大キ
 ク且ツ重キヲ用ウル所以ナリ
 之レ沸騰ト壓力トノ大關係アルコトヲ了知スヘシ

第三問 日光スペクトルノ各部分ノ作用ハ如何

答 日光スペクトルハ三部ニ分ル

一、赤外線即チ熱線 二、通常ノ日光七色スペクトル 三、紫外線即チ化學線
 以上三部ノスペクトルニテ完全ナル日光スペクトルトナル

一、赤外線ハ屈折角ノ僅少ナル側ニシテ七色中ノ尤モ屈折角ノ小ナル赤色ヨリ尙ホ僅少ニシテ全線
 ノ外ニアルモノナリコノ作用ハ全ク日光ノ熱ヲ副射スルモノニシテ吾人ノ日光ノ熱ヲ感スルハ
 之レニヨル故ニ熱線トモ云フ尙ホ他ニ萬物ノ宇宙ニ生存スルニ當テ必要ナルハ言フ俟タサルナ
 リ

二、通常ノ日光七色スペクトルハ七色則チ(望遠青綠黃橙赤)ヨリ成ル其作用ハ我等ニ之ヲ與ヘテ
 事物ヲ見ルヲ得セシム尙ホ廣ク云フトキハ宇宙萬物生活上ニ關シ多大ナル利アルハ言フ俟タ
 ザルナリ

三、紫外線ハ屈折角最モ大ニシテ董ノ外ニアリ之ハ化學的變化ヲ起スノ作用ナリ故ニ之ヲ化學線ト
 云フ彼ノ寫眞術ノ如キ是ノ線ノ作用ヲ利用シテ種子板ニ藥ヲ施シ感セシムルカ如シ

第四問 起電力一、ニボルト抵抗一グラムナル電池ノ兩極ヲ抵抗十グラムナル導線ニテ連結スルトキハ
 幾何ノ電流ヲ得ルヤ

答 オームノ定律ニヨルニ電流ノ強サハ電動力ニ比例シ抵抗ニ反比ストアラフ故ニ此ノ定律ニヨリ計算ス
 ルニシ

$E = \text{外抵抗} + b = \text{内抵抗} \quad e = \text{起電力} \quad i = \text{電流} \quad R = 10 \quad r = 1 \quad e = 1.2 \quad \text{ナルトキハ}$

公式 $i = \frac{e}{R+r} \quad e = 1.2 \quad R = 10 + 1 = 1.09 \text{強}$

答 一、〇九アンペール

○習字科

左ノ文字楷行草ノ三体ニ分チ一枚ニハ楷書一枚ニハ行草ノ二体ヲ書ケ但用紙ハ二枚共横ヲ用フヘシ楷
 ハ方二寸五分位ノ大サニテ三行ニ行ト草トハ方一寸五分位ノ大サニテ各二行ニ書スヘシ

愛 宰 猶 對 鄉 瘡 章 間 戰 養 遠 獨 (女)

○作文科

普通文 公德心養成

百萬ノ鱗鱗ヲ海ニ浮ヘ試ヲ以テスレハ之ニ當ルモノナク庠序幾千文ヲ以テスレハ比スルモノナキ彼ノ英

國モ其昔ハ野蠻人ノ群居セシ境界ナラスヤ、貔貅萬千黄金庫ニ滿ツノ彼ノ獨逸モ亦タ其昔ハ野蠻人種ノ巢窟ナリシナリ之レニ反シ古昔文華ノ根源文明ノ粹ナリト唱ヒシキリシヤノ今日ソモ如何一時領土甚タ多ク日ノ没スルトコロナシト自負セシローマノ今日ソモ如何、僅ニ歐洲ノ一端ニ地ヲ占メ昔ノ美術ノ思想ヲ存スルノミ嗚呼之レ等シク邦土ナリ等シク國家ナリ而シテ其盛衰ノカク地ヲ異ニスルハ抑モ何ニヨルソ

千重ノ雲萬朶ノ櫻ハ勿論一個ノ物体ト雖モ、ト之レ其原因ナクンハアラス況ンヤ靈敏活動ノ國家ニ於テオヤ

然ラハ國家ノカク盛衰ヲ來タス所以ノモノ誠ニ由アルナリ

今ヤ我カ國公德ノ缺乏ヲ唱フヤ久シ然リ而シテ之レカ養成ノ任ニ當ルモノ未タ之レアルヲ聞カサルナリ夫レ國家ノ盛衰國運ノ消長ハ其國ニ完全ノ教育普及セラル、ト否トニアリ而シテ教育ノ盛衰ハ國民ノ公德心ノ有無ニ存ス國家ノ將ニ亡ヒントスルヤ國民ノ公德心先ツ空シ國家ノ隆アラントスルヤ國民ノ公德心先ツ發ス公德心ノ必要ナルコト此ノ如シ豈思ハサルヘケンヤ

嘗テ之ヲ聞ク英人ハ氣車ヨリ降ルトキニハ必ス戸ヲ閉スト又佛人ハ公園ナトノ實ニ自分ノモノ、如ク之ヲ思ヘ少シモ汚損セサルノミカ各人皆之カ保護ノ任ニ當ルト之レ只一例ノミ國民ノ公德ハカ、ル微細ノ點ニマデ行ハル國家ノ隆昌ニ赴クモ亦宜ナラスヤ

翻テ我國ノ状態ヲ見レハ即チ如何公園ノ櫻花ヲ折リシモノナキカ、神社佛閣ニ樂書セシモノナキカ公共

物ヲ毀損セシモノナキカ自分メラヨケレハ他人バト―テモヨイト考フルモノナキカ吾人ハ不幸ニシテ之ヲ耳ニス噫戰勝國タル日本帝國ノ國民ヨ警醒スルトコロアレ自覺スルトコロアレ文明列國ノ笑ヲ受タルコト勿レ今日ノ日本ハ昔日ノ日本ニアラス又日本ノ日本ニアラスシテ實ニ世界ノ日本ナリ然ルニ以上ノ如ク公德ナキトハ實ニ慚愧ノ至リナラスヤ

果シテ然ラハ之レカ養成ヲ教育者ニ委セサル可ラサルヲ主張スルモノナリ何ントナレハ公德ノナキ所以ハ其長者タルモノカ少シモ公德心ナキニヨリ次ニ出ツル兒童カ之ヲ暗々黙々ノ裡ニ眞似スルニ由ルナリ即チ前者ノ無公德ヲ繼承スルナリ故ニ先ツ現ニ教育シツ、アル兒童ヲシテ社會ニ群カル無公德者ニ感染セサルヨ―教育セサルヘカラス

兒童ヲシテ精神ヨリ公德ヲ重ニスルヨ―教育セサルヘカラス

而シテ初メテ西歐諸邦ト比肩シテ公德ヲ養成シタル効果ヲ顯揚スルニ足ランナリ

戰勝後ノ國民ハ一層其公德ヲ涵養スルニ努メ我國威ト共ニ公德ノ美風ヲ發揚シ以テ完全無欠善美ナル櫻花園ノ名ニ背カサルヨ―教育者タルモノハ大ニ孜々勉勵其ノ實蹟ヲ舉クルニ意ヲ用ヤスシテ可ナランヤ

書簡文 子弟を人に托する文

拜啓時下秋冷之候に御座候處貴下には彌々御壯健にて御精勤被遊御座候趣慶賀の至りに奉存候陳者突然の儀に候得共愚息今春某高等小學校卒業致し候に付本人の希望に任せ將來は尋常師範學校へ入學爲致度考に有之候得共何分本人は未だ幼少の者にも有之只其素養も不充分にも被存候故今一ヶ年間は豫習致さ

サ候后入學試験に應せしむる心得に有之候實は御職掌柄御繁用の事なれば至極恐縮とは存候へ共此事情御推察被下何卒御膝下に止宿を御願申置さ晝間は豫備校に通學せしめられ且つ夜間は御閑隙の折には御監督旁御教授被下度御願申上候尤も本人一身上に付ては自分近親の方にて萬事引受け可申筈に有之候右御願申上候勿々頓首

○珠算科

第一問 5842.8 × 8.43

答 四萬九千二百五十四個八〇四

第二問 3598.98 ÷ 38

答 九十四ヶ七一

第三問 甲乙兩地ノ經度ノ差二十一度三分ナリ兩地ノ時差ヲ求ム

答 一時二十四分十二秒

○代數科

第一問 $(a-b)^2 + (c+d)^2$ ヲ因子ニ分解セヨ

答 次ノ公式ニヨル

$$a^2 + b^2 = (a+b)(a^2 - ab + b^2); (a-b)^2 + (c+d)^2 = (a-b+c+d)\{(a-b)^2 - (a-b)(c+d) + (c+d)^2\}$$

第二問 $\frac{1}{x} + \frac{1}{y} = 8$ $\frac{1}{x} + \frac{1}{2} = 2$ $\frac{1}{y} + \frac{1}{2} = 4$ ヲ解ケ

答 $\frac{1}{x} + \frac{1}{y} = 8$甲トス $\frac{1}{x} + \frac{1}{2} = 2$乙トス

$$\frac{1}{y} + \frac{1}{2} = 4 \dots\dots \text{丙トス}$$

甲ヨリ乙ヲ減シテ次ヲ得

$$\frac{2}{y} = 10 \text{ 即チ } y = \frac{2}{10} = \frac{1}{5}$$

$$y = \frac{1}{5} \text{ トスレバ甲ヨリ}$$

$$x = \frac{1}{3} \text{ ヲ得}$$

$$\text{又 } y = \frac{1}{5} \text{ トスレバ丙ヨリ}$$

$$z = 1 \text{ ヲ得}$$

故ニ答ハ左ノ如シ

$$x = \frac{1}{3}$$

$$y = \frac{1}{5}$$

$$z = 1$$

第三問 $x-5+2\sqrt{x-5}=0$ ヲ解ケ

答 $x-5+2\sqrt{x-5}=0$

移項シテ

$$2\sqrt{x-5} = -x+5$$

平方ニスレハ

$$4(x-5) = x^2 - 10x + 25$$

再ヒ移項スレハ(括弧ヲ解キテ)(符號ヲカヘテ)

$$x^2 - 14x = -45$$

14ノ半ノ平方7²ヲ兩項ニ加ヘテ

$$x^2 - 14x + 7^2 = -45 + 7^2$$

$$(x-7)^2 = 4 \quad \text{平方ニ開ケハ}$$

$$x-7 = \pm 2$$

$$x = 7 \pm 2 \quad \text{即 } 9.5 \text{ ヲ得}$$

而シテ9ハ本方程ヲ満足セス故ニ5ヲ以テ答トス

検因 證 $x^2 + 3xy = 7 \quad y^2 + xy = 6 \quad \text{ヲ解ケ}$

$$\frac{y}{x} = v \quad \text{トス}$$

サレハ

$$x^2 + 3xy = 7 \quad = x^2(1+3v) = 7$$

$$y^2 + xy = 6 \quad = x^2(v^2 + v) = 6$$

$$\frac{x^2(1+3v)}{7} = 1 = \frac{x^2(v^2+v)}{6}$$

各ヲ $x^2 = 除シテ$ 分母ヲ拂ヘハ

$$6 + 18v = 7v^2 + 7v$$

移項シ同數項ヲ約シ符號ヲカエレハ

$$7v^2 - 11v = 6 \quad \text{七除シテ適宜處置スレハ}$$

$$v^2 - \frac{11}{7}v + \left(\frac{11}{14}\right)^2 = \left(\frac{11}{14}\right)^2 + \frac{6}{7}$$

$$\left(v - \frac{11}{14}\right)^2 = \left(\frac{17}{14}\right)^2$$

$$v - \frac{11}{14} = \pm \frac{17}{14}$$

$$v = \frac{11 \pm 17}{14} = 2 \dots \frac{3}{7}$$

サテ $v = 2$ トスレハ

$$x^2(1+3v) = 7 \quad \text{ヨリ}$$

$$x = \pm 1 \quad \text{ヲ得}$$

$$x = -1 \quad \text{トスレハ } y = -2$$

$$\text{全様} = -\frac{3}{7}x, y, \text{ノ答ヲ得ベシ}$$

第五問 $p + p^2 + p^3 + \dots + p^n$ 項ノ和ヲ求ム

答 初項= p 公差= p 項數= n

$$\text{總和} p \frac{1-x^{n+1}}{1-x} = p \frac{1-x^{n+1}}{1-x}$$

○教育及教育史 (女)

第一問 教育ハ男女ニヨリテ其方針ヲ異ニセサルヘカラサル理由ヲ述ヘヨ

答 兒童ノ發達タルヤ其出生スルト共ニ始マルモノナレハ教育モ亦マサニ此時ヨリ始メサルヘカラス同性ナル兒童ニ於テスラ然リ況ンヤ男女其特性ヲ異ニスルニ於テオヤ

身体ノ構造ヨリ五官ノ發達及精神ニ於テモハヤ出生ノ當時ヨリ異ナルモノヲ、兒童ハ凡ソ始メニ受ケタル感化ハ後年ノ發達ニ大ナル影響ヲ與フルモノナレハ元來女子ハ感情ニ強ク男子ハ智識ノ發達ニ長スルモノ故モトヨリ女子ハ女子ラシク男子ハ男子ラシクシテ各其教育ノ方針ヲ異ニセサルヘカラス其成長スルヤ教育ノ感化ノ及フ最高年齢ハ通例男ハ二十五才女ハ二十一才即チ生レテヨリ右ノ年齢ニ至ルマテヲ區分スレハ哺乳期、兒童期、少年期、トナル故ニ男子ニ教育スル所ヲ以テ之ヲ女子ニ施ストキハ所謂快活ニ過キお轉婆トシテ世ノ擯斥ヲ受クルニ至ル之ニ反シ女子ノ教育ヲ以テ之ヲ男子ニ施ス時ハ所謂柔和ニ過キ其天性ヲ委靡シテ國運ノ發達ヲ阻害スルニ至ル故ニ男子ト女子トハ天性ニ於テ異ナルノミナラス嗜好智識技能行爲等ハ全然同一ナラス故ニ女子ニ

施ス所ノ教育ナルモノハ大ニ注意セサルヘカラス

第二問 訓育的教授ノ意義ヲ明ニセヨ

答 教授ハ智識技能ヲ傳ヘ訓練ハ實際ノ行爲ヲ練リ以テ道義的觀念ヲ養成スルモノニシテ此二者ハ相俵テ離ルヘカラサルモノナリ即チ教授ハ訓練ヲ兼テ訓練ハ教授ヲ助クルモノタラサルヘカラス抑モ教育ノ目的タルヤ道義的觀念ニヨリテ指揮セラル、識見ト一切ノ意思トノ調和ヲ完備シタル人物換言スレハ圓滿ナル徳ヲ備ヘタル人物ヲ養成スルニアレハ此目的ヲ達スルニハ先ツ教授即チ智育ヲ以テ善行ノ根本的材料ヲ作り訓練即チ德育ヲ以テ此材料ヲ實地ニ應用スル習慣ヲ養ハサルヘカラス故ニ訓練ハ常ニ教授ニ後レテ施サレ殊ニ其作業ヲ被教育者ノ一切ノ意思ニ及ホスコトハ更ニ後レテ之ヲ行ヒ得ヘキナリ教授ニヨリテ養成スル識見ハ靜默無爲ノモノニアラスシテ常ニ活動シテ其働キハ意思ニ遷リ意思ニ進ムモノタラサルカ如ク訓練モ亦純然タル意思其モノニ關スルニアラスシテ道義的識見ヨリ生スルモノタルヘシ換言スレハ道義的觀念ノ支配スル思想界ヨリ生スル意思ニ關スルモノタルヘシ苟モ國民教育道徳教育ヲ以テ全カラシメントセハ教授ト訓練トハ恰モ鳥ノ双翼車ノ兩輪ノ如ク偏廢スヘカラサルモノナレトモ先ツ教授ヲ行フニアラサレハ訓練ハ行ハレサルコト及ヒ教授ハ常ニ訓練ニ前驅スヘカラサルノミナラス常ニ之ト並馳セサルヘカラサルコト明カニシテ道義的觀念ヲ養成スヘキナリコレ訓育的教授ノ意ナリトス

第三問 徳川時代ノ女子教育ノ狀況ヲ述ヘヨ

答 徳川時代ニ於ケル女子教育ノ狀況ハ特筆大書スヘキ程ノコトナシ然レトモ家康ノ天下ヲ統一シテヨリ武士ニ學事ヲ修メシム故ニ漢學ノ勃興ヲ來シ碩儒輩出セリ而シテ徳川光國卿ノ大日本史ヲ著ハシ給ヒシコトアリ一般ニ學事ハ隆盛トナリ泰平ノ世ノ常トシテ文弱ニ流レケリ從テ女子ニモ教育ヲ爲スコト、ナリ智ナ寺小屋ニ入りテ學問ヲ修メシメタリ然リト雖モ當時ノ教育ハ現時ノ教育ト其意ヲ異ニシ男子ハ專ラ武ヲ練リ漢學ヲ修ムルノ必要アレト女子ハ深ク男子ト全シク教育スルニ及ハストナシ只管假字教授位ニ止メ置キタリキ訓練ニ至リテハ女子ハ專ラ柔順ヲ旨トシ家事ヲ治ムルヲ以テ十分ナリトナセリ

第四問 幼稚園ノ由來ヲ問フ

答 幼稚園ヲ始メテ設立シタルハフレエベル氏ニシテ獨逸ノ人ナリルツツー及ヒベスタロッチーノ觀念ト異ナルコトナカリシト雖モ氏ハ之ニ對シテ一層注熱ノ情操ヲ起セリ氏カ主義教育ハ人ノ諸能力ノ均一ニ開發セシムヘキモノニシテ教育ノ理法ハ天地自然ノ幽邃ヲ研究スルニアリ而シテ諸能力發達ノ如何智識ノ本源ハ萬物ヲ觀察スルニアリトシ熱心ニ開發教育ノ理論ヲ説キテ曰ク人若シ之ヲ己レノ内心ニ養ハス己レノ感情思想ノ外ニ爲メ自己ノ心ト情トヲ棄テナハ徒ラニ外界ノ玩弄物タルノミニシテ決シテ其天性ヲ完フシ其獨立ヲ爲スコトヲ得ス教育ハ主トシテ人ノ自由ニ任セ其自然ノ發達ニ從ヒ各自適當ノ業務ヲトルニ至ラシムヘシト氏ハ又兒童ノ動作ヲ見テ思ヘラク兒童ハ活動ヲ好ミ五官ノ感觸ニ尖ク常ニ心ヲ萬般ノ觀察ニ用キ好

ンテ物事ヲ發明セントスルモノナレハ此性ヲ移シテ以テ教育ニ應用スヘキナリト嘗テイヘルコトアリ余ハ小兒ノ活動性及觀察心ヨリシテ種々ノ遊戯トナルモノヲ變シテ業務トナスコトヲ得コレ教育ノ真義ヲ得タルモノナリサレハ氏ハ往々生徒ヲ野外ニ率キ自然ノ外界萬物ノ現象ニ就テ大ニ實物的開發教授ヲ實行セリ又氏ハ女子ハ教育ニ適當セルコトヲ主張シ其慈愛ニ富ミ同情ニ深ク殊ニ其音容ノヨク兒童ヲナツタルカ如キハ到底男子ノ及ハサルトコロナリトシ國家ノ運命ハ女子ニアリトシテ大ニ其教育ヲ獎勵セリ

氏カ教育意見ノ要旨第一、教育ハ自然ノ發達ヲ助ケ其達スヘキトコロニ至ラシムルニアリ兒童ノ發達ハ其出生スルト共ニ始マルモノナレハ教育モ正ニ此時ヨリ始ムヘシト第二、凡ソ始メニ受ケタル感化ハ後年ノ發達ニ大ナル影響ヲ與フルモノナレハ幼稚ノ教育ハ極メテ丁寧ニセサルヘカラスト第三、教育ハヨク心身ノ活動トヲ連絡セサルヘカラスコレ兒童精神及ヒ身体ノ發達ハ個々分離シテ進ムモノニアラスシテ二者密ニ相伴フモノナレハナリ第四、教育ハ、シメ專ラ身体ノ發達ヲハカリ次ニ五官ノ動作ヲ練習シテ精神發達ニ及ホスヘシ第五、五官ヲ練習スル良法ハ自ラ兒童ノ稟性ヲ察スルニヨリテ知ルヲ得ヘシト第六、人ハ合理的ノモノナレハ兒童ノ稟性ハ獨リ肉體上ノ欠乏ヲ示スノミナラス又ヨク精神上ノ欠乏ヲ表出スルモノナリ

此二者ヲ補充スルコトヲ勉ムヘシト第七、身體ノ發達ハ第一ニ運動ニヨルモノナレハ主トシテコレニ注目留意スヘシト

右ハフレネヘル氏カ幼稚園設立ノ根本主義ニシテ此幼稚園設立以來浴ク東西兩洋諸國ニ廣マリテ今日ノ如ク都會ニハ大底一ヶ所以上位設置ヲ見サル所ナキニ至レリ
之レ幼稚園ノ由來之レナリ

○筆算科

各題答式及理由ヲ記スヘシ

第一問 四十五才ノ人アリ十八才十二才五才ノ三子ヲ有ス何年後ニ三子ノ歳ノ和カ父ト等シクナルカ
答 五年後

$$45 - (18 + 12 + 5) = 1010 \div (3 - 1) = 5$$

解 四十五才カラ十八才ト十二才ト五才ノ和ヲ引ケル現在ノ三子ノ年ノ和ト父ノ年ノ差カ分ル即チ父ノ年カ三子ノ年ノ和ヨリ十才多ク然ルニ一年ニ父ハ一人タカラ一ツ子供ハ三人タカラ三ツ年ヲトル依テ $3 - 1 = 2$ 、一年ニ子供カ二ツ宛年ヲ多クトルカラ先ノ十才ヲ二テ割ルト五年ノ後ニ三子ノ年ノ和カ父ト等シクナルコトカラカナル

第二問 七百五十貫ノ鹽水アリ百貫ニ付四貫ノ鹽ヲ含ト合五百貫ニ付二十七貫ノ鹽ヲ含ト鹽水トナサンニ
ハ水幾何ヲ除クヘキカ
答 六百二十九貫目弱

$$27 : 4 = 750 : x \quad x = 111.11$$

$$750 - 111.11 = 638.88$$

解 百貫目ニ付四貫目ノ鹽水七百五十貫目アリ若シ百貫目ニ付キ二十七貫目ツ、ノ鹽ヲ含ム水トナサハ何貫目トナルカト交換フルコトヲ得而シテ鹽ヲ多ク含ムハ其總量ハ減スルヲ以テ $27 : 4 = 750 : x$ ノ比例ヲナスヲ知ル依テ此 x ノ價ヲ前ノ七百五十貫目ヨリ減スレハ六百二十九貫目弱ノ水カ減シテ百貫目ニ付キ二十七貫目ツ、ノ鹽ヲ含ム鹽水トナルコトカ知ル、ナリ

第三問 容積一立方尺ノ空氣ノ目方ハ九分六分ナリトセン五メートル立方ノ空氣目方何キログラムナルカ
答 百十五担弱

$$10^3 : 33^3 = 96 : x \quad x = 8449.952$$

$$3449.952 \times 5^3 = 431244$$

$$15 : 431244 = 4 : x \quad x = 114998.4$$

解 一メートル立方及一尺立方ヲ一立方ノ單位トシ $10^3 : 33^3 = 96 : x$ ノ式ニヨリテ一メートル立方ノ空氣ノ目方ヲ知ルコトヲ得而シテ五メートル立方ハ $5^3 = 125$ 立方メートルナルヲ以テ $3449.952 \times 5^3 = 3449.952 \times 125 = 431244$ 分ナルヲ知ル然ルニ十五分ハ四グラムニ相當スルヲ以テ $15 : 431244 = 4 : x$ ノ式ニヨリテ五メートル立方ノ空氣ノ目方ハ百十五担弱ナルヲ知ル

第四問 金三百圓ノ外二割五分ト内二割五分トノ差ハ何程ナルカ

答 十五圓

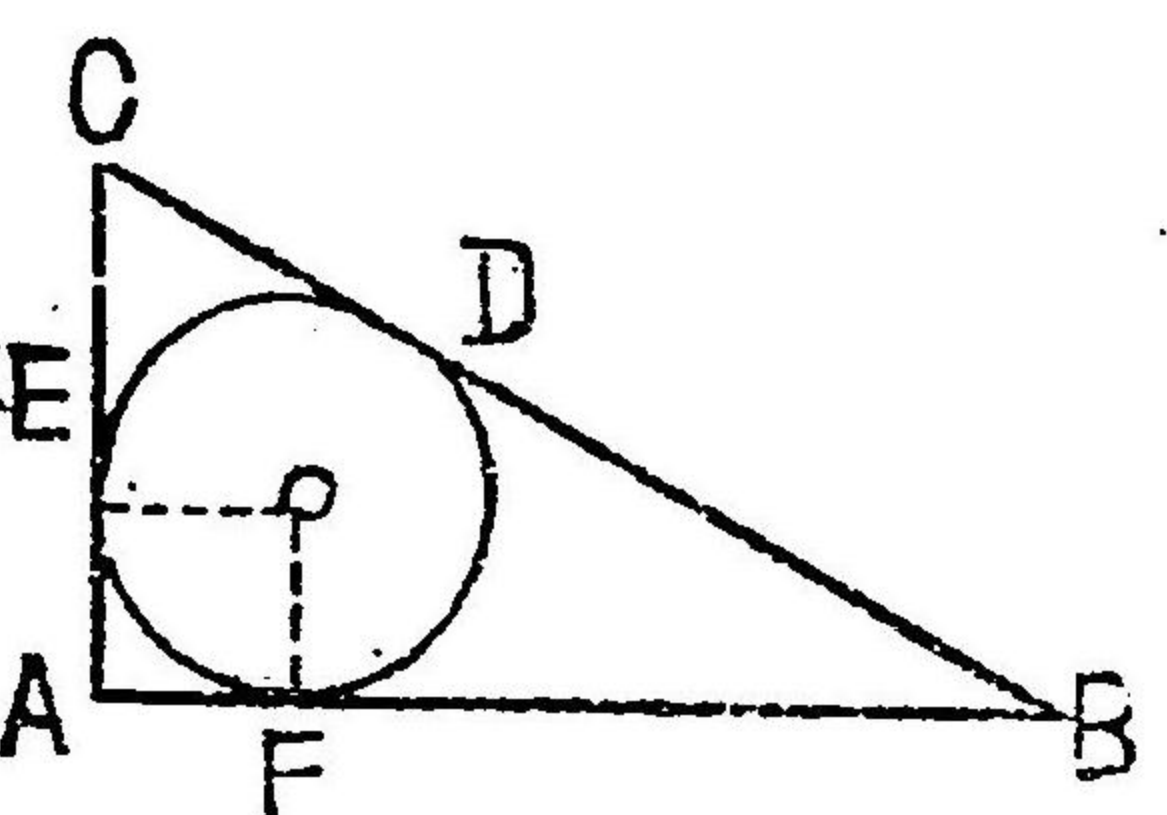
$$300 \times .25 - 300 \times \frac{.25}{1.25} = 15$$

解 300 × .25 の内割の場合ニシテ三百圓ニ對スルニ割五分ハ何程ナルカラ求メラレバ、此時ハ三百圓ヲ元高ト看做ス 300 × $\frac{.25}{1.25}$ ハ外割の場合ニシテ 125圓ノ中ニ25圓益アリトセハ1圓ノ中ニハ $\frac{.25}{1.25}$ ノ益カアル譯ナリ依テ $\frac{.25}{1.25} = 300$ ヲ乘スレバ三百圓ノ外ニ割五分ノ何程ナルカハ求メラレ此時ハ300圓ヲ元高ト歩合高ノ合計ト看做スノゾアル依テ双方ノ歩合高ヲ差引スレバ差十五圓ナルコトヲ知ルナリ

第五問 直角邊カ夫ハ二角ニ二分、五十七分ナル直角三角形ニ内容キル圓ノ直徑ヲ画位迄求メヨ
答 内接圓ノ直徑七分五厘弱

$$(32+57) - \sqrt{32^2+57^2} = 7.46$$

解 直角三角形ニ内接セル圓ノ直徑ハ幾何法ニヨリテ容易ニ斜邊ノ長サト他ノ二邊ノ長サノ和ノ差ニ等シキコトヲ證明サル



證明 内切圓ノ中心ヲO.切點ヲDEFトスレバ

$$OE=OD, BF=BD, AE=AF, DE=DF$$

$$\text{故ニ } OF+AE+AF+BF=OE+OF.$$

$$\text{故ハ } CA+AB=BC+\text{内切圓ノ徑}$$

$$CA=32, AB=57 \text{分 } BC=\sqrt{32^2+57^2} \text{ナリ}$$

依テ上ノ式ニヨリテ内切圓ノ徑ヲ求メラル

○化 學 科

第一問 マグネシウムヲ燃燒スルトキ

メタンノ燃燒スルトキ

鹽化水素トアンモニアガスト化合物スルトキ

エチールアルコールガ醋酸トナルトキ

右ノ各々ノ變化式ヲ求ム

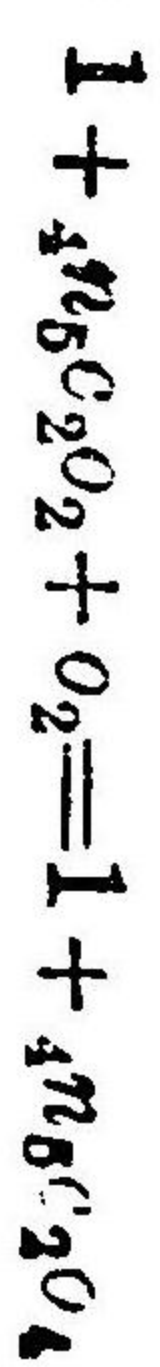
答 マグネシウムヲ燃燒スルトキハ光輝アル光ヲ放テ酸化マグネシウムトナル $mg - mgO_2$

メタンヲ燃燒スルトキハ $CH_4 + 2O_2$ ナル

鹽化水素トアンモニアガスト化合物スルトキハ鹽素アンモニウムトナル



エチールアルコールガ醋酸トナルニハ



第二問 綿火薬、ニトログリスリン、ピクリン酸ニ就テ記セ

答 綿火薬ハ爆發藥ニシテ之ヲ燃燒スルモ徐ロニ燃燒シテ敢テ烈シキ現象ヲ起サレドモ之ニ強キ衝撃ヲ與フルトキハ忽然爆發ヲナス抑モ綿火薬ハニトログリスリンヲ綿ニ吸收セシメテ便ニシタルモノナレバ酸素過量ニシテ燃燒ニ消費セラル、外他ニ余リアリテ之ノモノガ爆發ヲナスナリ
ニトログリスリン、ハグリスリンニ硝酸ヲ加ヒタルモノニシテ一ニ硝酸グリスリント云フ火薬ニ缺ク可ラザル重要ナルモノナリ之ヲ綿ニ化用セシメテ前ノ綿火薬ヲ製スルハニトログリスリンハ液体ニシテ爆發性ヲ有シ使用ニ不便ノ爲メナリ
ピクリン酸モ亦火薬ノ一ニシテ酸素ノ多量ヲ含ミ甚ダ強キ爆發藥ナリ現今使用セラレツ、アル下瀨火薬等モ此モノヲ含ムト云フ

第三問 エチレンノ製法性質

答 石炭ヲ爐中ニ熱スルトキハ種々有要ナル物質ヲ得ベシコールドアルモ亦其一ナリコールドアルハ黒色ノ半流動体ニシテ又有用ナル物質ヲ得ベシエチレンハコールドアルヲ熱シテ得タルモノナリエチレンハ一ノエチレン系ヲナシ炭、窒、水ノ諸元素皆一定ノ比例ヲ以テ化合シタルモノニシテ又諸種ノ元素ト其一ヲ置キ替フルコトヲ得

第四問 糖類ノ分類ハ如何

答 糖類ハ蔗糖麥芽糖果糖乳糖蜂蜜ニ分ツ

$C_6H_{12}O_6$ 蔗糖 普通ノ砂糖ナリ

$C_6H_{12}O_6$ 乳糖 乳中ニアル糖類ナリ堅クシテ結晶ス

$C_6H_{12}O_6$ 果糖 飴ハ殆ンド之ニテ甘シ

$C_6H_{12}O_6$ 果糖 果實中ニアルモノナリ

○博物科 (女)

第一問 皮膚ノ体温、調節作用ヲ説明セヨ

答 身体ノ外面ヲ被フルモノハ皮膚ニシテ之ニ表皮真皮アリ真皮ハ強韌ナル纖維ヨリ成リテ容易ニ破レズ中ニ細キ血管ト汗腺トヲ含ミ毛嚢ト脂腺トハ表皮ヨリ入り込メリ而シテ腎臟ハ腰椎ノ左右ニ各一アリ動靜二管之ニ出入シ尿管ヲ發シテ膀胱ニ達シ膀胱ヨリ尿道ニ通ズ「生理」皮膚ハ水、炭酸等ノ老廢物ヲ排泄シ併セテ体温ノ調和ヲ營メリ漸次膀胱ニ蓄積シテ終ニ体外ニ排泄ス

第二問 軟体動物ノ三綱ヲ比較セヨ

答 軟体動物ノ三綱トハ頭脚類腹足類及雙殼類ナリ而シテ頭脚類ハいか、たこ、ノ類ニシテ全身頭脚ノ三部ニ別レ水中ニアリテ他ノ物ノ來ルトキハ周圍ヲ已レノ体ト全色ニ變ズル鱗アリ又外套ノ製産物アリ又此類ニハ貝殻ヲ有セザル種類アリ八ケノ足アリ

次ニ腹足類ハかたつむり、たにし、さくら、ほらの貝等ナリ甚ダ雙殼類ニ似タリ又あわび、うづらがひ、こやす貝モ此内ナリ

雙殼類ハはまぐり、あさり、しほふき等ナリ鞆帯アリ後収足筋アリ後閉殼筋アリ、外套アリ前閉殼アリ排水管及吸水管アリ

第三問 氣孔ノ作用ヲ述ベヨ

答 人体ノ皮膚ニハ氣孔アリテシラズシラズノ間ニ體內ノ排泄物ヲ汗ニ變ジテ出ス又体中ノ氣ヲ出シ新鮮ナル空氣ヲモ体腔内ニ吸収ス俗ニ毛穴トイフ凡ソ人ハ身体ヲ清潔ニシテ空氣ノ新陳代謝ヲ盛ンナラシメザル可ラズ然ラズシテ若シ不潔ニナシ置クトキハ体垢ノ氣孔上ヲ蔽ヘ体内ノ排泄物ヲモ出ササルコトアリテ衛生上大ニ害アルモノナレバ努メテ不潔ニスルコトヲ避ケザルベカラズ

第四問 砂ノ形成及變化ヲ説明セヨ

答 砂ハ岩石ノ變化シタルモノニシテ其成分主モニ石英長石ノ分裂シタルモノヨリ成リ又種々ノ礦物ノ風化シテ成ルモノアルナリ

○ 歴 史 科 (女)

左ノ各項ニツキ説明セヨ

第一問 武家ノ由來

答 源賴朝幕府ヲ鎌倉ニ開キシヨリ以來武家ノ勢並ゾモノナク明治元年ニ至ル迄天下ノ權ハ武家ニ落チ

朝廷ハタゞ武家ノナスコトヲ傍觀スルノミナリキ即チ其源ヲ尋ヌレバ鎌倉幕府ハ其仕組甚ダ簡易ナルモノニシテ官廳ハ政所侍所問注所ノ三ニシテ政所ハ政務ヲ取り扱フ所、侍所ハ諸將士ヲ管理スル所、問注所ハ訴訟ヲ聽ク所ナリ、大江廣元ハ政所別當ニ三善康信ハ問注所執事ニ和田義盛ハ侍所別當ニ補セラル廣元康信ハ共ニ朝臣ニシテ政法ニ明カナルモノナリ義盛ハ鎌倉ノ功臣ナリ絶エテ久シキ地方ノ政モ行ハレ萬民始メテ肩ヲ休メキコレ賴朝ノ幕府ヲ鎌倉ニ開キシ始メニシテ即チ武家ノ勢ヲ得タル始メナリ是レヨリ引續キテ平氏足利氏織田氏豊臣氏徳川氏等皆ナ勢ヲ得ルニ至レリ

第二問 元祿時代ノ風俗

答 元祿時代ハ常憲院綱吉公ノ驕奢ヲ極メシ時代ニシテ塗物ニハ蒔繪畫等ノ最モ行ハレシ時代ナリ有名ナル狩野探幽等ノ名畫人出デタリ而シテ當時ハ目今ト其風俗ヲ異ニシタリ即チ帶ノ様ヨリ髮結ノ様ニ至ルマデ赴キヲ異ニシタルガ今又元祿時代ノ様ヲマテニ至レリ

第三問 阿育王(阿輸迦王)

第四問 宋ノ儒學

答 明ノ太祖朱元璋既ニ帝位ニツキ金陵ヲ首府ト定メヌ即チ内治ノ整理ニ着手シ官制ヲ定メ郡縣ニ詔シテ皆學校ヲ建テシメ又二十余子ヲ封シテ帝室ノ藩屏トナセリ皇后馬氏ハ賢德アリ太祖ノ兵ヲ起シ、時ヨリ常ニ軍中ニ從ヒテ艱苦ヲ共ニシ將士ヲ撫恤スルコト甚ダ篤ク皇后トナルニ及ビ又内助ノ功勳カラザリキ此時代ニハ儒學最モ盛ナリシトゾ

第五問 スバルタノ女子教育

答 スバルタハ女子教育最モ盛ニシテ國ノ強國トナリシモ其母タルモノ、子女ノ教育ヨロシキニヨル戰時ノ際夫ノ軍ニ敗レタル折ナド家ニ歸リシトテ戸ヲ鎖シテ寄セシメズト當テ聞キシコトアリ又スバルタ女子ハ相當ニ成長スレバ決シテ人ノ手ヲ借ラシメズ幼稚ニ育ツト云フコトヲ避ケ一切ノ手藝又中等以下ナル婦人ニテモ用ヲ足スベキニ十分ナル文字ヲ覺エシメタリト云フ

第六問 ローラン夫人

答 佛國革命ノ花ト稱セラル、ローラン夫人ノ處刑セラレシハ恐怖時代ナリ夫八名ヲマリーシアント云ヒ一千七百五十四年生レタリ二十五才ニシテローランニ嫁ス又一千七百八十九年革命ノ發端スルヤローランハ温和ナル共和主義ヲ採リ遂ニシロンド黨ノ首領ニ推選セラル、ニ至リヌ此間ローラン夫人ハ其熱誠ト才氣トヲ以テシロンド黨ノ首領トナリテコレヲ統督鼓舞セリ已ニシテ革命ノ潮勢ハ愈々急ニシテ停止スル所ヲ知ラズ夫人モ亦他ノシロンド黨員ト共ニ幽囚ノ身トナリ一千七百九十二年斷頭台ノ露ト消エタリ

○修身科 (女)

第一問 社會ニ於ケル女子ノ位置

答 社會ニ於ケル女子ノ位置ハ男子ヨリモ必ズ下ニ立タザルベカラズ而シテ社會ノ組織ヲナスヤ男女協力シテ事業ヲ經營セザルベカラズ男子ハ男子タルノ性能ヲ有シテソレニ適當シタル業務ヲトリ女子ハ女子トシテ夫レニ適シタル仕事ヲ爲ス故ニ男子ニ對シテ女子ノ仕事ヲ爲サシメントスルモ能ハズ女子ニ對シテ男子ノ職業ヲトラシムルモ亦全様難シトスル所ナリサレバ男女性ヲ異ニスレバトテ決シテ其地位ノ下レルモノニアラズ男女ハ權ヲ同クスレバトテ世ニハ男女同權ヲ稱ヘ意氣揚々トシテ世ニ處スルモノアレド其行ハ決シテ尊ブベキモノニアラズ即チ女子ハ女子ラシクシテ男子ニ願ハザル可ラズ女子ノ夫ニ對スル本務アリ一家ニ對スル本務アリ又社會ニ對スル本務ハ即チ柔順ニシテ飽クマデモ女子タルノ本務ヲ忘レズ男子ノ下ニ立テテ一致協力以テ子女ノ教育ニ至ルマデ最モ重大ナル任務ヲ有ス國家ノ盛衰ハ女子ノ本務ヲ盡スト盡サルトニ於テ大ナル關係アレバユメ等閑ニ付スベキニアラズ

第二問 女子ノ服裝

答 服裝ニツキ身分、時節、場合、年齢、ニ應ジ注意セザルベカラザル要項ヲ左ニ舉ゲン
 服裝ハ質素ヲ旨トシ身分相應ニセザルベカラズ四季折々ニ變ズルハ言フ迄モナク場合ヲ考ヘテ猥リニ華奢ニ流レズ又禮文ヲフコトアレバ身体ヲ清潔ナラシムルト共ニ服裝ニモ注意ヲ要ス而シテ服裝ニハ男女ノ別ニ從ヒ各異ニセザルベカラザル如ク年齢ニヨリテモ亦相應ノモノヲ着セザルベカラズ年老イタル者ニミダリニ華奢ノモノヲ用キシメ年若キ者ニジミナルモノヲ用キシムルハフサハシカラズ年齢相應ニスベキナリ

女子ハ社會ニ處シ家族親族及知己ニ對シテ一切ノ禮儀ヲ守トメザル可ラザルガ故ニ其言動ニ應ジ相

當ナル服裝ヲ爲サル可ラズ人ノ死去シタル場合ノ禮服ヲ着スルニハ可成質素ノ哀悼ノ意ヲ表セザル可ラズ又他人ノ祝事ニ招カレタル場合ナド人ノ喜ビ事ナレバ身分相應ニ着飾リテ宜シカルベシ

第三問 戰時ニ於ケル女子ノ任務

答 凡ソ誰ニテモ其ノ國家ニ忠實ニ君恩ノ辱キヲ思ハザルベカラズ女子ハ男子ト異ナリ戰場ニ臨ムコト能ハザレドモサリトテ國家ニ忠實ヲ盡クスコト能ハザルニアラズ即チ家ヲ守リ夫ノ戰場ニ赴キシ後ハ専ラ家ヲ守リ夫ヲシテ内顧ノ憂ナカラシメンコトヲ要ス又母トナリテハ子ヲシテ命ヲ惜マズ君ニ忠ニ國家ノ爲メニ盡サシメンコトヲ心得ザル可ラズ今ノ戰爭ハ古ノ戰爭ト異リ全國皆兵ノ主義ニシテ舉國一致君國ノ爲メニ盡スベキ任務アレバ母妻タルモノハ斯ノ如キコトマデモ心得居ルコト女子ノ任務ナルコトヲ知ラザル可ラズ

第四問 良心ノ發達

答 良心ハ吾人ニ命ズルニ善ヲ爲シ惡ヲ爲スベカラザルコトヲ以テス理想人心ニ近キモノハ善ニシテ之ニ反スルモノハ惡ナリ吾人ガ行爲ノ理想トスベキコトハ自己ノ人格ヲ發展シ同時ニ大ニ社會全体ノ發展ヲ計ルニアリ理想ニ照シテ行爲ノ善惡ヲ判定スルモノハ良心ニ外ナラズ故ニ人ハ良心ノ命令ヲ守リ惡心ニ違ザカルベキナリ

何ガ故ニ吾人ハ自己ノ行爲ニツキ責任ヲ負ハザルベカラザルカト云フニ吾人ノ意タルヤ自由ナレバナリ換言スレバ意志作用ハ甲ノ方向ニモ又乙ノ方向ニモ吾人ノ行爲ヲ向タルコトヲ得レバナリ倫理

學ノ極度ハ如何トイフニ良心ノ命令ニ從ヒ理想ヲ實現スベシト云フニアリ而シテ良心ハ其行爲有爲的ノモノタラザルベカラズ意志ノ作用ヲ具ヘタルモノタラザルベカラズ即チ外部ニ現ハレタル活動ニアラズシテ其ノ活動ヲ生セシムル意志作用ニ存スルコト明カナリ則チ原因ニツキ判定スルコトヲ要ス意志作用原因ニツキテハ動機アリ

而シテ良心ノ本質及精神作用ハ智情意ノ三種ナリ良心ガ作用ヲナス場合ニ美的心ハ美的現象科學心ハ科學的倫理學ニ於テハ其全体ニ涉ラズ

良心ノ迷没、疑惑、熱情、習慣、ノ爲メナリ而シテ吾人ニ良心アルハ吾人ガ性來良心トナルベキ性能ヲ具イタルガ故ナリ而シテ如何ニシテ人類ガ性得ノ資性トシテ良心ナルモノヲ具フルニ至リシカヲ尋スルヲ進化論トイフ

○裁縫科

筆記

(一) 二尺幅ノ布ヲ以テ大人物ズボン下ノ裁方ヲ圖解シ之ニ各部ノ名稱及ビ裁切寸法ヲ記入シ且ツ用布積リ方ノ算式ヲモ示セ

實地

(一) 與ヘラレタル用布ヲ以テ大人女袴ヲ裁縫スベシ
但シ寸法ハ實物ノ二分ノ一

○音樂科 (實地)

- 一、長音階
 - 二、須磨明石 小學唱歌 三ノ下 十枚
 - 三、母の恵 全 四 八枚
 - 四、雨の露 小學唱歌集 一 二十三枚
 - 五、めぐれる車 全 上 三 十一枚
- 樂器
- 一、ハ調長音階 兩手ニオクタブ
 - 二、四季の景色 小學唱歌 三 六枚
 - 三、天長節 祝祭日唱歌
 - 四、墳墓 小學唱歌集 三 十一枚
 - 五、二重香千里の道 全 上 廿六枚

○圖畫科 (女)

自在畫

(一) 畫題女子 (隨意)

右鉛筆毛筆読シニテモ可ナリ
臨寫ノ后ヲ任意ニ彩色ヲ施セ

用器書

(一) 五角柱 (物体ノ大サハ任意)

ソノ軸水斗投影面ニ四十五度直立投影面ニ並行セルトキノ投影圖ヲ畫ケ

◎小學校本科准教員之部

○國語科

甲、講讀

一、夕日に色せる橋をわたし、みるらに、聲せぬ涙をおこす、くもてふものこそくすしくありけれ、雲よ雲よ、なきかと思へば大空おほひて、あやししくしきは雲よ、雲よ、

答 夕日ニ色取ル橋則ハチ虹ヲ現ハシ大空ニハ聲セヌ涙則ハチ雲ノ形ガ涙ニ似テオルカラシテ雲ヲ起ス
ト云フ意ナリ雲ト云フモノハ不思議ノモノデアリマス雲よ雲よト嘆稱シ無キカト思ヒバ大空ヲ覆フ
ガ怪シク奇シキハ雲デアル雲デアルト再ビ嘆賞スルナリ

二、巖は山嶽より重く死は鴻毛より輕し

答 巖ハ山嶽ヨリモ重ク心得死ハ鴻鳥ノ羽毛ヨリ輕ク心得死スベキニ死シ盡クスベキニ盡クスヲ戒シメ

シナリ

三、東脩の禮

答 入門ノ時ニ納ムル禮

四、兵力の消長

答 兵力ノ優劣

五、二人限りの聲

答 出來得ル限りノ力ニテ出ス聲

六、御望もだし難し

答 御望ヲ空ニシガタイ

七、追 賞

答 死シタル人ニ追フテ再ビ賞ヲ與フルコト

八、古典に通ず

答 古シノ書籍ヲ能ク讀ンデ知ツテオル

九、法律顧問

答 法律上ノ疑點ヲ問ハレテ答フル役ヲイフ

十、今朝よりかけまはり候へども未だよき敵にあはず御人體を見かけ幸とこそ存じ候へ不東ながら御相

手になり候はむ

答 今朝ヨリ彼處此處ト駈ケ廻ハリタレドモ未ダ好マシキ敵ニ遇ハズ御人柄ヲ見掛ケ好マシキ敵ト見受

ケ幸榮ニ思ヘマス不東ナルモノニテ即ハチ取ルニ足ラザルモノナレド御相手ニナリマシヨ

乙 左の讀方を問ふ

十一、軋 磔 (アツレキ)

十二、管 (カンザシ)

十三、不 東 (フツツカ)

十四、蚯 蚓 (ミ、ヅ)

丙 左ノ片假名ニ相當スル漢字ヲ記セ

十五、デンセンビヨノマンエン (傳染病の蔓延)

十六、サンゴの子ガケ (珊瑚の根懸)

十七、シヤシをキハメクワンラクをホシイママニス (奢侈を極め歡樂を恣にす)

丁 左の問に對する答を求む

十八、齋齋兩字の別

答 齋ハヒトシト訓シ齋ハトキト訓ズ佛家ノ御齋(オトキ)ノ如シ

十九、エ、イの發音の別

答 エハ舌ヲ下齒内側ニ付シ口ヲ稍々開キテ發音シ

イハ齒ヲシメ唇ヲ稍々開キテ發音ス

戊 左の假名に誤りあらば正せ

魚を南う翁 鱒と鰻と鰯と鱈とお捕は雜にに入れて買へ給ひと呼びあるく

答 うををあきなよおきないわしとさざいとねびとすすきとををけにまじりいれてかへたまへとよびあ

○圖畫科

自在畫

- (一) 鉛筆畫 錄ト笠 (臨寫)
- (二) 毛筆畫 提灯 (全上)

用器畫法

- (一) 一邊ヲ知テ正六角ヲ畫ク法
- (二) 尺度規ヲ用ヒズシテ與ヘラレル直線ヲ數等分スル法
- (三) 正楕圓ヲ畫ク法
- (四) 圓内ニ巴ノ紋形ヲ畫ケ

○理科

第一問 融解熱トハ如何

答 固形体ノ全ク融解スルニ至ルマデ要スル温熱ヲ融解熱ト云フ此ノ融解熱ハ常ニ潜熱トナリテ顯ハレ

ズ故ニ又潜熱ト云フ

第二問 水ニナトリウムヲ投スルトキ及食鹽ニ硫酸ヲ注グトキ各々如何ナルモノヲ生スルヤ

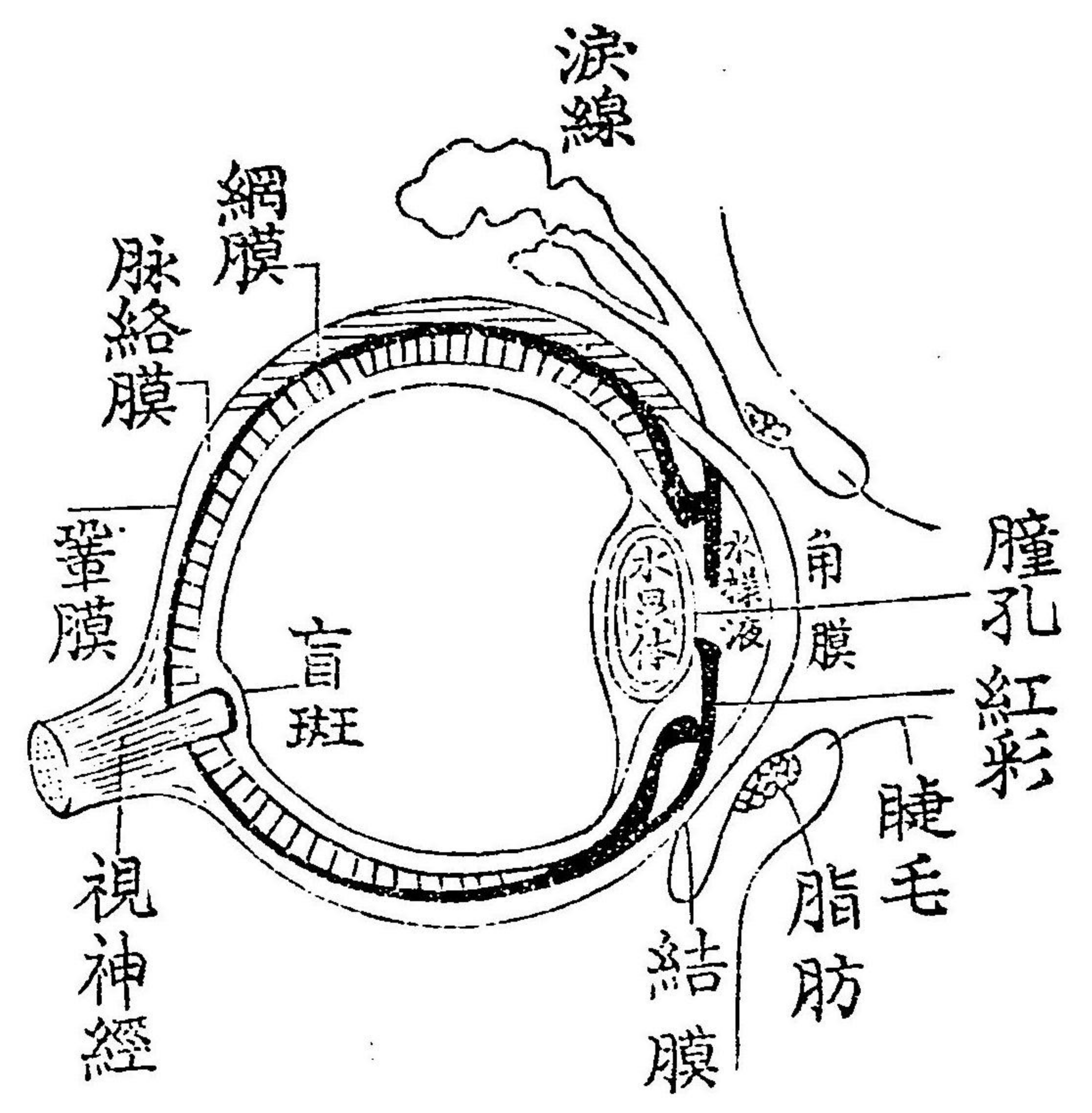
答 ナトリウムハ水ヲ分解シテ酸素ト化合シテ酸化ナトリウムトナリ水素ヲ遊離セシム水素ハ輕キ瓦斯体ナルヲ以テ上昇シ酸化ナトリウムハ水ニ溶解シテ水酸化ナトリウムトナリ赤色試験紙ヲ青色ニ變ズ食鹽ニ硫酸ヲ注グトキハ黄色ナル瓦斯体クロールヲ生ズ元來食鹽ハ鹽化ソヂウムナルヲ以テソヂウムハ硫酸ト化合シテ硫酸ソヂウムヲ構成シテ殘留シ鹽素即チクロールヲ遊離セシム

第三問 電氣ノ存在ヲ檢スル方法ヲ問フ

答 驗電氣ヲ以テ之ヲ檢ス又電流ノ通ズル針金ヲ磁石ノ上ニ持チ來ルトキハ電氣ガ南ヨリ北ニ流ルレバ磁石ノ指北極ハ東方ニ向ヒ又電流ガ北ヨリ南ニ通ズレバ指北極ハ西方ニ向フ二個ノ電流ヲ以テセバ振レ方又大ナリ又電氣ノ導體ト不導體トヲ以テ製セル者ヲ以テ電氣ノ起レル者ニ觸レシムレバ導體ノ部分ニノミ傳ハリテ逃ゲザルナリ

又兩極端ヲ接觸セシムレバ電光ヲ認ムベク又一極ヲ舌上ニ一極ヲ舌下ニ觸レシムレバ酸味ヲ感ズ

第四問 眼ノ断面圖ヲ畫キテ各部ニ名稱ヲ附セヨ



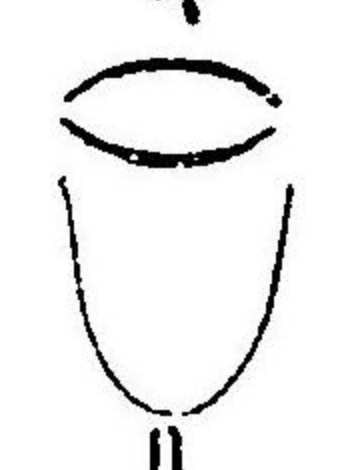
第五問 ハツタノ口器ヲ説明セヨ

答 ハツタニハ大顎ト小顎アリ、大顎ニ齒アリ上一對ニシテ小顎ハ左右各一、又口中ヨリハ黃黑色ヲ帶ヘル粘液ヲ分泌シ草葉及小虫ヲ食フ

第六問 花托ノ異常形ヲ舉ゲヨ

答 花托ハ主ニ突狀ヲナセドモ薔薇等ハ凹狀ヲナス又花托ノ一部肥大シテ果實トナレルモノアリ梨等ハ其ノ一例ナリ

又無花果ノ俗ニ云フ果ノ如キ蓮ノ實ヲ包メル太キ是レ花托ノ異形ヲ呈スル者ニ外ナラズ



○ 歴 史 科

左ノ各項ニツキ説明セヨ

第一問 藤原不比等

答 藤原不比等ハ父鎌足ノ大奸ヲ除キ偉勳ヲ樹テシカバ皇極皇德天皇以下ニ歴仕シテ政ヲ執リ家運目出度藤原氏ニ非サレバ人ニ非ズト云ヘリ不比等高位ニ居リ而シテ不比等四子アリ別レテ南家式家京家北家トナリ南家ハ仲成ニ至リテ衰ヘ京家ハ灌成ニ至リテ衰ヒ式家ハ始メヨリサマデ揮ハザリシガ北家ニ冬嗣出デ、大政ヲ執リ永ク政ヲ執レリ

第二問 鎌倉時代ノ佛教派

答 天台真言眞宗等ハ以前ヨリ有リシモ禪宗日蓮宗曹洞宗浄土宗法華宗等ノ新宗出デタリ禪宗ハ自力難行苦行ヲ養フニ宜シク武士的志操ニ適シタリ鎌倉ノ五山即チ建長建仁仁壽壽福ハ此ノ時ノ建設ニ係ル以テ鎌倉時代ニ於ケル佛教派ノ盛ナルコトヲ想像スルニ余リアリ

第三問 蘭學ノ發達

答 徳川家康ハ宗教ノ點ヨリ一旦外交ヲ禁セシガ和蘭トハ親シク貿易セリ素ヨリ家康ハ進歩ノ方法ヲ採リ文學ヲ隆盛ナラシメント欲シ當時青木昆陽ヲ蘭人ニ就カセテ蘭學ヲ學バシメ旁ラ甘藷糖ノ栽培法

ヲモ學ビタリ又砲術銃術等モ亦皆蘭人ヨリ學ビタリ又前野良澤杉田玄白大槻玄澤等モ蘭人蘭書ニ就
キテ生理學解剖學等ヲ學ビタリ蘭學ノ發達ハ實ニ當時最モ盛ナリト云フベシ

第四問 五條ノ御誓文

答 徳川十五代將軍徳川慶喜政權ヲ返上シ王政復古ニ歸シテ今上天皇陛下大政ヲ自ラ爲サ、ルニ當リ百
官有司ヲ紫震殿ニ集メ親シク臨ミテ五ヶ條ノ誓ヒノ文ヲ宣シ給ヘリ

其一ニ曰ク 廣ク會議ヲ起シ萬機公論ニ決スベシ

第二ニ曰ク 上下心ヲ一ニシテ盛ンニ經倫ヲ行フベシ

第三ニ曰ク 文武一途庶民ニ至ルマデ各其ノ志ヲ遂ゲ人心ヲシテ倦マザラシメンコトヲ要ス

第四ニ曰ク 舊來ノ陋習ヲ壞リ天地ノ公道ニ基クベシ

第五ニ曰ク 智識ヲ世界ニ求メ皇威ヲ振起スヘシ

ト親シク誓ヒラレテ苟モ一藝一能アル者ハ皆官ニ任セララル、コト、ナレリ

○地 理 科

第一問 本縣ニ於ケル石油ノ主産地ヲ記セ

答 本縣ニ於ケル石油ノ主産地ヲ舉クレバ左ノ如シ

古志郡ニテ比禮浦瀬田家高保等

刈羽郡ニテ長峯藤田等

三島郡ニテハ尼瀬

中蒲原郡ニテ新津

北魚沼郡ニテ地獄谷

第二問 本邦貿易品ノ主要ナルモノヲ記セ

答 本邦貿易品ノ主要ナルモノヲ舉グレバ左ノ如シ

輸 出 品

生糸、茶陶器磁器漆器木製品昆布寒天等ノ海草類

輸 入 品

總テノ機械類、毛織物、南京米、砂糖、綿、紙類

第三問 西伯利亞鐵道ニツキテ大要ヲ記セ

答 鐵道セントピータスボルクヨリ舊都モスコワ經タル鐵道ト西伯利亞全部ヲ貫通セル此ノ西伯利亞
鐵道ハ聯絡シテ浦塩斯德ニ來リテ終ル實ニ世界一ノ長巨離ニテ彌々近來竣功ヲ告ゲタリ然レドモ未
ダ貫通セザルケ所モアリ露人ハコノ鐵道ノ爲メニハ如何程資本ヲ費シタルカハ知ラザレドモ又竣功
ノ今日ハ如何程交通ノ自由ヲ得テ運輸ノ便ナリシヤ數千里ノ間僅ニ浦塩ヨリ帝都マデ十晝夜間位ヲ
以テ達スルヲ得ベシコノ西伯利亞鐵道ニ沿フル間ニオムスク、トムスクドホルスク、クラスノヤリ
スク、等稱スル停車場アリ運搬ノ便ハ遠ク世界ニ及ボシ然レドモ冬期寒氣ノ爲メニ困難ヲ生ズルコ

トハ寒帯地方ノコト、テ勢ヒ免レザルベシ日露干戈ヲ交ユルニ當リ數十萬ノ兵力ヲ支那地ニ集注シテ勝敗ヲ決セントセシ其輸送ハ主ニコノ鐵道ニヨリテ輸送セラレタルモノナリト云フ

第四問 左ノ地名ニツキ説明セヨ
石 卷 赤石山 加治木 大同江 オンダリオ湖

答 石卷ハ陸前國塩釜港ヨリ稍北ニ當リ太平洋ニ臨メル要港ニシテ港灣深クシテ大艦巨舶ヲ碇泊スルニ便ナリ魚類漁スルト云フ

赤石山ハ信濃國ニアル高山ニシテ本邦中高サ三番目ニシテ所謂赤石山脈ノ根本タリ

加治木ハ越中ニ在ル郡邑ナリ

大同江ハ朝鮮ノ稍中央ニアル大河ニシテ黃海ニ注ク實ニ過ル二十七八年役ノ際我カ第一軍カ涉リテ苦戰セシ河ナリ

オンダリオ湖ハ亞米利加國ニ於テヒーロンミシガンスペリオル湖等ニ亞ギテ大湖ナリ汽船ノ交通アリ又漁利アリ

○修身科

第一問 功利主義ノ主張ヲ簡明ニ述ベテ之ヲ略評セヨ

答 功利主義ノ主張スル所ヲ一言ニツクセバ曰ク『最大多數ノ最大幸福ヲ圖ルハ徳ナリ』ト英國學者ミルスマンサー等ノ熾ニ唱ヒタル學說ニシテ彼ノ自利ヲ主トスル倫理說他愛ヲ唯一ノ美德ナリトセル

愛他說ノ中間ニ立チテ調和セント欲セシ者カ

最大多數ノ最大幸福一是レヲ語句ノ上ヨリ見ル時ハ都合ヨキ教訓ナルカ如シ然レトモ若シ我等ニシテ一步進ンデ些ク熟考スレバ

一、最大幸福トハ何ゾヤ

二、幸福ハ何故ニ美德ナリヤ(或ハ善ナリヤ)

ノ二疑問ニ到達セザルヲ得ム功利主義者ハ是ニ對ヒ幸福ハ人生ノ目的ナリト説キ進化論ヨリ解説ノ完成ヲ圖リタリ。蓋シ吾人ガ實際ニ處シテ見テモ人ハ各幸福ヲ求メテ止マズ然レトモ幸福ガ吾人ノ最後ノ目的ナリ果シテ吾人ノ理想タリウル性質ノ者カ

若シ吾人ニシテ幸ヲ求ムルノミノ動物ナラシメバ其ノ幸福ヲ追フテ究極トナスモ不可ナカラシサレド吾人ハ欲スル以外感ズル者ニアラズヤ是ヲ知リ是ヲ批判シ之ヲ裁定セントスルニアラズヤ換言スレバ吾人ハ意ト情ト智トノ三性ヲ有ス而シテ「幸福ヲ求ムル」ト云フノミニテハ吾人ノ意ヲ満足セシムレバ足レリト様ニ解セサル可ラズ然ラズ他ノ意ト情トヲ奈何ニセン意欲ヲ善方ニ導キ之ヲ練リ之ヲ完成セシメントナスハ大ニ可シト雖モソレヲ以テ行爲總テノ吾人ノ目的ノ標準タラシメンニハ未ダ不足ナリ意ヲ練リ意ノ向フ所ヲ研究シ批判スルト共ニ智ト情トノ二點ヲモ加ヘサル限り完全ナル行爲則トハナシ難シ次ニ來レルセルフ、レアリズムハ此ノ欠點ヲ補ヒテ余蓋ナシ

第二問 社會ノ進歩ト個人トノ關係ヲ述ベヨ

答 社會ハ單ニ社會トシテ存在スルモノニアラズ必スヤ個人ヲ基礎トナサ、ルベカラズ然レトモ既ニ社會トナル以上ハ個人ニ生命アリ進歩アルカ如ク社會トシテノ生命アリ進歩アリ目的アリ而シテ社會ノ目的進歩生命ノ基ヲ叩ケバ個人ナルガ故ニ一般個人トシテ進歩セバ其ノ社會モ進歩セサル可ラズ一般個人ノ欲スル所ハ其ノ社會モ亦欲スル所タラサル可ラズ例ヘバ指ト手ハ異ニシテソレノ機能ヲ營メド之ヲ全身トシテ見ルトキハ其ノ全身ガ即チ活動セルモノトナルガ如シ其ノ關係ヤ有機的ナリ

故ニ社會進メバ個人進ミ個人進歩アレバ其ノ社會モ亦進歩ス而シテ彼ノ偉人豪傑ナド、云フ特種ノ個人ニ對シテハ社會ガ個人ニ與フル影響ヨリモ個人ガ社會ニ與フルノ効果ヤ大ナリ又彼ノ社會的變動ノ場合ニ於テハ個人ノ意識セルト無意識ナルトニ關ハラズ大勢力ヲ以テ個人ヲ壓迫ス

第三問 「維能出不_レ由_レ戸何莫_レ由_レ斯道_レ也」ノ意義ヲ説明セヨ

答 何人ト雖モ家ヲ出テント欲セハ門戸ヨリセサルヘカラス之レ自然ナリ人ノ道德ニ從フモ亦人トシテ當然行フヘキ事ヲ行フノミナレハ家ヲ出ツルニ必ス戸ヨリセサルヘカラサル如ク自然道德律ニ服從スヘキ者ニアラヌヤトノ意ナリトス

第四問 「君子之過也、如_レ日月之食焉、過也人皆見_レ之、更也人皆仰_レ之」ノ意義ヲ説明セヨ

答 君子ノ過ハ彼ノ日蝕月蝕ノ如ク明ナルモノナリ故ニ若シ過アレハ萬人之ヲ見ル、過ヲ更ムレバ又人皆之ヲ仰ク彼ノ小人カ自己ノ良心ヲ詐キ人ヲ偽リ戰々競々トシテ其ノ發カレンコトヲ怖ル、カ如

クナラスシテ過モ明カニシテ顯ハレ更ムルモ確乎トシテ公明ナルハ即チ君子ノ行ナリト云フノ意ナリトス

○ 作文 科

普通文 母

答 母タルヤ子ノ胎内ニ在ルヨリ萬端ノ注意ヲ加ヘ其母体ヲ離レテ此世ニ生ル、ヤ實ニ喜悅シテ之ヲ養育ス其勞ヤ大ナリト云フベシ飢渴寒暑其適度ヲ量リ寝子テハ臂ヲ枕トシ起キテハ懷ニシ稍成長スルニ至レバ萬般ノ注意ヲ加ヘテ訓誨ヲ授ケ其學齡ニ至ルヤ小學校ニ入ラシメ學校教育ト相俟テ家庭教育ノ重任ニ當リ一旦病ノ床ニ臥スヤ晝夜寒暑ノ別ナク我身ヲ忘レテ介抱ス其一舉一動ハ亦誠ヨリ吐露スル所ノ愛情ノ賜ナリ而カモ勞苦ニ處シ艱難ニ遇フモ如何ニモシテ其子ノ他日有爲ノ人物タランコトヲ希望シテ已マズ誰レカ母ノ廣大ナル恩惠ヲ感佩セサルモノアランヤ諺ニモ母ノ恩ハ山ヨリ高ク又惠ミハ海ヨリモ深シト宜ナル哉言ヤ

書簡文 洪水見舞之文

時下霖雨之候貴下倍御清榮奉大賀候陳は今朝の新聞紙によりて承れば貴地には昨夜来の大雨之爲め信濃川汎濫いたし何々堤防破壊いたし夫れか爲めに浸水家屋數千有之候赴近頃御赴任之御事故定めし御驚かし御事と御察申候其被害の狀況は詳にせず殊に遠隔の地にある小生之事故御手傳も不出來實に遺憾と存候別紙何品御見舞之印迄に差上候間御受領被下度候先は取急き洪水御見舞申上候早々不一

○教 育 科

第一問 教授ハ實際的ナルベキ所以ヲ説明セヨ

答 教授ハ教育ノ目的ヲ達スルノ手段ニシテ凡テ教授スル事實カ形式ニ流レ空理空論ニ過ギテハ何ノ用ニモ立チ得ベカラズ條身科ノ如キハ實ニ善、惡、ニ感動ヲ起サシメ兒童ヲシテ之ヲ實際ニ踏ミ行ハシメザル可ラズ國語ノ教授ニ於テハ話シ方讀ミ方綴リ方書キ方トモ各其ノ日常使用スルコトヲ教ヘ之ヲ實地ニ應用シ得ラル、基礎ヲ作ルベキナリ又算術ニ於テハ日常家事計算合計等ニ適當ナル問題ヲ課セシメ理科ハ實物標本及實驗ヲ示シテ之ヲ教授セザレバ兒童ニ了解モ速達セズ亦々眞ノ教授ニ非ラザルベシ凡テ兒童ニ關係近キ所ヨリ漸々關係遠キ所ニ及ボヌガ如クニ教授ハ形式的ニアラズシテ實際的ナル所以ハ推シテ知ル可キナリ

第二問 國語科ニ於ケル話シ方教授ノ方法ヲ述ベヨ

答 話シ方教授ノ方法左ノ如シ

- 一、話シ方教授ハ總練習ノ際話シ方ニ適切ナル教材ニ限り其練習ヲナスヘキコト
- 二、日常語ト敬稱語トノ用法ニ注意シテ能ク矯正スルコト
- 三、話方ノ後ニハ必ス兒童ニ批評セシムルコト
- 四、劣等生順次優等生ニ進ムコト
- 五、句切語尾トモニ明瞭ナラシムヘキコト

六、常ニ復演ノ際ニ注意シテ矯正シテ特ニ話方トシテ時間ヲ設クルノ要ナシ

第三問 理科教授ノ一例ヲ示セ

- 一、豫備 新ニ授ケントスル事項ニ關係アル既知ノ事項ヲ問答シ目的ノ開始ヲナシ本日教授セラレヘキ事項ノ大体ヲ自覺セシム
- 二、教授 演釋的ニ實物又ハ標本圖解等ニヨリ發問法ニ基ツキ新知識ヲ授ケ一旦之ヲ終ハル毎ニ復演セシメ以テ新知識ノ類化ヲ了ス
- 三、比較 確實ナル知識タラシムルニハ新舊觀念及ヒ類似又ハ反對ノ觀念ヲ比較セシムルヲ要ス
- 四、統括 統括シテ概念ヲ構成セシメサル可カラズ統括方法ハ無論歸納的タルヘシ
筆記アラバ筆記セシム
- 五、應用 授ケタルモノカ能ク類化シタルヤ否ヤヲ知ルノ要アリ應用ノ必要ナル理由此所ニアルナリ

○筆 算 科

第一問 麥一俵ノ價ハ參圓五拾錢大豆一俵ノ價ハ貳圓拾錢ナリ今百九拾六圓ニテ大豆ノ俵數ヲ麥ノ俵數ノ三倍ナル様ニ兩種ヲ買ハントス各何俵ヲ買ヒ得ヘキカ

答 麥二十俵 大豆六十俵

解 俵數ノ割合麥ヲ1トスレハ大豆ハ3トナル故ニ

$$350 \times 1 = 350$$

$$210 \times 3 = 630$$

$$350 \times 630 = 980$$

$$196,00 + 980 = 20$$

$$20 \times 1 = 20$$

$$20 \times 3 = 60$$

第二問 長サ二尺四寸幅一尺八寸ノ敷物ヲ排列シテ最小ナル正方形ヲ作ラントス敷物何枚ヲ要スルカ
答 十二枚

解 二尺四寸ト一尺八寸トノ最小公倍数ハ七尺二寸ナリ 故ニ左ノ解ヲナス

$$72 \text{寸} \times 72 \text{寸} = 5184 \text{平方寸}$$

$$24 \text{寸} \times 18 \text{寸} = 432 \text{平方寸}$$

$$5184 \text{平方寸} \div 432 \text{平方寸} = 12 \text{枚}$$

第三問 男三人或ハ女五人ニテ二十日間ニ成スヘキ仕事ヲ男二人女四人ニテナストキハ何日ヲ要スルカ
答 三十七日二分の一

解 日數ノ比ハ人數ノ比ニ反對ヲナス故ニ

$$\frac{20}{4} : \frac{37}{5} = 20 : x \quad x = 37 \frac{1}{2}$$

第四問 甲五日乙八日丙九日ノ賃錢相等シ今三人共カシテ全日間ニ七圓八十五錢ヲ得タリ各人ノ取得幾
何

答 甲三圓六拾錢乙貳圓貳拾五錢丙貳圓

解 賃錢ノ割合甲ハ $\frac{1}{5}$ 乙ハ $\frac{1}{8}$ 丙ハ $\frac{1}{9}$ トナル故ニ

$$7,85 + \left(\frac{1}{5} + \frac{1}{8} + \frac{1}{9} \right) = 18 \text{圓}$$

$$18 \times \frac{1}{5} = 3,60$$

$$18 \times \frac{1}{8} = 2,25$$

$$18 \times \frac{1}{9} = 2,00$$

第五問 年利六分ニテ二年四ヶ月間ニ元利合計千五百四圓八拾錢トナルヘキ元金ヲ求ム
答 元金千參百貳拾圓

解

$$,06 \times 2 \frac{4}{12} = ,14 \text{分}$$

$$1504,80 \div (1 + ,14) = 1,320 \text{圓}$$

◎尋常小學校本科正教員之部

○理科

第一問 液体ノ比重ヲ計ル方法ヲ問フ

答 スベテ物ハ重サヲ有ス、重サヲ有スルモノハ皆密度ヲ有ス液体ノ比重ヲ計ルニハ水ニ比較シテ此ノ液体ト彼ノ液体トノ比重ヲ知ルモノトス比重ナル語ハスベテ密度ヲ以テ表ハスモノトス故ニ密度ノ小ナルモノ程輕ク、密度ノ大ナルモノホド重シ其ノ比重ヲ計ル方法ハ今水銀ヲ水中ニ入ル、ニ水ノ底ニナルナリ、¹アルコイルヲ水中ニ入ル、ニ水ノ底ニナルナリ故ニコレ等ハ水ノ密度ヨリ大ナル密度ヲ有スルコトヲ知ル又脂肪石油ヲ水中ニ入ルレバ水面ニ浮ブベシ浮ブモノハ水ノ密度ヨリ小ナルニヨルナリ即チ小ナル密度ヲ有スルモノハ浮ビ大ナル密度ヲ有スルモノハ沈ムナリ此ノ密度ノ差ニヨリテ液体ノ比重ヲ知ルナリ

第二問 北風ヲ受ケテ静水ノ上ヲ走ル船アリ然ルニ漕手ハ風力ノ二倍ノ力ヲ以テ之ヲ東方ニ漕ギツ、アリト云フ船ハ如何ナル方向ヲ取ルカ

答 北風ヲ受ケテ東方ニ漕グベキ二倍ノ力ヲ有スル漕手ハ、東方ニモ行カズ又南ニモ行クコトナシ然ラバ如何ナル方向ヲ取ルカト問フニ東南ヲ向ヒテ行クコト論ナキナリ、何ントナレバコレハ運動ノ三法則中ノ第二ノ法則ニヨルモノト知ル即チ運動ノ起ル方向ハ單一ナルモノニシテ若シ他力ノ方向ト合力スルモ其ノ結果ハ同一ナレバナリ例ヘバ或ル人舟ニテ川ヲ横ギリテ彼岸ニ達スルニ静水ナレバ

直彼岸ヲ指シテ行クナリ二川流ノ爲メニ直チニ横ギル能ハズ故ニ彼ハ川上ニ向ヒテ漕グナリサスレバ川ノ流レノ爲メニ舟ハ抵抗ニヨリ目的地ニ達スルヲ得ナリ、又一ツノ球ヲ今左右ヨリ打ツニ球ハ右ニモ左ニモ行カズシテ左右ニ平向シテ前方ニ行クナリ之レヲ物体ノ合力ト云フ

前記ノ漕手ハ北風ヲ受ケテバ直ニ正シク東ニ行クナリ若シ舟ガ漕グベク力ナクシテ水上ニ浮ベルトキハ北風ヲ受ケテ南方ニ行クナリ之レヲ物体ノ合力ト云フ故ニ運動ノ第二ノ法則ニヨルヲ知ルナリ

第三問 水素ト塩素トノ性質ヲ比較セヨ

答 水素ノ性質 水素ハ物質中最モ輕ク水ヨリ輕キコト十四倍半ナリ無色無臭無味ニシテ好ク燃ユ燃ユレバ水ヲ有ス併シ他物ノ燃燒ヲ助ケズ自ラ淡綠色ノ焰ヲトゲテ燃ユ又酸素ト混合シテ水ヲ作り元素ノ一ナリ

塩素ノ性質 塩素ハ二酸化カンガンニ塩酸ノ化合物ニシテ一ノ元素ナリ灰黃薄色ノ液体ニシテ刺激性ノ臭氣ヲ有シ色素ヲ漂白スレバ種々化學上ニ用ヒラル

第四問 齒ノ構造ヲ圖解セヨ



答 右圖ノ如ク齒ハ三部ニ區別ス珐瑯質ハ陶器ノ如キ光澤アリテ最モ堅シ齒骨質ハ齒ノ實質ニシテ齒根小管ニ連リ脈管神經ヲ有ス白堊質ハ顎骨窩内ニ鑲入セル部分ナリ乳齒ハ二十枚七歳頃交リテ大抵二十歳頃迄ニ三十二枚トナル顎骨窩内ニ入レル所ヲ齒根トイヒ口内粘膜炎ヲ以テ隠クサレタル所ヲ特ニ齒齦トイフ口内ニ現ハル、所ヲ齒冠トイフ門齒八枚犬齒四枚臼齒二十枚ヨリ成ル

第五問 昆虫ノ發音裝置ヲ説明セヨ

答 昆虫ハ種類ニヨリ種々ノ裝置ヲ以テ種々ノ發音ヲナス而シテ發音スルハ雌虫ハ成サズ即チ体ノ尾ニ針狀ヲナセル産卵器ヲ有スルモノハ絶エテ發音ヲナサズセみ、きりぎりす等發音ヲ成サル俗ニをつちせみト云フハ雌虫ナリ即チ發音スルハ雄虫ニ限ル本針ニ生育スルきりぎりす、つちいなご、ちやたてひし、せみ等の裝置ヲ説明センニきりぎりすハ前翅ノ前面ノ裏ニ一種ノ發音体アリ即チ一方ニハ平タキ圓形ノ部分アリ之レニ對スル也ノ一方ニハ細カキ齒ノ如キモノ線狀ヲナシテ併列ス發音セントスルトキハ此ノ部分ヲ互ニ摩擦シテ以テ發音ヲ成ス故ニ發音強弱ハ彼ノ圓形ナル部分ノ大サト厚サナドニ關係スルモノナリ、つちいなごハ第三脚ノ内部ニアル突起ヲ前翅ノ前面ニ融シテ發音シちやたてひしハ大ナル顎ヲ以テ他物ヲ摩擦シテ以テ一種ノ發音ヲ成スセみハ是レ等ト異ナリテ胸部腹面ノ所ニ太鼓ノ如キ發音器アリ且ツ是レヲ負ヒル膜アリテ以テ強音器ノ構造ヲナス恰モ太鼓ノ音ヲ發スルトキハ皮振動シテ音ヲ發スルガ如シ

第六問 植物ノ同化作用ト呼吸作用トヲ比較セヨ

答 植物ノ体ヲ蒸シ燒キニスルトキハ(空氣ト絶テ)其体ト殆ド同ジ大サノ木炭ヲ生ズ故ニ炭素ハ植物体ノ重ナル元素ナリ空氣ハ一萬分中僅ニ四分ノ炭酸瓦斯ヲ有スルノミナルモ空氣ハ常ニ動搖シ植物ハ常ニ新シキ空氣ニ接スルヲ以テ能ク炭酸ヲ取り以テ炭素ヲ取ルコトヲ得是レ植物体ニ炭素即チ木炭ノ生ズル所以ニシテ植物ハ根ヨリ無機物ノミヲ吸取スルニモ拘ハラズ有機物ノ生ズル所以ナリ同化作用ハ植物体ノ全体ニ行ハル、モノニアラズ必ズ綠色ヲ生ズル部分即チ主ニ葉ニ依リテ行ハル空氣中ノ炭酸瓦斯葉ノ裏面ナル氣孔ヨリ葉ノ組織内ニ入り葉綠素ニ遇フトキハ日光ノ助ケニ依リ炭素ノミヲ取り炭素ヲ放チ種々ノ化學的作用ヲナシテ澱粉砂糖等ヲ生ヅ根ヨリ來ル無機物ト混ジテ脂肪蛋白質等ヲ生ズ此ノ如ク植物ト全シ成分トナシ以テ体ヲ養フ此レヲ同化作用トイフ此ノ作用ハ日光ノ助ケニ依ラザレバ成ス能ハズ今試ミニ木葉ヲ取り其ノ一部ヲ黑色ナル紙ヲ以テ纏ヒ之レヲ日光ニ照ラシ后チあるこゝろノ水溶液ニ浸シ葉綠素ノ全ク溶解シ去リタルノ後之レヲ沃度液ニ入ルレバ日光ノ受ケタル部分ハ藍色ニ變ズルモ紙ニテ纏ヒタル所ハ毫モ變色スルコトナシコレ澱粉ハ沃度ニ遇ヒテ藍色ニ變ズルヲ以テ日光ノ受ケタル所ノ澱粉ノ生ゼルヲ知ル即チ日光ナキ所ハ生ゼザルナリ又縮子器内ニ水ヲ盛り呼吸器ヲ吹キ入レテ多量ノ炭酸ヲ含マシメ之ノ内ニ植物ヲ入レテ其ノ一端ヲ切リ之レヲ日光ニ照ラストキハ水泡ノ生ズルヲ見ル之レヲ驗スルニ炭酸ナリ即チ植物ハ炭素ヲ取りテ炭素ヲ放チ日光ノ力ヲカラザレバ同化作用ヲナスコト能ハザルヲ示スモノナリ

植物ノ呼吸作用ハ之レニ反シテ体ノ諸部ヨリ空氣ヲ吸入シテ水ト炭酸トヲ生ジ再ヒ吐キ出エモノナリ

リ植物ハ体ノ何レノ部分ヲ問ハズ呼吸作用ヲ營ムモノナリ而シテ成長ノ盛ナル部分ハ特ニ甚シ即チ花ノ正ニ開カントスルトキ或ハ芽ノ部分等最モ盛ナリ而シテ同化作用ハ日光ノ力ヲカラザレバ成ヌヲ得ザルモ呼吸作用ハ晝夜雨風ヲ問ハズ寸時モ休ムコトナシ故ニ夜間又ハ室内ニ多クノ植木鉢ヲ置クハ害アリ然レトモ日光アルトキハ全化作用盛ニ行ハレテ酸發散ノ量遙カニ炭酸ノ量ニ超ユ而シテ呼吸作用ハ植物ニ最モ大切ナルモノナリ同化作用ハ炭素ヲ取り呼吸作用ハ水ト炭酸ヲ發スルノ差異アリ

○國語科

講讀

甲 左を解釋せよ

第一問 夕日に色どる橋をわたし、みづらに聲せぬ浪をおこす、くもてふものころくすしくありけれ、雲よ雲よ、なきかと思へば大空おほひて、あやしくくしきは雲よ雲よ、

答 夕日ニ色ドル橋トハ日ノ正ニ入ラントスル時、異様ノ光ヲ現ハス即チ雲ノ光線ヲ透過スルニ依リ並行セル雲ハ波ノ如ク橋ノ如キ形色ヲ現ハスヲ云フ故ニ雲ト云フモノハ奇妙ナルモノト云ヒタルナリ無キカト思ヒバ忽チニ大空一面ヲ被ヒ亦神出鬼没人ノ思ヒ考フ事ノ及バザル怪シク妙ニシテ面白キモノハ雲ニコソアレト云フ意ナリ

第二問 義は山嶽より重く死は鴻毛より輕し

答 義ハ事ノ宜シキヲ得タルモノ即チ人ノ守ラサル可カラサルモノ之ヲ守リ重ンズル事山嶽ヨリ厚クシ死ハ人生ノ最モ忌ム所而カモ義ノ爲メニハ鳥ノ毛ヨリモ輕ク思フ様ニナスヲ云フ

第三問 東修の禮

答 東修トハ以前漢學塾時代ニ最モ行ハレタル事ニテ現今モ見ル所ナルガ子弟ガ教師ノ處ヘ報酬ヲ出スヲ云ヒ此處ニ所謂東修ノ禮トハ其時ノ禮式ヲ云フナリ

第四問 兵力の消長

答 兵力ノ消長トハ兵力ノ大小ヲ云ヒタル語ニシテ即チ振フテ衰フル事國運ノ盛衰ト云フガ如シ

第五問 こん限りの聲

答 右ハ一生懸命ノ聲ト云フニ全シ即チ及ブ丈ケ人ニ感覺ヲ與ヘントシテ出シタル聲ヲ云フ

第六問 御望もだし難し

答 右は御望ニハ止メ難イト云フ意尙ホ止ムヲ得ズト云フガ如キ意ヲモ含ム例ヘバ 主の仰せもだしがたくな如シ

第七問 追 賞

答 右ハ字ノ如ク後ニテ賞ヲ與フルナリ即チ行賞ノ際分カラザル効績ガ其後ニ於テ現ハレタル時ニ更ニ賞ヲ與フルヲ云フ

第八問 古典に通ず

答 右ハ古キ書籍ノコト古典ニ通ズトハ古キ書物ニ明ルイト云フコト

第九問 法律顧問

答 右ハ法律ニ關スル事項ノ相談役ニシテ即チ主トシテ法律上ノ見解解釋疑義等ヲ明晰ニスル爲メニ設ケラレタル職務ノ名稱ナリトス

第十問 今朝よりかけまはり候へども未だよき敵にあはず御人體を見かけ幸とこと存じ候へ不東ながら相手になり候はむ

答 今朝ヨリ諸方ヲ奔走シテ居レドモ未タ之ゾト思フ敵ニ會ハズ落膽ノ折御貴殿ノ御様子ヲ見テ喜バシク思ヒマス依テ及バズナガラ御貴殿ノ御相手ニナリマセウト云フ意即チ武人ノ名ヲ重ンジ敵手ヲ選ビタルヲ証シテ余リアルナリ

乙、左の讀方を答ふ

第十一問 軋 轢 答アツレキ

第十二問 簪 答カンザシ

第十三問 不 東 答フツツカ

第十四問 蚯 蚓 答ミミズ

丙、左の片假名に相當する漢字を記せ

第十五問 デンセンビョーのマンエン

答 傳染病の蔓延

第十六問 サンゴノチガケ

答 珊瑚の根掛

第十七問 シヤシをキハメ、クワンラクをホシイママにす

答 奢侈を極め歡樂を恣にす

丁、左の間に對する答を求む

第十八問 齊、齋、兩字の別

答 齊ハひとし訓ミ 齋ハとき(佛ニ供スル飯)ト訓ム

第十九問 エ、イ、の發音の別

答 エハ衣列ノ母韻ニシテ イハ伊列ノ母韻ナリ

エハ口ヲ大キタ開キ舌ヲ下方ノ齒ノソバニカロクツケテ發音ス

イハ口ヲ狭ク開キ舌ヲ下方ノ齒ノ内面ニ接シ上下ノ齒ヲ合セテ發音ス

○文 法 科

第一問 副詞が更に他の副詞を修飾することを説明せよ

答 副詞ノ更ニ他ノ副詞ヲ修飾スルハ例ヲ擧ゲテ答フレハ即チ左ノ如シ

「實に心地よく遊ぶ」ノ如ク「心地よく」ハ遊ヲ制シ「實に」モ亦「心地よく」ニ連リテ其意ヲ強メ且ツ感

情ヲ引クガ如ク裝飾ス

其他長節ヨリ成ル副詞句ニモ此ノ類ノ修飾多シ

第二問 「明日東京へ行く」の文の成分を問ふ

答 右ノ文ノ主成分ハ即チ「行く」ニシテ他ハ行くニ就キテ東京ハ客語ヲ爲シ明日ハ修飾語ヲナス

第三問 「記セシ」の「キセシ」にして「シルセシ」に非りざることを文法上より説明せよ

答 「記セシ」ノ記ハ漢語ニシテ名詞ナリ故ニ名詞トシテハ「シルセシ」トハ言ハズ只コレ丈ケノ意ヲ有ス
ニテ即チ「記」漢語名詞トシテ佐行變格ニ活用スルナリ

○歴史科

左ノ各項ニツキ説明セヨ

第一問 遣唐使

答 遣唐使ハ推古天皇ノ時大體小野妹子ヲ隋ニ使ハセシニ始マル之レ我國ノ唐ト直接外交ヲ開始セシ起
原ニシテ之レヨリ爾後我國ノ制度文物皆ナ唐ニ模倣スルニ至レリ美術工藝ハ唐ト親交ヲ重スルニ從
ヒ輸入シテ文化ヲ助ケタリ而シテ唐ヨリハ使臣ノ來朝アリ夫ヨリ年々遣唐使ヲ派遣スルコト、ナリ
歷代ノ朝廷遣唐使ヲ派遣スルニ當リ隨行員トシテ留學生ヲ派遣セリ而シテ唐トノ親誼ハ年々逐フテ
加ハレリ然ルニ宇多天皇ノ御宇菅原道真ニ詔シテ遣唐使トナシ支那ニ赴カシメントス道真奏シテ曰
ク「古ヨリ彼地ニ遣唐使ヲ遣セシコト數十回其間或ハ風波ノ爲メニ或ハ諸々ノ事情ノ爲メニ使命ヲ

全フセシ者幾クモアラズ所謂勞シテ効ナキ役ナレバ廢スル方宜シカラント朝廷コノ説ヲ容ル、コト
、ナリ又遣唐使ヲ見ザルニ至レリ

第二問 貞永式目

答 貞永年中、北條泰時、法令ヲ定ムコレヲ貞永式目ト云フ蓋シ北條氏ノ憲法法律等ヲ兼テ具ヘタルモ
ノナリ而シテコノ貞永式目ニヨリ政治ヲナスヤ務メテ節儉ヲ行ヒ質素ヲ旨トシ慈惠ノ心ヲ以テ下民
ヲ馭セシメケレバ天下大ニ治マレリ

第三問 永享亂後ノ關東形勢

答 永享ノ亂後ハ天下ハ群雄割據ノ姿勢ニアリテ所謂戰國時代ニ屬スカ、ル時代ニ於ケル關東ノ形勢ハ
山内、扇谷、ニ兩上杉氏居ヲ構ヒ居リシガ後チ隙ヲ生ジ兩氏ノ間ニ爭亂已ムトキナカリシガ伊勢ノ
入北條早雲何豆相摸ヲ略スナド侵略ヲ專トセシヨリ後ハ兩上杉氏力ヲ合シテ之レニ當リシモ常ニ敗
レタリ北條氏康ノトキニ至リ關八州ハ皆ナ北條氏ノ手ニ歸シタリ

第四問 明治十八年ノ官制改革

答 明治十八年伊藤博文等ノ奏ニ從ヒ歐米ノ式ニ倣ヒ官制ヲ改革ス先ツ神祇官太政官ヲ廢シ太政大臣左
右大臣參議等ヲ罷メコレニ代フルニ内閣ヲ設ケ其下ニ内務、外務、大藏、陸軍、海軍、司法、文部、
農商務、遞信、ノ九省ヲ置キ各省大臣次官書記官、參事官等ヲ置ク、内閣ニハ内閣總理大臣アリテ
各省ヲ統ブ

内閣ノ外ニ宮内省アリ 皇室ニ關スルコトヲ司ル
蓋シ明治初年大政奉還後ノ官制ハ大賈令ニ模倣セシモノナリシガ茲ニ至リテ始メテ歐米式ノ官制ト
ナリス

○音樂筆記

第一問 全音符、四分音符、八分音符ノ形狀ヲ本譜、及略譜ノ二様ニ示セ

答 全音符ノ形狀ヲ本譜及略譜ニテ示セバ左ノ如シ

本譜 ○

略譜 例セバ左ノ如シ

1- 1-

四分音譜ニテ示セバ

本譜 

略譜  普通(コンマ)ヲ附セズ

八分音譜ヲ示セバ

本譜 

略譜 1-

而シテ八分音符ノ符尾、符鈞ハ上向ニスルモ下向ニスルモ價ノ變ハルヲナシ四分音符ノ符尾モ亦全

第二問 嬰、變、本効配號力形狀効力ハ如何

答 嬰 記號ノ形狀 

變 記號ノ形狀 

本位 記號ノ形狀 

嬰ノ記號ハ或音ヲ半音ダケ上ルトキニ用フ

變ノ記號ハ或音ヲ半音ダケ下ルトキニ用フ

而シテ嬰變記號ノ効力ハ一小節内ノ同名音ハ別ニ配號ヲ付スルコトナクシテ効力ヲ有ス故ニ次ノ小

節ニ至レバ自然其効力ヲ失フモノトス

サレド又然ラザルコトモアリコレハ旋律ノ工合ニヨリ識別セラル、モノナリ

本位配號ハ嬰、變、ニヨリテ上下セラレタル音ヲ本位ニ復サシムルトキニ用フ

嬰變ノ記號ハ又音部記號ノ後ニ附記セラレシトキ即チ調號ノ時トシテ樂曲全体ノ音ニ効力ヲ有スル

モノトス

○作文科

普通文 水 泳

天晴レ氣澄メル夏ノ日一竿ヲ友トシ柳蔭ニ釣ヲ垂ル、モオモシロク、友ト一室ニ語リ萬斛ノ涼ヲ懷ニ容ル、モ亦可ナルベシシカモ其快ヤ閑雅幽邃ニシテ壯快ナラズ、三伏ノ好伴侶トシテ愉々快々ノ裡知ラズ識ラズ身体ヲ鍛鍊シ氣宇ヲ高大ニスルモノ水泳ヨリヨキハナシコレヲ以テ吾等ハ毎夏讀書ノ餘浦ノ濱ニ赴キ渺茫タル日本海ノ中ニ躍リ入り或ハカモメノ如ク逆捲ク怒濤ヲ冒シテ浮キツ沈ミツ游泳シ或ハ潑刺タル海魚ト泳ヲ争ヒ、海底ニハ貝ヲ捕ル其ノ清涼快絶謂フベカラズ

カク水泳ハ樂シク浩然ノ氣ヲ養ヒ身体ノ健康ヲ保ツニ効刀アルノミナラズコレニ因テ自衛ノ道ヲ授ケ、海事思想ヲ養成シ所謂海國民タルノ氣風ヲ完カラシムルニハ此上ナキ効果ヲ奏スルモノナリ

サレバ四面海モテ圍レシ吾國ニ生レ育チシモノハ身体ニ異狀アルモノ、外定マレル水泳ノ法則ヲ守リコレガ練習ニ勉メザルベカラズ

書簡文 入會を勧むる文

拜啓時下秋高馬肥の好辰愈々御清稔奉賀候陳者先般本校職員外二三有志と談合の結果本村婦人教育會を組織し來月三日天長の佳節を下しこれが發會式を舉行することと致し候

申す迄も無之候得共今や國民教育大に進歩し本村の如きも學齡兒童中殆ど不就學者なきに到り隆盛の勢其趨く所を知らざる有様に候併し躑躅て其内容を窺へば未だ形式の如く完全の域には達せず遺憾の箇所も多々有之候其原因一にして止まらずと雖も要は學校と家庭との連絡の完からざるに起因するもの多きと被存候へば此際一層これが連絡に力め學校教育と家庭教育とを緩和せしめ學校の採るべき方針を

家庭に通知し家庭の注意希望を容れ以て教育の効果を全ふするは最大急務と存じ候而して之れが實行を期するは家庭教育の主腦者たる母姉諸子の會を組織し一定の日を期して學校に參集し各自蓄へる意見を吐き傍ら婦徳の修養を圖るより外なきと考へ事ここに至り候次第故微衷御諒察是非御人會の上本村教育界、婦人界の爲め折角御盡力被成下度別紙規則書相添へ此段御勧誘申上候 早々不具

○ 体 操 科

普通 体操

第一問 体操教授上何故ニ各種ノ運動ヲ必要トスルカ其理由ヲ問フ

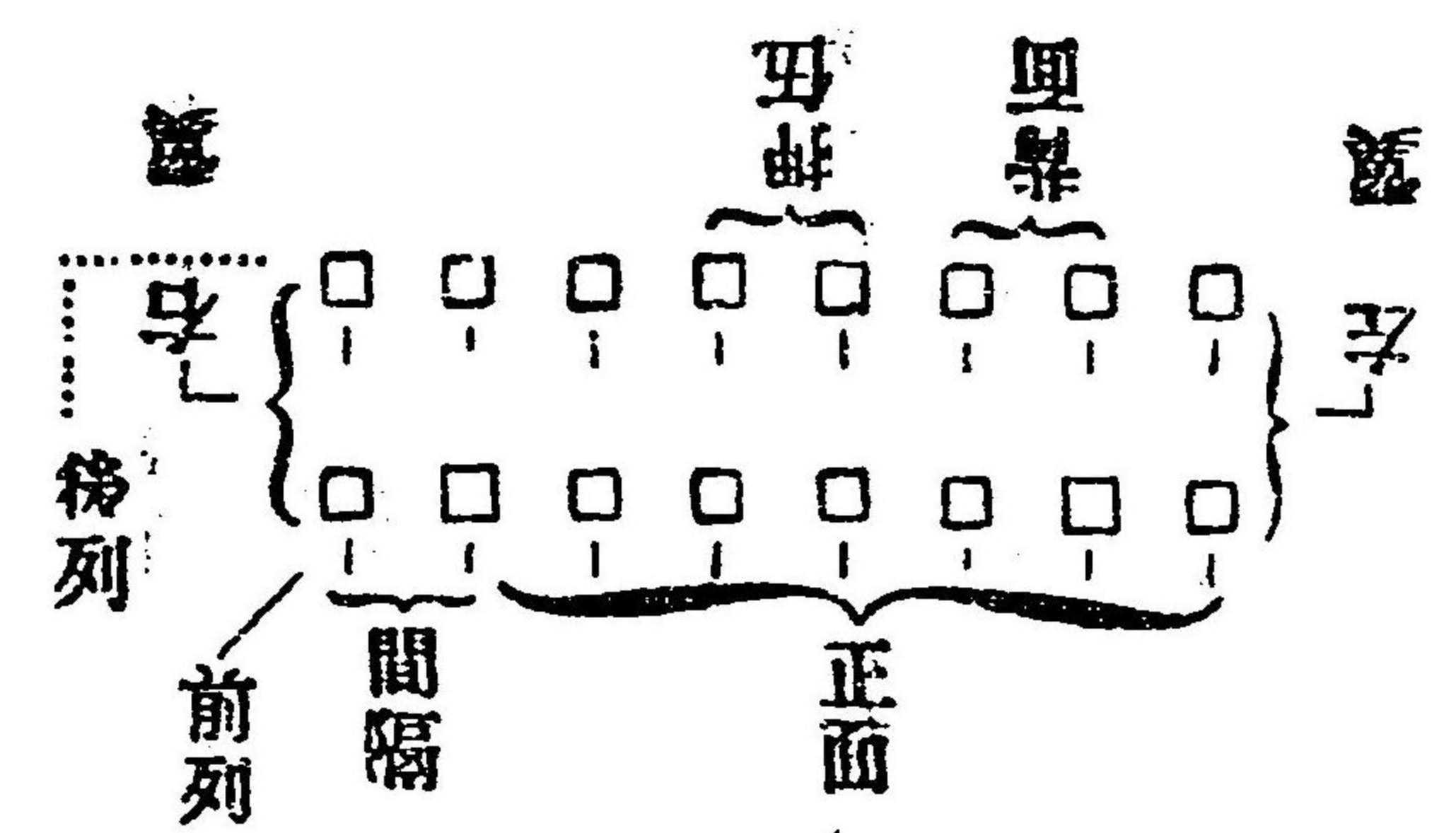
答 總テ普通ノ業務ハ筋屈ノミニテ筋伸ノモノ殆ドナシ器械体操柔道ナドハ筋屈ノ運動ニシテ擊劔ハ筋伸ノ運動ナリ然レドモ唯々普通体操ノミハ身体ノ各部ヲ均シク發達セシムルモノナリ故ニ大意ニモ体操ハ身体各部均齊ニ發達セシメ且ツ活潑剛毅ノ心ヲ養ヒ規則ヲ守ラシムルモノナリ然レドモ又柔道ノ如ク筋屈ヲノミスルモノアリ又擊劔ノ如ク筋伸ヲノミスルアリテ同一ナラズ故ニ或ル時間ニ筋屈的運動ヲ行ヒ又或ル時間ニ於テ筋伸的運動ノミ勉ムルトキハ身体各部ヲ均一ニ發達セシムル能ハザルノミナラズ兒童ハ倦怠ヲ生ジ何等ノ興味ナシ故ニ從ツテ活潑ニ好結果ヲ奏スルコト能ハズ故ニ一時間中ハ体操ノミ行フコトナク其間ニ遊戯ノ面白キモノヲ課シ其中央ニテ行進又ハ同轉ナドヲ成サシムルヲ要ススレバ兒童大ニ興味ヲ持チ倦ムコトナク活潑ニ愉快ニ又樂シク行フコトヲ得故ニ好結果ヲ得ルナリ而シテ又筋屈筋伸其他種々ノ運動ヲナスヲ以テ各部均齊平等ニ發達セシムルコト

トヲ得

兵式体操

第二問 左ノ兵語ヲ圖ヲ以テ説明スベシ

正面 背面 左翼 右翼 押伍 距離 間隔
答 此ノ圖ヲ正面横隊トス



押伍ハ後列兵ノ後ニアルヲ押伍トス

体操 (實地)

▲小學校本科正教員專科正教員

- 一、美容術 適宜一、二節ヅ、解説ノコト
- 一、徒手、亞鈴、球竿体操 全部
- 一、棍棒体操 第一演習丈

▲尋正、本准

- 一、美容術 前ニ同シ
- 一、徒手、アレイ体操 全部
- 一、球竿体操 第一部丈

▲尋小學校准

- 一、美容術 適宜一、二節ヅ、(解説ナシ)
- 一、徒手体操 全部
- 一、アレイ体操 第一部初メヨリ第二部終リマデ

兵式 (實地)

▲高准、尋正

- 步兵操典 第一部第一第二章迄
- 体操教範 第一部

▲高正專正

歩兵探練 第一部第一第二第三章迄
体操教範 全部

○珠算科

答數ノミニテヨロシ

第一問 387.2×3.8 答千四百七十一個二六

第二問 $449.5 + 4.5$ 答九百九十九個

第三問 二十三度八分十七秒ヲ十二分セヨ 答一度五十五分四十一秒余

○筆算科

第一問 或ハ書記ヲ雇フニ當リ一ヶ年ノ給料トシテ三百九十一圓ト衣服一領ヲ給スルコトヲ約セリ然ルニ五ヶ月ノ後暇ヲ乞ヒタレハ其衣服ト金百四十六圓トヲ與ヘリ衣服ノ代價幾何

注意 各題答數及理由ヲ記スベシ

答 二十九圓

五ヶ月間ノ給金ハ $(391 \times \frac{5}{12} = \frac{1955}{12}) - \frac{1955}{12}$ 圓ナリ

五ヶ月間ノ衣服ハ $(1 \times \frac{5}{12} = \frac{5}{12}) - \frac{5}{12}$ 圓ナリ

然レドモ衣服ハ一領ヲ貰ヒタルニヨリ $(1 - \frac{5}{12} = \frac{7}{12}) - \frac{7}{12}$ 領ダケハ過分ナリ之ニ反シ給金ハ $(\frac{1955}{12} - 145 = \frac{203}{12}) - \frac{203}{12}$ 圓ダケ少シ故ノ多ク比少ニテ價ヲ故ニ衣服 $\frac{7}{12}$ ハ $\frac{203}{12}$ 圓ニ等シ然ラバ求ムル處ノ衣服ノ價ハ $(\frac{203}{12} \div \frac{7}{12} = 29)$ 二十九圓ナリ

第二問 兄弟アリ兄ノ年ハ三十才弟ノ年ハ二十二才ナリ何年ノ後弟ノ年ハ兄ノ年ノ四分ノ三トナルカ

答 二年

今年ノ兄弟ノ年齢ノ差ハ $(30 - 22 = 8)$ 八年ナリ而シテ此差ハ何年後ニ於テモ同シ若干年後ノ兄ノ年齢ヲ 1 ト假定ス然ル時ハ此時ノ弟ノ年齢ハ $(1 \times \frac{3}{4} = \frac{3}{4}) - \frac{3}{4}$ ナリ故ニ其差ハ $(1 - \frac{3}{4} = \frac{1}{4}) - \frac{1}{4}$ ナリ故ニ其時ノ兄ノ年齢ハ $(8 \div \frac{1}{4} = 32)$ 三十二歳ナリ故ニ求ムル所ノ年數ハ $(32 - 30 = 2)$ 二年ナリ

第三問 高さ十一尺五寸ノ石塔ガ平地ニ移ル影ノ長サ十七尺四寸ナルトキ百九十一尺一寸ノ影ヲ平地ニ移ス木ノ高さ幾何

答 百二十六尺三寸五十八分ノ一

物体ノ生ズル影ノ長短ハ其物体ノ長短ニ正比例ス故ニ求ムル處ノ高さハ $(174.1911 = 115 : x) 1263 \frac{1}{58}$ ナリ

第四問 甲ヨリ乙ニ四ヶ月後ニ拂フヘキ金五百圓アリ又乙ヨリ甲ニ六ヶ月後ニ拂フヘキ金九百圓アリ今同日ヲ期シテ差引勘定ヲナサントス其日限如何

答 甲ヨリ乙ニ四ヶ月後ニ支拂フベキ五百圓ヲ九百圓ノモノト見バ何ヶ月後ニテ可ナルヲ計算ス而シテ支拂フベキ界限ノ金高ト反比例ス故ニ求ムル處ノ期限ハ(900:500=4:a)(2²/₉)月後ナラザルベカラズ

第五問 或人金千貳百五拾圓ヲ二ヶ年間複利ニテ貸シ元利金千參百五拾貳圓ヲ得タリト云フ其年利率幾何

答 四分

年利率ヲ x ト假定ス然ル時ハ元利金ハ(元金 $\times(1+x)$) $\times(1+x)$ ナリ故ニ(1352+1250=1.0816)
 $1.0816 = (1+x)^2$ ノ自乘ニ等シ故ニ 1.0816 ヲ平方ニ開ク時ハ($\sqrt{1.0816} = 1.04$) 1.04 ヲ得
 故ニ年利率ハ(1.04-1=0.4)四分ナリ

○教授法管理法及法令

第一問 教授案編成上注意スヘキ事項ヲ述ベヨ

答 教授案ニハ教授過案ト教授日案トアリテ教授過案トハ一週間ニ教授スヘキ事ヲ其ノ週ノ始メニ於テ豫メ教授スベキ分量及ヒ方法ヲ考案シ編制シ置クヲ云ヒ教授日案トハ翌日教授スヘキ事項ヲ前日ニ於テ其ノ分量ト方法トヲ豫メ豫定シオクヲ云フ而シテ教授案ハ教授日案ニヨラサル可ラズ(已ムヲ得ザル特別ノ事情アルモノハ此ノ限ニアラズ)何トナレバ教授過案ニヨルハ果シテ其ノ豫定通り經過シ得サル場合モ随分少カラズ或ル教材カ意外ニ時數ヲ要スルコト又臨時已ムヲ得ザル故障等ノ

爲メ豫定通り進行シ得ザル場合モナキニモアラズノミナラズ教授過案ニヨルハ數日後ノ事ヲ前以テ豫定シオクコトナレバ從テ教授上種々ノ後備トナルベキ條項(教授上ニヨリテ次ノ教授ニ資スベキ種々ノ偶發事項)等モ考案スルコトヲ得ヘカラサレバナリ教授上此ノ後備ヲナスハ豫備(五段ノ教授ノ豫備ニアラズ)ヲナスト共ニ教授上少カラザル効果ヲ與フルモノナレバナリ然レバ教授案編成ニ於テハ先ツ教案ハ日案ナラサル可ラズ而シテ其ノ日案ヲ編制スルニハ前日ノ教授ノ過程(教授ノ經過及ヒ教授ノ効果ハ如何及ビ兒童ハ如何ニ興味ヲ有シタルカ且ツ豫定通り教授ノ目的ニ達シタルカ)ヲ充分考察シ即チ後備ヲナシ前後參酌シテ立案セサル可ラズ連絡ナキ教授ハ更ニ効果ヲ有セザルモノナリ而シテ豫備的方面ニ於テ成ルベク廣ク兒童ノ思想界ニ求メ且ツ其ノ目的ノ部ニ於テハ充分兒童ガ新事項ニ對シテ期待心ヲ惹起セシメ而シテ教授ノ段ニ於テハ廣ク深ク參考シ充分新事項ヲシテ兒童ノ了解シ得ル丈ケ諸書ヲ參考シ比較應用ノ部ニ於テハ兒童ガ既有觀念界ニ於テ成ルベク比較統合セシムル様前後ノ關係ヲ深く考察シテ立案シ且ツ其應用ニ於テハ新ニ授ケシ事項ガ全ク兒童ノ精神界ノ領分トナシ得ルマデニ至ル様細心綿密ニ立案セサル可ラズ

第二問 綴リ方教授ニ於ケル助作法ト自作法トヲ説明シ且實施上ノ心得ヲ述ベヨ

答 綴リ方教授ニ於ケル助作法トハ或ル一ノ題目ヲ提出セシメ其題目ニ付テ兒童ト問答シ或ハ授ケ一題目ニ付テ思想ヲ略ボ整頓シ而シテ後各自ニ記述セシムルヲ云フ
 自作法トハ題目ヲ授ケ唯其ノ題目ニ付テノ大体ノ説明丈ケニ止メ他ハ兒童ノ思ヒノ思想ニ任シ

テ綴ラシムルヲ云フ而シテ助作法ハ其題目ニ付テ兒童ガ明瞭ナル觀念ヲ有セサル場合ニ於テ課セシム其實施上ニ於テハ問答的ニナシ話セシモノヲ文章体ニ改作セシムルモノ一般ナリ即チ話シ方ヲ文章体ニ改作セシムル練習ヲモ兼テナスベキナリ自作法ニ於テハ可成兒童ノ天真爛漫タル特性ヲ發揮セシムル機多方興味ヲ以テ兒童ノ思想界ニアル既得ノ觀念ヲ以テ或ル一ツノ題目ヲ綴ラシムルナリ即チ理科的知識ナリ或ハ地理的知識ナリ或ハ歴史ナリ修身ナリ其他種々ノ方面ヨリ種ノ觀念ヲ統合シ一題目ニ適合セシムルモノ是レナリ

第三問 兒童ノ風紀ニ關シテ注意スヘキ要項如何

答 兒童ノ風紀ニ關シテ注意スベキ要項次ノ如シ

- (1) 頭髮ハ亂レザル襟身衣服等不潔ナラザル様且ツ華美ニ流レザル様質素ヲ旨トスベシ
- (2) 金錢ヲ賭スル競争ヲナサシメザル事
- (3) 金錢ヲ所持セシメザルコト父母ノ許シナク物品ヲ求メザルコト
- (4) 兒童相互間ニ於テ金錢物品等ノ交換ヲナサシメザルコト
- (5) 父兄ノ許可ナクシテ劇場其他ノ會合所ヘ赴カザル事
- (6) 兒童各自ノ間ニ相當敬語ヲ用ヘ粗暴野卑ノ言行ナカラシムルコト
- (7) 學校神社佛閣其他ニ落書セシメザルコト
- (8) 喫煙セシメザルコト且ツ之ガ器具ヲ携帯セシメザルコト

癡風紀ニ關シテ注意スベキ事項多シト雖モ以上ノ如キ其重ナルモノナラント信ス

第四問 學級ノ分別ニ關スル規定ノ大要ヲ問フ

答 學級ノ分別ニ關シテハ男女兩性各々其ノ特兆アルモノニシテサレドモ其下級ノモノハ未ダ著シク身神ノ發達ヲ認メザレド稍々ソノ上級スルニ從ヒ各々其ノ情性相別ル、モノナレバ爰ニ學級ノ區別ヲ要スルナリ

- 一、男女各々學級ヲ組織シ得ル場合ニハ各分別シテ男生女生ノ學級ヲ設クルコト
- 二、高等小學校ニアリテ一學級毎ニ男女右分別シ能ハザルモ全校女兒ヲシテ一學級ヲ組織シ得ル場合ニハ特ニ分別シテ所謂單級編制ノ如クナスベシ
- 三、修身、音樂、裁縫、手工等ノ學科ノ如ク稍々其勞ヲ省カル、科目ニ於テハ全校又ハ數學級同一時ニ教授シ得

○教育教育史

第一問 訓育ノ目的ヲ問フ

答 小學校ニ於ケル教育ノ目的ハ兒童ニ道德教育國民教育ノ基礎ヲ授ケ日用必須ノ智識技能ヲ與ヘ且ツ身体ヲ發達セシムルニアリ而シテ道德教育國民教育ハ殊ニ重要ナルモノニシテ訓育ハ教育ノ目的ノ此ノ部分ヲ達スル上ニ關スルコト大ナリ今訓育ヲ分チテ消極的及ビ積極的ノ二ツトシテ之ガ目的ヲ述ベントス

甲、消極的訓育ノ目的

消極的訓育ハ遊戯作業ヲ課シテ知ラズ識ラズニ兒童ヲ善良ナル方向ニ導キ以テ教育ノ目的ヲ達セントス兒童ハ遊戯作業ノ間ニ自ラ勉強忍耐一致團結等ノ諸徳ヲ得且ツ所謂器用トナル

乙、積極的訓育ノ目的

積極的訓育ハ訓育ノ本体ニシテ教授模範賞罰等ノ外部ノ力ヲ以テ兒童ヲ善良ナル方向ニ導カントス其ノ終リニハ外部ノ影響ナクトモ内心ヨリ善行ヲナサシメンコトヲ要ス
次ギニ訓育ノ目的ノ消極的方面及ビ積極的方面ヲ一言セントス

甲、訓育ノ目的ノ消極的方面

コレハ訓育ニ依リテ兒童ノ惡性惡習慣ノ萌芽ヲ防グ即チ兒童ヲ惡シキ方向ニ向ハシメザラントス
乙、訓育ノ目的ノ積極的方面

コレハ兒童ノ有セシ善性質ヲシテ益々發達セシメ且ツ又良習慣ヲ與フル即チ兒童ヲ善キ方向ニ導カントス

訓育ノ目的タルヤ凡ソ上述ノ如クニシテ結局教育ノ目的ヲ達セント欲スルモノナリ

第二問 復習ノ必要ヲ述ベ且其適當ナル方法ヲ示セ

凡テ學ビ得タル智識ハ之ヲ實際ニ施サントスルニハヨク記憶シテ我方所有トナサハル可カラズ又一

旦我方所有トナリシ智識モ時日ヲ經ルニ從フテ忘却ヲ來スヲ常トス故ニ智識ハ之ヲ確實ニ記憶シ記

憶ハ益々之ヲ確實ナラシムルヲ要ス然レドモ記憶ノ手段ハ第一ニ復習ヲ推サハル可ラズ復習トハ嘗テ學ビシモノヲ領得シ且ツソノ領得ヲ益々強カラシメンガタメニ再三再四練習スルノ謂ヒナリ
其ノ他ニ復習ハ新智識ヲ得ルニ際シテ之ガ豫備トナルモノナリ

以上ヲ復習ノ必要ノ大要トス次ギニ其ノ適當ナル方法ヲ述ベントス上述ノ次第ナレバ復習ハ之ヲ屢々スルコトヲ要ス殊ニ期ヲ擇ブヲ要ス即チ各時間各月各學期各學年等ノハジメ及ビ終リニ行フヲ可トス其ノハジメニ於テスルモノハ主トシテ新授ノ豫備トナリ終リニ於テスルモノハ既得ノ智識ヲ確實ニ記憶セシムルヲ目的トス又人ニ依リ學科ニ依リ記憶ニ難易アリ難ナルモノニハ多クノ復習ヲ要ス易ナルモノニハ之ヲ少クス學科ノ輕重ニ關シテ重キモノ、復習ヲ先トス

第三問 武士教育ガ歐洲教育ニ及ボセル影響ヲ問フ

答 歐洲中世紀ニ於テ武士ハ屢々十字軍ニ從フテ(キリストノ基ハ猶太ニ在リ歐洲人之ニマウヅル度毎ニ回教徒ノ侮辱スル所トナル之ヲ十字軍ノ原因トス十字軍ハ第十一世紀ヨリ第十三世紀ニ渉ル)其ノ識見ヲ廣メ(歐洲人ハ回教徒ヲ未開ト思ヒシニ事實却リテ之ガ反對ナリキ)爾來高等教育ノ必要ヲ感ジテ所謂武士教育ヲ起セリコノ時迄ハ僧侶教育ノ世ナリシガ武士教育起リテ之ガ缺點ヲ補フ即チ第一ニハ僧侶教育ノ輕視セシ体育ヲ重ンセシコト第二ニハ女性ヲ敬愛セシコト第三賞ス可キ武士風ヲ養成セシコト此ノ他十字軍ノ影響トシテ都市ノ繁盛ヲ來シ所謂市民教育(第十三世紀ニ起リ武士教育ノ後ヲ受ク)ノ原因ヲナセシモ武士教育ノ一影響トス(但シ前ノ三ツニ比シ最モ間接的トス)

第四問 ペスタロッチが教育上如何ナル貢獻ヲ爲セシカ

答 ペスタロッチが教育上ノ貢獻大略下ノ如シ

一、主觀的自然主義ヲ立テシコト

アモスコメニウスノ參觀的自然主義ニ對シテ一段ノ進歩トス

二、德育ヲ重ンセシコト

三、所謂ペスタロッチ派ヲ成セシコト

ペスタロッチハ第十九世紀ノハジメニ於テ諸大家ノ說ヲ一身ニ集メテ之ヲ大成セリソノ說ハ所謂ペスタロッチ派ト稱セラレテ我國ノ教育ニモ影響セシコト尠少ナラズ

四、教育者ニ好模範ヲ示セシコト

モト「ペスタロッチ」ハ智ノ人ニ非ラズ事務家ニアラズ情ノ人愛ノ人ナリ智ニ足ラザルノ人ハ屢々失敗ス情ノ人ハ失敗ニ際シテ立ツトスクナシ獨リ「ペスタロッチ」ハ然ラズ彼ノ傳記ヲ讀メルモノハ知ラン不幸ニ將タ不幸ハ引キ續キテ彼ガ頭上ニ加ハリ又彼ガ履歴ハ失敗ノ歴史ナリキシカモ微力ヲ以テ勇奮遂ニ能ク成就セリ即チ知ル熱心ハ萬事ヲ遂グルニ足り人ヲ愛スルノ到レル「ハ我が名ヲ殘スニ足ルヲ。余ハ云ハントス」ペスタロッチ「ガ傳ヲ讀ミテ立タザル者ハ教育家ニアラスト

○修身科

第一問 人格ノ發展トハ何ゾヤ

答 人格ノ發展トハ人性ノ發展是ナリ人格トハ人間トシテノ地位資格デアル即チ人間ヲ他ノ動物植物無生物等ニ比較シテ吾ハ人間資格ヲ具ヘ居ルトイフ自覺デアル猶言ハ「同類中(又ハ社會)ニ於ケル個人トシテノ品性デアル

宇宙萬象ノ中人格程尊キモノハナイデアアルカラ人間特ニ人ノ師トナリテ教鞭ヲ執ル者ハ人格ノ發展ヲ期セチバナラヌ

人格ノ發展ハ智情意ヲ一体トシタル人性ソノモノニ満足ヲ與フル行爲ヲナスニアリ即チ智情意ヲ一体トシタル精神上ニ満足ヲ與フルニハ各其本分ヲ實行スルアリ

又人格ノ發展ヲ期スルニハ吾々ハ共同的生活即チ小ニシテハ家族大ニシテハ社會國家ト密着不離ノ關係ヲ有スルコトヲ忘ル可ラズ人或ハイフ古來福善禍淫トハイハ實際ハソノユカスコトガ多イ善人ニシテ不幸併發轉軻落魄見ルニ忍ビザルモノアリ惡人ニシテ富貴榮樂イヨク惡事ヲ働キテ尙ホ幸福重子至ルドーモ人性ハ不可解デアルト云フモノアレド是レ未ダ深遠ノ理ニ通セザルニ由ルノミ人格ハ發展スル毎ニ其發展セルモノヲ實視スル例ヘバ人アリ篤學勵行稍々名ヲ舉ゲレバ則チ其未ダ現レザル時ノ人格ニ比スレバ一段ノ進歩ヲ來シタノデアアル

之ヲ要スルニ人ハ己ノ人格ヲ進化發展シテ圓滿無礙ナル境界ニ到達センコトヲ期スルト共ニ又社會人類ノ進化發展ヲ期セザルベカラズ、カクシテ後始メテ人生ノ目的即善換言スレバ理想ノ境界ニ殆ン

ド到達セントスルノデアル人格ノ發展豈ニ勇壯愉快ナラズヤ

第二問 家族中ニ於ケル諸種ノ關係小社會國家道德ノ根底ヲナス所以ヲ述ベヨ

答 抑々社會トハ何ゾ國家トハ如何畢竟皆ナ之レ均ク人類ナリ人類ノ群居スルハ其性情ニシテ之ヲ内ニシテ家族外ニシテハ結ンデ社會、合シテ國家ヲ爲スモノデアル故ニ家族ニ於ケル本務ニ社會國家道德ノ根本基礎ヲ爲スノミ父母ニ事ヘテ孝順ナレバ主君ニ事ヘテ忠義、兄弟間ノ關係ニ於テ信實和順ナラバ朋友ト交リテ信義アリ故ニ曰ク家族ニ對スル責務ニ於テ間然スベキナケレバ必ズ社會國家等ニ對スル責務ヲ果シ得ン哉

第三問 群居終日、言不レ及レ義、好ミ行フ小慧ニ難イ矣哉カナ

答 (字解)「終日」ハ一日ノ意、朝ヨリ晩マテ「小慧」ハ小才覺即チ少シバカリノ智慧才覺ヲ謂フ

(大意)君子欲納於言敏於行トモイヒ君子論於義小人論於利トモ亦タ小人閑居爲不善無所不至トモ聖人ハイハレタリ嗚呼吾是ノ語ヲ解ク慨スルニ堪エザルモノアリ嗚呼小人ノ利欲ニ迷ヒテ小慧ヲ行フヲヨ君子以文會友以友輔仁焉ト君子ノ群居ヤ六藝(禮樂射御書數)ノ文學技藝ヲ以テ友ヲ會シ友人中禮義ニ篤キモノヲ見レバ其禮義ヲモテ已レヲ輔ケ即チ足ラザル所ヲ補ヒ德行文學ニ於テモ亦タ然リサレド慨スベキハ小人ノ群居ナリ終日相會シテ議スル所ハ何事ゾ唯利ヲ語リ惠ヲ思フノミ其行フ所ヲ見レバ小才覺デ小サイ智慧ヤ才覺ヲモツテ唯々利ヲ望ミ欲ヲ逞フセントス豈ニ難カラズヤ

第四問 仁遠乎哉、我欲レ仁、斯仁至矣

答 (大意)仁恕ハ夫子ノ道德ノ目的デアル極致デアル故ニ其弟子等ハ仁ヲ以テ非常ニ深遠ナ企及スベカラザルモノカト思ヒテ夫子ニ問ヒ上リシナリ○孔子ハ之ニ答ヘタマハク仁恕豈ニ仰グベカラザランヤ豈ニ遠ク隔アナンヤ人苟モ仁ニ志シテ求メナバズク仁ヲ行ハレル仁道ハ決シテソレ遠イモノデナイ人倫日常卑近ノ間ニ求ムレバ行ハレルノミ

○尋常小學校准教員之部

○國語科

甲 左を解釋せよ

一、高きいやしき品はあれど學びの道にだづさはる人としあればおしなべて此かる歡きはありぬべし
答 人格の貴き御方と賤しきものとの相違はあるけれども學問する人は皆斯様の歡さはあるであらう

「たづさはる」トハ關係すると云ふ意味

「おしなべて」トハ皆々と云ふ意味

二、愚息 自分ノ兒ヲ賤シメテ則ハチ謙遜シテ他人ニ對シテ用フル代名詞ナリ

三、涼氣身に迫る 涼シキ空氣ガ身ニしみこむこと則はち涼しきを感じるノ形容詞ナリ

四、追賞 死シタル人ニ賞ヲ授クルヲ

五、乳の香うせぬ子供 幼少ノ子供ノヲ

六、蠶をまぶしにうつす 蠶が成長して蛹に入る期に近いたから「まぶし」と云ふ蠶にて作りしもの
にうつし蠶と云ふ巢を作らしむるなり

七、ひもじい 腹のへりたること

八、遺族 生き遺されたる家族

九、胸がはりさけるよ一です 心の苦痛が多である意味ナリ残念で……悲しくて……ニ於ケルが如
シ

十、版圖をひろめる 領地ヲ擴大ニスルコト

乙 左ノ讀方を問ふ

十一、床 板 トコイタ

十二、年來の本望 チンライノホンモ一

十三、御稜威 オミエツ

丙 左ノ片假名ニ相當スル漢字ヲ記セ

十四、テイシヤバ 停車場

十五、センキヨ 選舉

十六、ユービンバコ 郵便函

十七、モチロン 勿論

十八、イカン 遺憾

丁 左をろのまゝ文語にしてみよ

十九、石油ははじめは色がついてをるが手かすをかけると透きとほつた油になります

石油ハ初メ着色スレドモ手數ヲ經ルニ從ヒ透明ナル油トナルナリ

戊 左ノ假名ニ誤リアラバ正セ

井上静枝と云ふ人の弟は今日和泉の堺にてすさまじひつむぢ風にあふた

井上静枝と云ふ人の弟は今日和泉の堺にてすさまじひつむぢ風にあふた

○珠算科 答數ノミニテヨロシ

第一問 3574 × 34 = 答十二萬千五百十六個

第二問 68.5 × 7.2 = 答三百九十三個二分

第三問 12075 + 35 = 答三百四十五個

○地理科

第一問 北陸道ノ主ナル河川ヲ順記セヨ

答 三面川 阿賀川 信濃川 關川 姫川 黒部川 常願寺川 射水川 手取川

日野川

第二問 左項ニツキ説明セヨ

一、奥羽中國關西鉄道

答 奥州(陸前陸中陸奥)ノ鉄道ハ武藏ノ大宮ヨリ分岐セル東北鉄道ハ岩代福島ヨリ陸前ノ岩沼仙臺ニ來リ鹽釜支線ヲ分岐シ一ノ關花巻盛岡野邊地ヲ經テ青森ニ至リ更ラニ出テ、弘前ニ至リ羽後ニ入ル出羽(羽前羽後)ノ鉄道ハ弘前ヨリ來ル鉄道ハ能代川ニ沿ヒテ下リ能代秋田ニ至ル福島ヨリ來ル鉄道ハ米澤ヲ經テ山形ニ至ル

中國鉄道ハ大阪ヨリ來ル東海道線ハ西宮ヲ過ギ神戸ニ至リテ山陽鉄道ニ連ル山陽線ハ神戸ヨリ姫路岡山福山廣島岩國三田尻ヲ經テ下ノ關ニ終ハル

支線ハ姫路ヨリ生野ニ至ルモノト岡山ヨリ津山ニ至ルモノト廣島ヨリ宇品ニ至ルモノトアリ關西鉄道ハ名古屋ト大阪トノ間ヲ連ヌルモノ桑名四日市上野ヲ經テ京都ニ入り大阪ニ至ル

第三問 左ノ國々ニツキ管轄ノ府縣名ヲ記セ

答 飛彈ハ岐阜縣 河内ハ大阪府 對馬ハ長崎縣 淡路ハ兵庫縣 筑後ハ福岡縣

第四問 左ノ地名ニツキ説明セヨ

眞野 萩 石槌山 御前崎 打狗

答 眞野ハ近江、盤城、佐渡ニアリ

萩ハ長門ニアリ人口一萬五千八百毛利氏ノ古城趾アリ

石槌山ハ土佐伊豫ノ國境ニアリ高サ四千三百五十尺

御前崎ハ遠江ニアリ海中ニ斗出スルコト二里余斷崖壁立暗礁多シ

打狗ハ臺灣台南府ノ南ニアリ港ハ善良ナラズ

○習字科

左ノ文字ヲ一枚ニ楷書ノ一休ヲ書キ一枚ニ行草ノ二休ヲ書ク

但用紙ハ二枚トモ横ヲ用フベシ文字ノ大サハ楷方二寸五分位行、草、方一寸五分位置ハ楷二字下リ三行、行、草、ハ三字下リ二行

光左兼或父海

○修身科

第一問 奉公ノ大義ヲ説ケ

答 奉公トハ君國ノ爲メニ心ヲ碎キ力ヲ盡クスベキノ謂ナリ我國古來金甌無缺萬邦無比ノ國体ヲ持シ皇威ヲ海外ニ輝シ、ハ固ヨリ皇祖ノ威烈ニ由ルト雖亦其臣民タル我等祖先ガ義勇奉公セシニ由リテナリ今後ニアリテ萬一ニモ義ヲ忘レ勇ヲ失ヒ國ヲ辱ムルコトアラハ祖先ヲ辱メ皇祖ニ背キ奉ルコト大ナルモノナリ今日ノ臣民タルモノ奮發興起シテ奉公ノ大義ヲ全フスベキナリ

第二問 朋友ノ選擇ニ關シテ意見ヲ述ベヨ

答 朋友ノ大切ナルハ四恩ノ教アルニヨリテモ知り得ベシ又古歌ニ「千鳥さい友呼びかはし遊ぶなりなぞてや人のひとり樂しむ」ニヨリテモ知り得ベシ然レモ一利一害ハ理ノ免レザル所往々偽友ノ爲メ

ニ小ニシテ一身ノ名譽ヲ毀損セラレ大ニシテハ父母兄弟ヲ累ハスニ至ル故ニ慎シムベキハ朋友選擇ノ方法ナリ聊カ意見ヲ述ヘン

- 一、己レト嗜好ノ同ジキモノ
- 二、己レヨリ同年以上ノモノ

三、意志強固ニシテ且ツ常識ヲ具フルモノ

四、沈着ニシテ且ツ快活ナルモノ

五、信ヲ守リ特ニ秘密ヲ重ンズルモノ

六、身体強壯ニシテ事ニ忠實ナルモノ

七、萬事好上のニシテ然カモ能ク謙讓ナルモノ

八、萬事樂觀的ナルモノ

九、父母ニ孝ニ兄弟ニ友ナルモノ

以上九項ヲ具備スルモノハ親友トシテ尊重スベク一項若クハ數項ヲ欠クルモノハ互ヒニ獎勵シテ親友トスベク一項ダモ備ヘザルモノハ友トスルノ價値ナシ

第三問 我國國民教育ノ目的ヲ説ケ

答 小學校令第一條ニ小學校ハ兒童身体ノ發達ニ留意シテ道德教育及國民教育ノ基礎並其生活ニ必須ナル普通ノ知識技能ヲ授クルヲ以テ本旨トストアリ此レ則ハチ國民教育ノ目的ナリ

第四問 兄弟姉妹ノ間ニ於ル友道ヲ説明セヨ

答 人ノ天倫ハ絶タント欲シテ絶ツ可カラズ離レント欲シテ離ルベカラズ愛スル所ヲ失フト雖モ其本然

ニ回復セバ猶雲晴レテ復月明ヲ見ルガ如シ其覆ハル、所ナキヲ勉ムルハ是レ友愛ノ要義ナリ

兄弟姉妹ハ同一ノ父母ヨリ出デ骨肉血氣相連リ其關係一幹ノ枝ノ如ク實ニ天倫ヨリ成レルモノナレ

バ如何ナル場合ト雖モ絶ゾコト能ハズ相抱負シ相提携シテ共ニ過ヲ戒メ善ヲナシ互ヒニ惡ヲ避ケ父

母ノ遺體ヲ辱メズ一身一家ノ善美ヲ濟シテ父母ヲ安堵セシメ邇リテハ祖先ノ神聖ヲ大ナラシムベキ

ナリ

○音 樂 科

▲尋 正 唱 歌 (實地)

一、武 夫 小學唱歌二卷 十六枚

二、螢の光 小學唱歌集一 十五枚

三、おぼろ 全 上 廿一枚

四、朝 小學唱歌三 十四枚

五、長音階

樂 器

一、ハ調長音階 兩手一オクタブ

- 二、紀元節 小學唱歌一、十枚
- 三、若 紫 小學唱歌集 十五枚
- 四、大和撫子 全上 廿四枚
- 五、秋 景 小學唱歌三 五枚

○教授法

第一問 教授ハ直觀的ナルベキ所以ヲ説明セヨ

答 我等ハ面白イ音聲ヲ發スル笛琴「オルガン」ノ音又鶯ノ如キ愛ラシイ樂シイ聲ヤ其他鳥虫ノ聲音ハ皆耳ヲ聞キ取リテ愉快ヲ感ジ美シイ花類ヤ細密ナル圖書山野海川ノ景色等ハ凡テ眼ニ見テ麗ハシキヲ覺ユ故ニ「百聞ハ一見ニ如カズ」トイフガ如ク吾人ガ物ノ理ヲ究ムルニハ最初必ず耳目ヲ假ラザルベカラズ斯ノ如ク物体ノ大小、宇宙間ノ事ヲ耳目ニ受クルヲ直觀ト云フ

例セバ地理教授ニ於ケル地圖、動、植、礦物ノ教授ニ博物標本ヲ用ウルガ如ク修身、歴史、教授ニ古今英雄ノ像ニ於ケル算術教授ニ實物計數器ヲ用フルモ皆直觀的教法ナリ要スルニ直觀的教法ハ幼少ナル初學年時代ニハ殊ニ必要ナルモノデアリマス

第二問 綴リ方訂正ノ方法ヲ述ベヨ

答 綴リ方訂正ノ方法左項ノ通りト思ヒマス

一、兒童ノ心理ヲシテ訂正スベシ

二、誤リ多クトモ教師自己ノ意ニ任セ猥リニ訂正スベカラズ

三、誤字假名ノ誤リ等ハ兒童ヲシテ自ラソレヲ發見訂正スルヨリ導クベシ

四、問題ノ意味ヲ誤解シ居ル者アラバ机間巡視ノ際親切ニ示教スベシ

五、助作の問題ニテハ一二名ノ綴リシ文ヲ板上ニ寫書シ共同訂正ヲ行フベシ

六、自作の問題ニアリテハ兒童各々思想ヲ異ニスルト共ニ文意ノ通ゼヌモノアリ長短ニ巧拙ニ甚ダ複雑シアレバ斯ル時ニハ書板シテ共同訂正ハ成シ得ヌ故各自草稿帳ニ寫サセテ差出サシメ教師ハ明瞭ニ訂正シテ返付ス

七、訂正スルニハ判リ易キヨ一朱字トシ訂正ノ際兒童ガ誤リシ文字假名ハ後ノ參考ニ扣ヒオクベシ

八、兒童ガ一般ニ誤リシ點ハ書板シテ親切ニ説明訂正スベシ

九、電信文、願、証、届ニハ其書式ノ訂正ニ注意スベシ

第三問 算術科教授ノ一例ヲ示セ

答 算術科教授ノ例

尋常科一學年

教材總目的 穂ノ實物ニヨリ一ヨリ六迄ノ計算法

準備 穂ノ實物又ハ銀杏ノ用意

教 法 (三段トス)

豫備 毬ノ實物壹ケヲ示シ今日ハコノ毬ノコトニ村テ面白ク數ヘ方ヲ教ヘマスト目的ヲ指示シサテコレハ何ト云フモノデスカト發問シドウ數ヘマスカ前ニモ皆サンハ見タコトモアルカラワカリマセウワカル人ハ(舉手サセ)ソレデコレニ今一ツ足セバイクツニナリマスカドーシテサウナッタノデスカ、ソレナラ一ツカラ今一ツノノヲトレバイクツニナリマスカ、ドウシテサウナリマシタカト計方ヲ發問シ兒童ニ既知ノコトヨリシテ思考セシムベシ

教授 今度ハ毬ニツヲ一度ニ出シテイクツアルカト問ヒソレナラバ今ニツタセバ、ニツツ、三度ニイクツニナリマスカ、皆サンハドウシテ六ツト云フコトガワカリマシタカト其計算ノ法ヲ確ム次ニ六ツノ中ヨリニツトレバ、又ニツトレバ残りイクツカト問ヒ其理ニヨツテ六ツノ中ヨリニツツ、ガ何ベントレマスカ六ツノ中ニハニツト同ジ數ガイクツアリマスカ「其計算ノ理ヲ發問シ若シ兒童ニシテ答數ヲ知リテ其計算法ヲ解セヌモノアラバ(アリ勝デアリマスカ)實物或ハ黑板ニ形ヲ書イテ丁寧親切ニ教フ(此ノ段ニテ六ツノ數ノ觀念大体悟リシモノト思フ)」

應用 用意ノ銀杏ニテコレハナントイヒマスカ其教ヘ方ハ○サウデス、毬ノ數方ト全シデス、ソレナラ一人ガ銀杏ニツツ、持タバ三人分ヨセテイクツニナリマスカ、ソレナラ六ツノ銀杏ヲ三人ガ分ケレバ一人ガイクツニナリマスカ、臨時ニ他ノ實物其他ノ計算ヲ應用シテ以上ノ觀念ヲ鞏固ニシ應用自在計算敏活ニナサシム

○作文科

第一問 新聞紙 (普通文)

夫レ新聞紙タルヤ最モ早ク一々社會ノ出來事ヲ報ジ且ツ人情風俗ヲ紹介シ事業ヲ獎勵シ善事アレバ即チ之ヲ賞讃シ惡事アレバ之ヲ摘發シテ以テ世人ヲ訓戒ス又諸種ノ廣告ヲ掲載シテ社會ニ便益ヲ與フル事甚カラズ故ニ日常之レヲ講讀セバ商業界ノ如キニ在テハ最モ早ク社會諸種ノ出來事ヲ知ルヲ得テ以テ機運ニ投ズル事ヲ得ベシ尙ニ商業界ノミナラズ其他凡テ社會何レノ方面ニ於テモ之ニ依テ便益ヲ受クル事少ナカラズ且又漢字ニハ多ク扁旁ヲ附シアルヲ以テ小學生徒モ亦容易ニ之レヲ讀ム事ヲ得ルヲ以テ子弟ヲシテ社會ノ一班ヲ視ハシメ兼テ自然ニ善ヲ愛シ惡ヲ嫌フノ精神ヲ涵養スル事ヲ得ヘシ其他一々屈指ニ遑アラザルナリ實ニ新聞紙ハ社會ノ指針ニシテ一日モ欠クベカラザルモノナリ

第二問 買物をあつらへたのむ文 (書簡文)

拜啓時下追々寒氣相増し候處貴君には益々御勇健の由奉賀候降而小生義不相變無恙罷在候間乍憚御放念被成下度候借而承り候はば貴君には今般要用の爲め不日御上京の由承り候就ては余り忍入候は共上京御用濟の上御歸國の際淺草海苔五丈程御買求めの上御持參被成下度代價は一時貴君に於て御立替相成度然れば御歸郷の節御返し可申上候何分家内無人の爲め參上仕兼候に付略儀ながら手紙を以て此段御依頼に及び候早々頓首

○算術科

第一問 甲乙兩地相距ルコト二百三十五里ナリ今甲乙二人相向ツテ兩地ヨリ出發シ甲ハ毎日十五里乙ハ十二里ツ、行ク同時ニ出發シタリトスレバ十三日ノ後兩人相距ルコト幾何

答 先ヅ甲が十三日間歩ミタル里程及ビ乙が十三日間歩ミタル里程ヲ出ダシ其兩者ノ里程ヲ加ヘ其和ガ始メ甲ガ出發地ヨリ乙ガ出發地迄乃チ二百三十五里ヨリモ大ナルガ故ニ兩者ハ既ニ行き違イタル事明カナリ故ニ兩者ガ十三日ノ後ノ距離ハ行き違イタル後ノ距離乃チ兩者ノ里程ノ和ヨリ二百三十五里ヲ引キタル里程ナルベシ

$$(15 \times 13 + 12 \times 13) - 235 = 116 \quad \text{答 百十六里}$$

第二問 十八里二十五町三十四間ヲ五十三倍セヨ

答 九百九十一里二十三町二間

53 × 18 ^町	25 ^町	34 ^町
954	105	102
37	125	170
991 ^町	36) 1355	60) 1802
	108	180
	275	2 ^町
	252	
	23 ^町	

理由 1町ハ、60間ナルヲ以テ 60ヲ以テ 1802ヲ割リ 30町ヲ得町ノ位ニ加ヘ 1里ハ 36町ナルヲ以テ 36町ヲ以テ 1355町ヲ割リ 37里ヲ得故ニ里ノ位ニ加ヘ斯ノ如ク計算シテ 991里 23町

2問ヲ得

第三問 如何ナル數ヨリ其數ノ九分ノ七ト七分ノ二トノ差ヲ引キタラハ百四十四ガ残ルカ

答 二百八十三個二分ノ一

$$\frac{7}{9} - \frac{2}{7} = \frac{31}{63}$$

$$1 - \frac{31}{63} = \frac{32}{63}$$

$$144 \div \frac{32}{63} = 283 \frac{1}{2}$$

理由 某數ヨリ $\frac{7}{9}$ ト $\frac{2}{7}$ トノ差即チ $\frac{36}{63}$ ヲ引キタルセハ 144ナリト云フ依テ某數ヲ1ト看做シテ 1ヨリ $\frac{31}{63}$ ヲ引クハ 144ト等シキ割合即チ $\frac{32}{63}$ トナルナリ故ニ相對應スル所ノ數即チ 144ヲ對應スル割合ノ $\frac{32}{63}$ ヲ以テ割リ $283 \frac{1}{2}$ ヲ得

第四問

答 二百五十分ノ八十一

2	8	12	2	12	22	22	44	1	81	81
5	25	125	25	125	125	22	44	125	81	81
1	1	26	6	26	44	81	125	2	250	
3	9	81	27	81	81					

第五問 四人が十五時間づゝ、三人が十二時間づゝ、八人が三時間づゝ、働キテ四圓二十錢ノ賃錢ヲ得タリト云フ一人ガ日々十一時間づゝ、働キ六日間ニ幾何ノ賃錢ヲ得ルカ

答 二圓三十一錢

理由四人ガ 15 時間づゝ、故 = $15 \times 4 = 60$ 時

三人ガ 12 時間づゝ、故 = $12 \times 3 = 36$ 時

八人が 3 時間づゝ、故 = $3 \times 8 = 24$ 時

故 = 一人シテ $60 + 36 + 24 = 120$ 時間キタルト等シ今本問題ヲ比例ヲ以テ計算セシ $11 \times 6 = 66$ 時

労働ナル時間ハ賃錢ニ比例ス今 a ヲ以テ所要ノ圓數トスルハ $120 : 66 = 420 : a$ 比例ノ外項ノ積ト

中項ノ積ト相等シ故ニ $120 \times a = 66 \times 420$ 時等シ

故ニ $a = \frac{66 \times 420}{120} = 231$ 時

○歴史科

左項ニツキテ説明セヨ

第一問 鑄錢ノ始

答 古昔ニハ錢無ク物ト物トヲ交換シ又ハ金屬ノ片ヲ以テ貨物ト交換セリ然ルニ世ノ進歩スルニ伴ヒ貨幣ノ鑄造ヲ爲スニ至レリ而シテ我國ニテハ元明天皇ノ和同年間始メテ鑄錢ノコトアリキ世ニ之ヲ和同開珍ト稱號スル貨幣之レナリ其鑄錢ノ由來ヲ尋ヌレバ武藏國ヨリ始メテ銅ヲ獻ジケレバ之ヲ鑄テ

銅錢ヲ作りタリト云フ之レヨリ以前天武ノ朝ニモ錢ヲ鑄タリシ事ハアリシト雖モ一般ノ人民ニ使用スル事トナリシハ元明ノ朝ニシテ人民ニ金錢ヲ貯蓄スルコトヲ勸メタリト云フ之レ我日本ノ鑄錢ノ始メトス

第二問 鎌倉幕府ノ組織

答 源頼朝平氏ノ餘類ヲ亡ボシ府ヲ相摸ノ鎌倉ニ開キテ海内ヲ統一ス先ヅ北條時政ヲ執權ニ任シ更ニ三職ヲ置ク問注所、侍所、政所、コレナリ次ニ地方ノ政ニハ守護地頭有リ

問注所ハ訴訟ヲ掌リ大江廣之別當タリ侍所ハ専ラ兵事ヲ統ブ和田義盛ヲ以テ別當ニ補ス政所ハ政治ニ關スル一切ノ事ヲ掌リ三清氏ヲシテ之ニ補ス後北條氏源氏ヲ亡ボスニ至リテ屢々改正アリト雖モ前ノ問注所、侍所、政所及ビ守護地頭ノ職ハ依然變ラサリキ之レ鎌倉幕府組織ノ概要ナリトス

第三問 耶蘇教ノ傳來

答 耶蘇教ハ後奈良天皇ノ天文二十年伴天連シヤヒユール(又フランソア・ザヴィエー)南蠻ノ黒船ニ乘リテ豊後ニ來リ金銀珠玉珍器ノ物品ヲ持參シ小民ニ與ヘテ民心ヲ得布教ニ從事シ國主島津氏其說教ヲ聽キ次デ是ニ歸依シ寺ヲ建テ厚ク遇ス後織田信長モ亦說教ニ心ヲ傾ケ寺ヲ建テ南蠻寺ト稱シテ厚ク遇スルニ至ル最モ此宗旨ハ說教其物ガ目的ニ有ラズシテ說教ニテ愚民ノ心ヲ耶蘇教ニ傾ケシメ然ル後チ國內ノ機ヲ見テ事ヲ擧ゲ國家ヲ亡ボサントノ企テナリ後チ時ヲ幕府徳川氏之ヲ知り禁令度々

エシテ耶蘇教ノ信徒ヲ或ハ刑シ或ハ殺ニ處セシカバ徳川三代將軍家光ノ時ニ至リ小西行長ノ遺臣大矢木松右工門森宗憲原善右工門等ノ五人天草四郎時貞(益田トモ云フ)ヲ擁シ肥前天草島ニヨリテ亂ヲ成スニ至リキ初メシヤイエール本國ニ追ハレシ時遣シ置キタル未來記アリ其書ニ今日ヨリ二十五年ノ後天ヨリ神童ヲ降シテ耶蘇教ヲ再興スベシト其時西ノ天雲赤ク枯木花咲ク可シト時貞亂ヲ成スノ時天草島ニ益田四郎時貞ト言フ者十六ニシテ經書ニ通ジ妖術ヲ巧ミニス大矢木松右工門等再興ノ機來ルトナシ遂ニ亂ヲ起シタリ

之レ我國耶蘇教ノ傳來ヲ略記シタルモノナリ今日明治ノ時代ニ至リ該教ノ隆盛亦昔日ノ比ニアラザルナリ

第四問 桶狹ノ戰

答 我國戰國時代ニ遠江ニ今川義元トテ英雄アリケルガ漸次ニ四隣ヲ掠メ領地ヲ廣メ勢甚ダ盛ンナリキ時ニ尾張ニ織田信長アリ領地少ケドモ智略勝リ名聲高カリケレバ美元之ヲ亡ボサントテ大兵ヲ率キテ尾張ノ桶狹ニ到リ陣シケレバ信長僅少ノ兵ヲ以テ風雨ノ夜陰ニ乘ジ義元ノ陣地ニ攻メ入り之ヲ亡シ義元モ亦捕殺セラレ今川ノ大軍遂ニ敗レテ織田氏ノ領ニ歸ス之ヲ桶狹ノ戰ト云フ

○理 科

第一問 進行シツ、アル車ヨリ下ラントスルニ當リ車ノ進ム方向ニ於テスレバ安全ナリト云フハ如何
答 車ノ進行シツ、アル時下ラントスルニ進ム方向ニ下ルコト安全ナリトハ車ハ我等ノ下ヲタリトモ方

向ヲ變ヘザルナリ故ニソレニ起因ス

第二問 空氣ノ成分ヲ簡單ニ知ル方法アリヤ

答 空氣ハ種々ナル含有物アリ其レハ何々ナルカヲ容易ニ知ル方法アリ空氣中ニ於テ薪等ノ燃燒スルハ之レ主ニ何ノ助ケニ依ルカヲ見ルニ之レ酸素ヲ者ノ助ケニヨルナリサテ火消壺ニ火ヲ入レテ其レヲ密閉スレバ即チニ火ハ消エルナリ之レ酸素通過セザル故ナリ其他我々ノ日々吐キ出ス炭酸瓦斯即チ炭素ノ有ルコトハ最モ知リ易ク又鏡面上ニ我等ノ息ヲ吹キ掛クレハ直チニ曇ルナリ之レ水蒸氣アル故ナリ其他アルゴン窒素水素等アリ水ヲ分拆シテ酸素ト水素トヨリ成ルコトヲ解シ得ベシ空氣ハ之レ等ノ諸成分ヨリ成ルコト明カナリトス

第三問 電氣ヲ誘起スルトハ如何

答 錫箔ニテ蔽ヒタル雞卵殻ヲ硝子管ヨリ絹糸ニテ吊リシ之レヲいろトナシ其間ニ鉛箔紙ヲ下ゲルノ尖端ニモ又之レヲ下ゲ置キ封蠟棒ヲ接近スレバ此處ニ異妙ノ變ヲ生ズソハいろ問ノ箔紙ガ之レニヨリテ棒ニ傾近スルヤト思ヒシニ却テろノ尖端ニ下ゲタル箔紙此方ニ傾クヲ見ル之レ封蠟棒ノ電氣ガ自分ト相對性ノ物ヲ誘起スルニ外ナラズ

第四問 稻ノ花ノ組ミ立テヲ説明セヨ

答 吾人ノ食用中一日モ欠ク可ラザルハ米ニシテソノ米ハ即チ稻ノ果實ニ他ナラズ而シテ稻ハ毎年春季農夫ガ種子ヲ蒔キ下シ暫ク成長シテ花ヲ開ク其花ハ色モナク香モナシサレバ其花盛ニハ蝶モ來ラズ

蛾モ問ヒ來ズ之レ稻ノ風媒花タル所以ナリ稻ノ花ハ多ク集リテ穗ヲナシ麥ニ似タリ花ノ外面ハノギヲ有スルカラアリ又其内ニノギ、ナキカラアリ此ノ二ツノカラ間ニ六箇ノ雄蕊ノ先ヲ出シ花粉ハ散リ易ク風ノ爲メニ他ノ花ノ雌蕊ニ附着シ土中ノ養分ヲ吸収シ又日熱トニ依テ成育ヲ遂グルニ至ル尤モ其花ハ外側ニハカラアリ其尖端ニトゲアリテ他ノ雀等ノ如キ害鳥類ヲ防グモノトス

第五問 牛、犬、及鼠ノ齒ニツキ相違セル重ナル點ヲ舉ゲヨ

答 牛ハ六畜中ノ一ニシテ其齒ノ構造ハ下齒ノミニテ上齒ハナクシテ前齒臼齒及犬齒等ヲ有シ犬ノ齒ハ前齒臼齒等ハ不完全ナルモタゞ犬齒ノミハ完全ニシテ能ク動物骨類ヲモ噛ミ碎クニ適ス又鼠ノ齒ハ大齒及臼齒ハ不完全ナルモ前齒ハ銳利ニシテ物ヲ噛ムニ巧ミナリ

第六問 石炭ノ由來ヲ説明セヨ

答 石炭ハ古來ノ草木ガ地中ニ埋モレテ地熱ト地巖トノ作用ニヨリテ炭化セシモノナリ又石炭ニハ無煙炭、黑炭、褐炭等ノ種類アリテ其内無煙炭ヲ最上トシ黑炭ヲ其次トシ褐炭ハ最モ下等トス然シテ褐炭ハ尙ホ幾何年ヲ經過スレバ黑炭トナリ黑炭ガ尙ホ年數ヲ經レバ無煙炭トナル石炭ハ本邦中筑前ノ三池炭山ヲ最トシ次クニ奥羽地方及北海道等トス石炭ノ産額多大ナル國ハ文化ノ進歩速カナリ

附 錄

新潟縣師範學校規則 (抜萃)

第十八條 入學志願者ノ身体品行學力ノ檢定ハ左ノ方法ニ依ル

- 一、身体ノ檢定ハ其校學校醫之ヲ行フ
- 二、品行ノ檢定ハ市町村長ノ証明ト其履歷ニ依リテ之ヲ認定ス
- 三、學力ノ檢定ハ左ノ學科及程度ニ依ル

- 讀 書 普通國文、近易ノ漢文
- 作 文 日用書類、記事文
- 算 術 珠算、加減乘除、筆算、算術全体(級數、求積ヲ除ク)
- 地 理 日本地理ノ大要
- 歷 史 日本歴史ノ大要
- 習 字 楷行草
- 理 科 動物、植物、物理、化學ノ大意

第二十條 入學志願者ハ左式ノ願書ニ戸籍吏ノ証明ヲ得タル戸籍ノ謄本ヲ添へ履歷書ト共ニ師範學校長ニ差出スヘシ

(願書式)

入 學 願

保証人消印

三錢収
入印紙

小學校教員志願ニ付御校へ入學ノ許可ヲ得度尤モ某ノ身上ニ關スル事件ハ保証人ニ於テ一切引受可申候
間別紙戸籍寫及履歷書相添へ此段相願候也

年 月 日

新潟縣何國何郡市町村何番戶居住誰方同居
何府縣華士族平民(戶主)誰何男弟等
入學志願者 氏 名 印

生 年 月 日
當何年何月幾年幾月

新潟縣何國何郡市町村何番戶居住戶主
新潟縣華士族平民
保証人 氏 名 印

新潟縣何師範學校長某殿

右入學志願者ノ品行取調候處不都合無之且保証人ハ保証ノ責ニ任シ得ルモノト認ム

新潟縣何郡市町村長氏名印

(履歷書式)

履 歷 書

新潟縣何國何郡市町村何番戶居住誰方同居
何府縣華士族平民(戶主)誰何男弟等
氏 名 印

生 年 月 日

一、生所 何府縣何國何郡市町村

一、何年何月ヨリ何年何月マテ何所何學校ニ於テ何科修業

一、何年何月何學校ニ於テ何科卒業證書ヲ受領ス

卒業證書寫
何々

一、何年何月ヨリ何年何月マテ何職ニ從事ス

一、何年何月何所ニ於テ何職ニ付何賞ヲ受ケ或ハ何罰ヲ受ケ
一、其他何々

年 月 日

第二十一條 保証人ハ本縣下ニ本籍ヲ定メ現ニ入學志願者ノ居住ノ郡市内ニ居住スル戶主ニシテ獨立生
計ヲ營メルモノタルヘシ

第二十二條 保証人ノ住所學校所在地ヨリ一里以外ニ在ルモノハ別ニ其以内ニ居住スルモノヲ以テ保証
人代理者トナシ左ノ書式ニ依リ届出ツヘシ

但師範學校長ニ於テ保証人代理者ヲ不充分ト認ムルトキハ之ヲ替ヘシムルコトアルヘシ
(保証人代理者届書式)

保証人代理者届

新潟縣何郡市町村何番戶 住居 戶主
寄留 戶主
何府縣華士族平民

氏 名

右之者儀拙者代理人ニ相定メ御校生徒某ニ對シ不時急劇ノ用ニ應セシメ候間此段及御届候也

新潟縣何國何郡市何町村何番戶居住戶主
何府縣華士族平民

保証人 氏 名 印

三

右保証人代理者

氏 名 印

四

新潟縣何師範學校校長某殿

第二十三條 保証人死去若クハ其他已ムヲ得サル事故アリテ變更ヲ要スルトキハ左ノ書式ニ據リ届出ツ

ヘシ
(保証人變更届書式)

保証人變更届

保証人消印

三錢収
入印紙

某保証人何某儀今般何々ノ事故ニ付自今某(在學者ノ名)身上ニ關スル事件ハ某(保証人ノ名)ニ於テ一切引受申候間此段及御届候也

生徒 氏 名 印

新潟縣何國何郡市何町村何番戶居住戶主

新瀉縣華士族平民 保 証 人 氏 名 印

年 月 日

新瀉縣何師範學校校長某殿

前書保証人ハ保證ノ責ニ任シ得ルモノト認ム

新瀉縣何郡市町村長 氏 名 印

第二十四條 保証人代理者ニ事故ヲ生シ變更ヲ要スルトキハ左ノ書式ニ據リ届出ツヘシ

(保証人代理者變更届書式)

保証人代理者變更届

新瀉縣何郡市町村何番戶 住居 戶主

新瀉縣華士族平民

氏 名

是迄何某ヲ以テ拙者代理人ニ相定メ御校生徒某ニ對シ不時急劇ノ用ニ應セシメ候處前記某ヲ以テ代理人ニ相定メ候間此段及御届候也

新潟縣何國何郡市町村何番戶居住戶主

新瀉縣華士族平民

保 証 人 氏 名 印

右保証人代理者

氏 名 印

年 月 日

新潟縣何師範學校校長何某殿

新瀉縣女子師範學校規則 (抜萃)

第十一條 募集スヘキ生徒ノ入員及期日ハ其都度公告ス

第十二條 募集生徒ノ檢定ハ左ノ方法ニ依ル

一、身体ノ檢定ハ他ノ檢定ニ先チ學校醫之ヲ行フ

二、品行ノ檢定ハ市町村長ノ証明ト其履歴ニ依リ之ヲ認定ス

三、應對態度ノ檢定ハ口頭試問ニ依ル

四、學力ノ檢定ハ左ノ學科目及程度ニ依ル

國語 講讀(普通文)作文(日用書類記事文)及習字(楷行ノ二体及假字)

五

算術 算算(加減乘除)小數分數比例步合算迄、珠算(加減乘除)

裁縫 裁方縫方(通常表應)

地理 日本地理、外國地理ノ大要

歴史 日本歴史ノ大要

理科 博物、物理、化學ノ大要

第十四條 入學志願者ハ左式ノ入學願書ニ履歷書及本籍戶籍吏ノ証明シタル戶籍ノ謄本ヲ添へ學校長ニ差出スヘシ

入學願

保証人消印

収入印紙

其儀小學校教員志願ニ付御校へ入學ノ許可ヲ得度尤モ某ノ身上ニ關スル事件ハ保証人ニ於テ一切引受可申候間別紙履歷書及戶籍謄本相添へ此段相願候也

新潟縣何國何郡市何町村何番戶居住又ハ誰方同居

何府縣華士族平民職業戶主又ハ誰何女姉妹等

入學志願者 氏 名 印

生年月日

當何年月幾年幾月

新潟縣何國何郡市何町村何番戶居住戶主

新潟縣華士族平民

年 月 日

保証人 氏

名 印

新潟縣長岡女子師範學校校長某殿

右入學志願者ノ品行取調候處不都合無之且保証人ハ保証ノ責ニ任シ得ルモノト認ム

年 月 日

新潟縣何郡市何町村長

氏

名 印

履歷書

新潟縣何國何郡市何町村何番戶居住又ハ誰方同居

何府縣華士族平民職業戶主又ハ誰何女姉妹等

氏 名 印

生年月日

一生所 何府縣何郡市何町村

一痘 天然痘又ハ種痘最近年月

一何年何月ヨリ何年何月迄何所何學校ニ於テ何科修業

一何年何月何學校ニ於テ何科卒業証書ヲ受領ス

卒業証書寫

一何年何月ヨリ何月迄何職ニ從事ス

一何年何月何處ニ於テ何職ニ付何賞ヲ受ケ又ハ何罰ヲ受ケ

一其他何々

年 月 日

第十五條 保証人ハ本縣下ニ本籍ヲ定メ現ニ入學志願者居住ノ郡市ニ居住スル戶主ニシテ獨立ノ生計ヲ營ムモノナルヘシ

第十六條 保証人ノ住所學校所在地ヨリ二里以外ニ在ルモノハ別ニ其以內ニ居住スルモノヲ以テ保証人

代理者トナシ左ノ書式ニ依リ届出ツヘシ
但學校長ニ於テ保証人代理者ヲ不充分ト認ムルトキハ之ヲ替ヘシムルコトアルヘシ
保証人代理者届

新潟縣何郡市何町村何番戶居住寄留戶主
何府縣華士族平民

氏 名

右ノ者儀拙者代理人ニ相定メ御校生徒某ノ身上ニ關シ不時急遽ノ用ニ應セシメ候間此段及御届候也

新潟縣何國何郡市何町村何番戶居住戶主
何府縣華士族平民

氏 名 印

右保証人代理者

氏 名 印

新潟縣長岡女子師範學校長某殿

第十七條 保証人死去若クハ其他已ムヲ得ザル事故アリテ變更ヲ要スルキハ左ノ書式ニ依リ届出ツヘシ

保証人變更届

保証人消印

三錢収
入印紙

某保証人何某儀今般何々ノ事故ニ付自今某(在學者ノ名)身上ニ關スル事件ハ某(保証人ノ名)ニ於テ一切
引受申候間此段及御届候也

生徒 氏 名 印

新潟縣何國何郡市何町村何番戶居住戶主

何府縣華士族平民 氏 名 印

年 月 日

新潟縣長岡女子師範學校長某殿

前書保証人ハ保証ノ責ニ任シ得ルモノト認ム

年 月 日 新潟縣何郡市何町村長 氏 名 印

第十八條 保証人代理者ニ事故ヲ生シ變更ヲ要スルトキハ左ノ書式ニ依リ届出ツヘシ

保証人代理者變更届

新潟縣何郡市何町村何番戶居住寄留戶主

氏 名

新縣縣華士族平民

是迄何某ヲ以テ拙者代理人ニ相定メ御校生徒某ノ身上ニ關シ不時急遽ノ用ニ應セシメ候處都合ニ依リ前
記某ヲ以テ代理人ニ相定メ候間此段及御届候也

新潟縣何國何郡市何町村何番戶居住戶主

何府縣華士族平民 氏 名 印

年 月 日

新潟縣長岡女子師範學校長某殿

右保証人代理者

新潟縣長岡女子師範學校長某殿
新潟縣立高等女學校規則 (抜萃)

第十條 生徒ヲ入學セシムヘキ時期ハ學年ノ始ヨリ三十日以内トス但缺員アルトキハ第二學期第三學期ノ始ヨリ十日以内ニ臨時入學セシムルコトアルヘシ

第十一條 入學セシムヘキ生徒ノ員數期日等ハ其郡度之ヲ公告ス

第十二條 入學セシムヘキ生徒ハ年齡滿十二年以上ニシテ高等小學校第二學年ノ課程ヲ了ヘタル者又ハ之ト同等ノ學力ヲ有スル者タルヘシ但第二學年以上ニ入學セシムヘキモノハ相當ノ年齡ニ達シ前各學年ノ課程ヲ卒ヘタルモノト同等ノ學力ヲ有スル者タルヘシ

第十三條 第一學年入學志願者ノ學力檢定ハ高等小學校第二學年ノ課程ヲ卒ヘタル者ニ對シテハ其修業證書及證明書ニ依リ其他ノ者ニ對シテハ試驗ニ依ル

高等小學校第二學年ノ課程ヲ卒ヘタルモノハ其他ノ志願者ニ先チテ入學ヲ許ス但高等小學校第二學年ノ課程ヲ卒ヘタル志願者ノ數入學セシムヘキ人員ニ超過シタルトキハ仍試驗ニ依リ撰拔ス

第十四條 第一學年入學試驗ハ高等小學校第二學年以上ノ課程ヲ卒ヘタル者ニ對シテハ國語、算術ニ就

キ其他ノ志願者ニ對シテ尙日本歴史、日本地理ヲ加ヘ高等小學校第二學年卒業ノ程度ニ依リ之ヲ行フ

第十八條 入學志願者ハ第一號第二號書式ノ入學願書並ニ履歷書及其操行學力等ニ關スル出身學校長ノ親展證明書ヲ添ヘテ差出スヘシ

第十九條 入學ノ許可ヲ得タルモノハ十日以内ニ第三號書式ニ依リ保証人連署ノ誓約書ニ市長村長ノ証明ヲ受ケテ戶籍謄本ヲ添ヒテ差出スヘシ

當該學校ノ職員ニシテ保証人タルモノハ市長村長ノ証明ヲ要セス

第二十條 前條第一項ノ保證人ハ父母兄弟親族後見人等ニシテ丁年以上ノモノタルヘシ但シ本條ノ保證人住所ハ學校所在地ヲ距ル一里以上ナルトキハ一里以内ニ住居セル相當ノ代理人ヲ立テ連署ノ上第四號書式ニ依リ其旨届出ツヘシ

第二十一條 保証人若クハ其代理者ニシテ轉居改姓名改印等ヲ爲シタルトキハ其旨一週日以内ニ學校長ヘ

届出ツヘシ

保証人若クハ其代理者ヲ變更セントスルトキハ豫メ學校長ヘ届出テ認可ヲ受クヘシ

第二十二條 生徒一身上ニ關シ學校ニ届出ス書類ニハ總テ保證人署名押印スヘシ但シ誓約書ニ押捺シタル印章ヲ用フヘシ

第二十三條 保証人又ハ代理者ニシテ死亡其他ノ事故ニ依リ其實ヲ盡スコト能ハザルトキハ更ニ之ニ代ルヘキ保証人又ハ代理者ヲ定メ第五號書式ニ依リ保証書又ハ代理者變更届ヲ差出スヘシ

第二十四條 保証人又ハ其代理者ニシテ不充分ト認ムルトキハ之カ更代ヲ命スルコトアルヘシ

第二十六條 疾病其他止ムコトヲ得サル事故ニテ退學又ハ轉學セント欲スルモノハ保証人連署ノ上願出ツヘシ

第三十一條 生徒在學中ハ授業料トシテ一ヶ月金壹圓貳拾錢ヲ毎月十五日限リ納ムヘシ
月ノ十五日以後ニ入學シタル者ハ其月ノ授業料半額ヲ三日以内ニ納ムヘシ

(第一號書式)

入 學 願

某儀御校何學年へ入學志願ニ付履歷及證明書相添ヒ此段相願候也

何府縣何郡市町村何番戶居住又ハ寄留

何府縣華士族平民職業戶主又ハ誰何女姉妹等

種痘(天然痘)

氏 名 印
生 年 月

何府縣何郡市何町村何番戶居住又ハ寄留

何府縣華士族平民職業戶主

父母兄弟又ハ後見人

年 月 日

新潟縣立高等女學校長何某殿

右保護者

氏

名 印

(第一號書式)

履 歷 書

何府縣何郡市何町村何番戶居住又ハ寄留
何府縣華士族平民職業戶主又ハ誰何女姉妹

氏

名 印

生 年 月

- 一 生所何府縣何國何郡市町村
- 一 痘 天然痘又ハ種痘最近年月
- 一 何年何月ヨリ何年何月迄何所何學校ニ於テ何科修業
- 一 何年何月何所ニ於テ何廉ニ付何賞ヲ受ケ又ハ何罰ヲ受ケ
- 一 何年何月何學校卒業証書別紙寫ノ通
- 一 其他何々

年 月 日

(第二號書式)

誓 約 書

三錢収
入印紙

某

今般入學許可相成候ニ付テハ校則ハ勿論訓諭等堅ク相守リ勤學致ス可ク此段誓約候也

原 籍
現 住

何府縣何郡市何町村何番戶居住

新潟縣何郡市何町村何番戶寄留

何府縣華士族平民戶主又ハ誰何姉妹等

氏

名 印

年 月 日

右某儀御校在學中御規則等堅ク遵守セシムヘクハ勿論本人ニ係ル一切ノ事件ハ總テ私ニ於テ引受可申依
テ此段保証候也

新潟縣何郡市何町村何番戶居住又ハ寄留
何府縣華士族平民

保 証 人

氏

名 印

新潟縣立高等女學校長何某殿

前書保証人ハ保証ノ責ニ任シ得ル者ト認ム

年 月 日

(第四號書式)

保証人代理者届

新潟縣何郡市町村長氏名印

新潟縣何郡市何町村何番戶(居住)戶主
何府縣華士族平民職業

氏

名

右之者儀拙者代理ニ相定メ御校生徒某ニ對シ不時急變ノ用ニ應セシメ候間此段御届候也

新潟縣何郡市何町村何番戶居住戶主

何府縣華士族平民

保 証 人

氏

名 印

年 月 日

一三

新潟縣何郡市町村何番戶戶主居住

右
保證人代理者 氏 名 印

新潟縣立高等女學校長何某殿

(第五號書式ノ一)

三錢收
入印紙 保 証 書

何某儀御校生徒某ノ保証人ニ有之候處死亡(又ハ何々)ニ付今般拙者相代リ本人在學中ニ係ル事件ハ一切引受可申依テ保証書如斯候也

新潟縣何郡市何町村何番戶居住戶主

何府縣華士族平民職業

某父兄又ハ後見人

保 証 人 氏 名 印
生 年 月 日

年 月 日

新潟縣立高等女學校長何某殿

前書保証人ハ保証ノ責ニ任シ得ル者ト認ム

年 月 日

(第五號書式ノ二)

保証人代理者變更届

何某儀御校生徒某ノ保証人代理者ニ有之候處死亡(又ハ何々)ニ付今般拙者相代リ本人ニ對スル不時急變

新潟縣何郡町村長 何 某 御
生 年 月 日

ノ用ニ可應候此段及御届候也

新潟縣何郡市何町村何番戶居住戶主

何府縣華士族平民職業

保 証 人 氏 名 印

新潟縣何郡市何町村何番戶居住戶主

何府縣華士族平民職業

保 証 人 代 理 者 氏 名 印
生 年 月 日

年 月 日

新潟縣立高等女學校長何某殿

(第六號書式)

入 舍 願

某儀御校寄宿舎へ入舍仕度御許可ノ上ハ舍則調諭並ニ時々ノ揭示等堅ク相守リ可申候間御許可相成度此段相願候也

何 年 級 氏 名 印

年 月 日

右之通相違無之ニ付御許可相成度且ツ本人ニ關スル一切ノ事件ハ拙者相引受可申候依テ保証候也

新潟縣何郡市何町村何番戶居住戶主

何府縣華士族平民職業

保 証 人 氏 名 印

年 月 日

新潟縣立高等女學校長何某殿

新潟縣立中學校規則 (抜萃)